

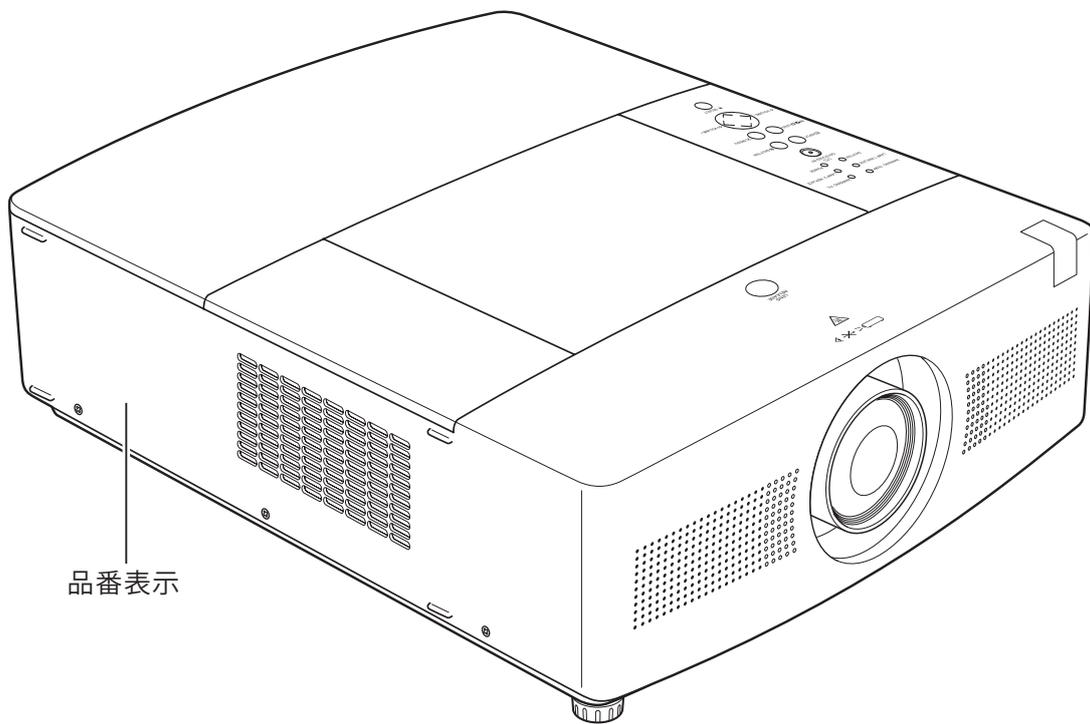
取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター 品番 LP-WTC500L

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～13ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、必ず
いつでも取り出せるところに保管してください。わ
からないことがあったときにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は側面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示

本機にはレンズは付いておりません。
別売のレンズをご使用ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の () 内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

PJLink™

LP-WTC500L の特長

高 精 細

1280 x 800 ドットの高分解像度液晶パネル

- WXGA 画像をリアル表示。UXGA、WUXGA を圧縮表示。

HDMI 端子を搭載

- HDMI 入力端子により、画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像の投射が可能。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N の6カラーシステムに対応。

5-BNC 映像入力端子を装備

- アナログ RGB 信号およびコンポーネント信号に対応し、DVD や HDTV などを高画質で再生。

高 信 頼 性

ツインランプシステム

- ランプを2つ搭載し、ランプが点灯しない場合にはもうひとつのランプに自動で切り換え。

自動エアフィルター交換機能

- センサーがエアフィルターの目詰まりを検知したとき、プロジェクターがエアフィルターを自動で交換。エアフィルターカートリッジは、10回分のフィルターを内蔵。

電力の節約を助ける各種機能

- ランプの明るさを調節できる「ランプコントロール」。
- 電力の節約を助ける「パワーマネージメントモード」。

暗証番号を登録してセキュリティを強化

- 第三者による不正・誤使用を防ぐ「暗証番号ロック」機能。
- 第三者によるロゴの変更を防ぐ「ロゴ暗証番号ロック」機能。

機器の高寿命化を助ける機能

- ランプの交換時期を、画面とインジケータでお知らせ。
- 交換用のエアフィルターがなくなったときには、画面とインジケータの表示でエアフィルターカートリッジの交換をお知らせ。

高 設 置 性

さまざまな設置環境に対応。

- 設置しやすいセンターレイアウトデザイン。
- 垂直方向 360 度フリー設置可能。(11 ページ参照)
- 据置のほか、天吊り、リア投射が可能。
- テストパターン内蔵。
- メカシャッター搭載。

高 機 能

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動 PC 調整」機能。
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する、「デジタルキーストーン(台形補正)」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータ入力時)
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 好きな画像を取り込んでオリジナルの起動画面を作成できる「キャプチャー」機能。

2画面同時投映(ピクチャーインピクチャー)機能

- メイン画面中にサブ画面を投映する「P in P」、メイン画面とサブ画面を左右に並べて投映する「P by P」の2通りの投映が可能。

レンズ交換機構

- 別売オプションレンズの交換で、使用場所に合わせた投映が可能。

上下左右電動レンズシフト機能搭載

- 上下に 0 ~ 50%、左右に ±15% 可変。

ネットワークオプションに対応

- 別売の PJ-Net Organizer(PJ- ネット オーガナイザー) を装着することで、ネットワーク経由での操作・管理および画像の転送が可能。

高機能ワイヤレスリモコン

- コンピュータとプロジェクターの両方を操作可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能。
- レーザーポインタをスポットライトやポインタ表示に切換え可能。
- 別売のリモコンケーブルでワイヤードリモコンとして使用可能。

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンや入出力端子の名称を示しています。 例：[SELECT] ボタン、[INPUT 1 DIGITAL] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「インプット」、「セッティング」

※ 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

LP-WTC500Lの特長	2
安全上のご注意	4
正しくお使いいただくために	9
ランプについての安全上のご注意	13
準備	14
付属品を確認してください	14
各部の名称	15
機器をつなぐ端子	16
操作パネルとインジケータ	17
リモコンのボタン	18
リモコンの準備	20
設置・接続	22
レンズの交換のしかた	22
設置のしかた	23
接続の例～コンピュータ	25
接続の例～ビデオ機器	26
接続の例～音声入出力	27
電源コードを接続する	28
基本の操作	29
プロジェクターの基本操作	29
電源を入れる・切る	30
入力信号を選択する	32
投映画面を調整する	33
その他の機能	35
2画面を同時に投映する	38
音量を調節する・一時的に消音する	40
オンスクリーンメニューの操作方法	41
入力の選択・設定・調整	43
入力を切り換える	43
コンピュータシステムの選択	45

ビデオシステムの選択	46
コンピュータシステムの調整	47
イメージの調整	50
画面サイズを調整する	54
各種機能の設定	58
「セッティング」メニューで 各種機能を設定する	58
その他の機能	76
リモコンでコンピュータを操作する	76
ポインタの操作	77
ランプの自動切り換え (ツインランプシステム)	78
お手入れと保守	79
お手入れについて	79
ランプの交換	79
エアフィルターカートリッジの交換	81
内部温度の上昇について	83
インジケータ表示と プロジェクターの状態	84
故障かなと思ったら	87
付録	90
コンピュータシステムモード一覧表	90
ピクチャーインピクチャー一覧表	91
メニュー内容一覧	92
仕様	94
端子の仕様	96
寸法図	97
PJ Link について	98
暗証番号について	99
保証とアフターサービス	100

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

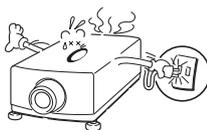


たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

警告



警告



下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なにおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた



禁止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告



万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

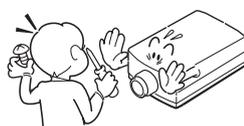
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜け



分解禁止



本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



感電注意



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

※一つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。



禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

※こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

警告



風呂、シャワー室
での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止



不安定な場所や、荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いたところ、高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因になります。



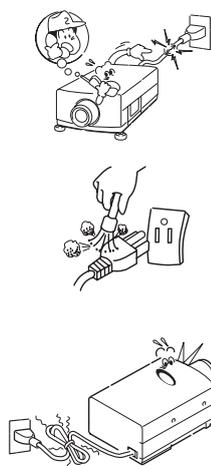
警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分な時は落下する危険性があり、事故やけがの原因となります。設置工事専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止



電源コードの取扱に注意してください。

- ・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。また、コードを敷物で覆うとコードに気付かず、上に重い物をのせてしまうことがあります。
- ・電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くには特にご注意ください)
- ・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- ・電源コードや接続ケーブルを、床の上にはわせしないでください。足を引っ掛けて転倒し、けがの原因となることがあります。



接触禁止



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

警告



禁止



吸気口・排気口や接点部などに異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。



- ・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



アース線を
接続せよ

アース線を接地してください

本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、28ページをご覧ください。)



警告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。



警告



レーザー光にご注意下さい。

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。



禁止

可燃性の溶剤やエアースプレーを、プロジェクターやその近くで絶対に使用しないで下さい。

ランプの点灯により製品内部が非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも爆発、火災が発生することがあります。また、可燃性のエアースプレーでなくとも冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠ 注意



禁止



以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



禁止



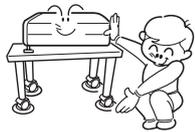
ご使用のときは、ファンの吸気口・排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
 - ・ 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - ・ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など周囲のものから1メートル以上離し、風通しをよくしてください。



注意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

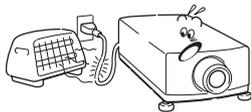


本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。小さなお子様には、特にご注意ください。



禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意



ぬれ手禁止

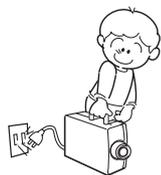


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



移動させる場合には、電源コードにご注意ください。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因となることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

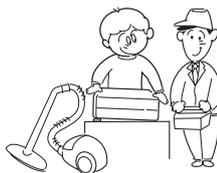


長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

- 液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズを外してカバーキャップを取り付け、調整脚を戻してから専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

設置するときは次のことに注意してください

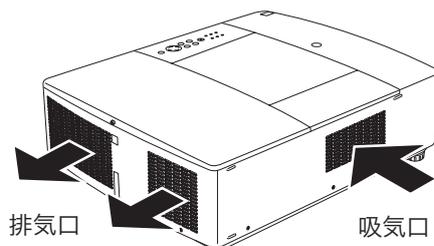
● 排気口の温風にご注意ください

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- 観葉植物やペットを置かないでください。
- 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- 排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



動作中は、排気口周辺ならびに排気口上部キャビネットが高温になります。熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、小さいお子さまには特にご注意ください。

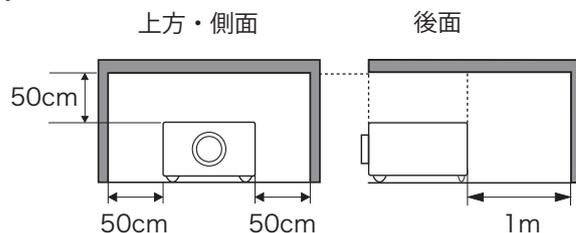
● こんな場所には設置しないでください

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～40℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面 50cm、後面 1m 以上)



● 結露にご注意

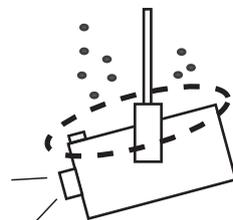
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

天井から吊り下げてご使用になる場合



注意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



液晶パネルについて

液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。本機のエアフィルターは目詰まりを感知すると自動的にフィルター部分を巻き取り（交換）、その状況をインジケータでお知らせします。エアフィルターの掃除は必要ありませんが、エアフィルターの周辺は定期的に掃除することをおすすめします。



エアフィルターの状態をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの状態をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については、81～82ページをご覧ください。



「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」（P.73ページ）で設定した時間に達すると表示されます。エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときはが表示されます。



エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。



エアフィルターの交換推奨時間になった、またはエアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときにフィルターに目詰まりが発生したことをお知らせします。この表示が出たらカートリッジを交換してください。



しばらくお待ち下さい メニューから強制巻き取りを行なったときに表示されます。

また、本体天面の [WARNING FILTER] インジケータでも同様にお知らせします。[WARNING FILTER] インジケータ（橙色）は、上記の画面表示と同時期に点灯、または点滅してお知らせします。詳細については、84ページをご覧ください。

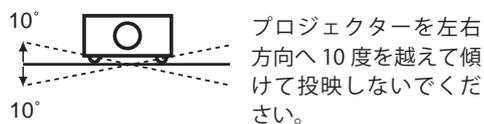
 WARNING FILTER

※ が表示されたときは、インジケータの点灯・点滅はありません。

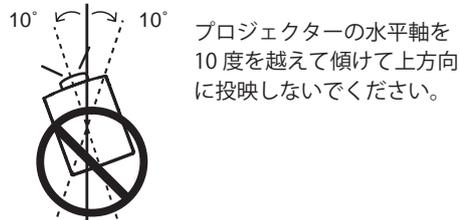
正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。本機は、上・下・斜めの方向で投射可能です。

以下の方向では使用しないでください



傾きは10°以内に



横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。



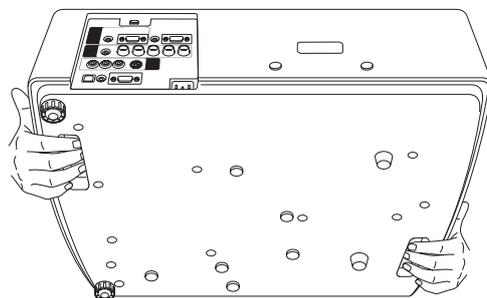
プロジェクター取扱上のご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。



注意

- プロジェクターの接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめます。

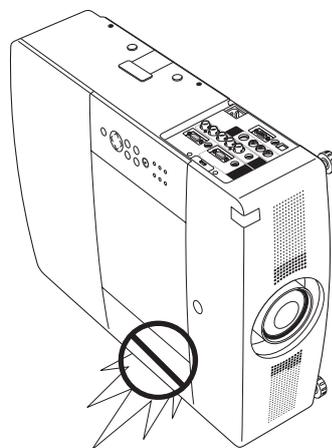


本体底面のグリップを持って運びます。



注意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときには、置く場所に異物が無いか確認してください。置く場所に異物や突起があると、破損の原因となります。



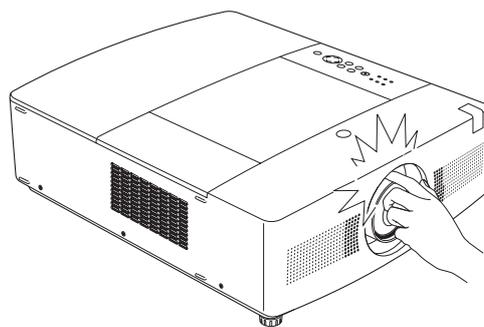
接触禁止



指挟み注意

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様がレンズに触れないように注意してください。

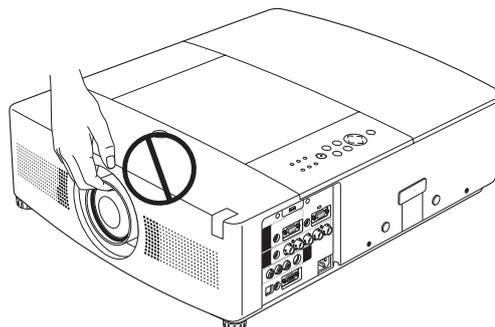


プロジェクターを持ち抱える際のご注意



注意

レンズ取り付け後、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターが破損する原因になります。



⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは、以下のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談窓口へプロジェクター内部の掃除とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従って行なってください。

準備

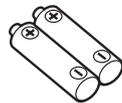
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

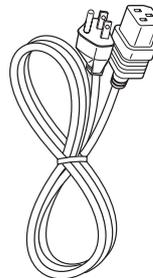
① リモコン (MXAH)



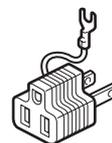
② リモコン用アルカリ乾電池 (単四形2本)



③ 電源コード



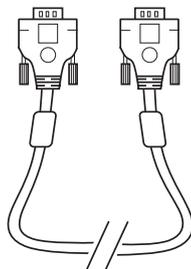
④ 電源プラグアダプタ



⑤ USB ケーブル



⑥ コンピュータケーブル (D-Sub 用)



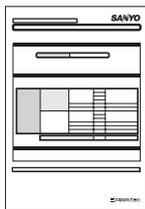
⑦ カバーキャップ



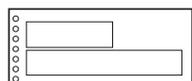
⑧ レンズ盗難防止ネジ *



⑨ お客様ご相談窓口一覧



⑩ 保証書



⑪ 保証登録票



⑫ 取扱説明書 (本書)



⑬ PIN code lock シール **



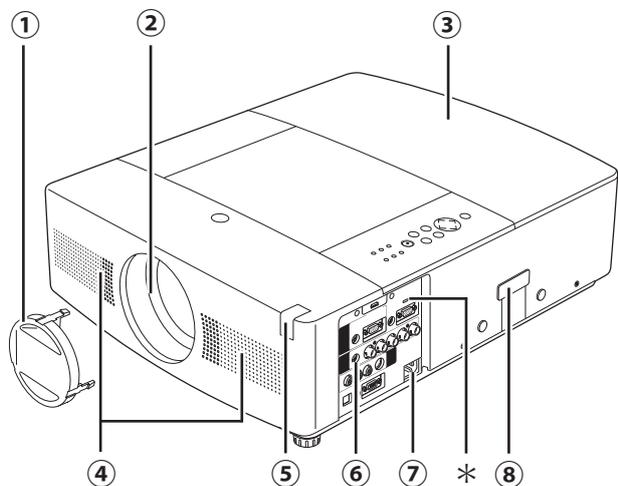
* 交換レンズの盗難防止を目的としたネジです。レンズ盗難防止ネジの取り付けについては、販売店にご相談ください。

** 暗証番号を登録してプロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。

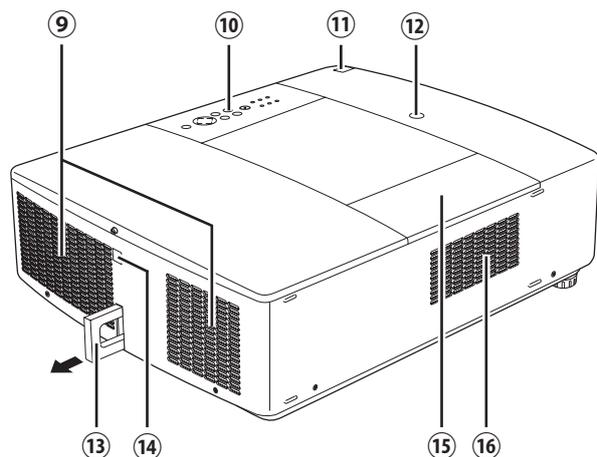
☞ 99 ページ

各部の名称

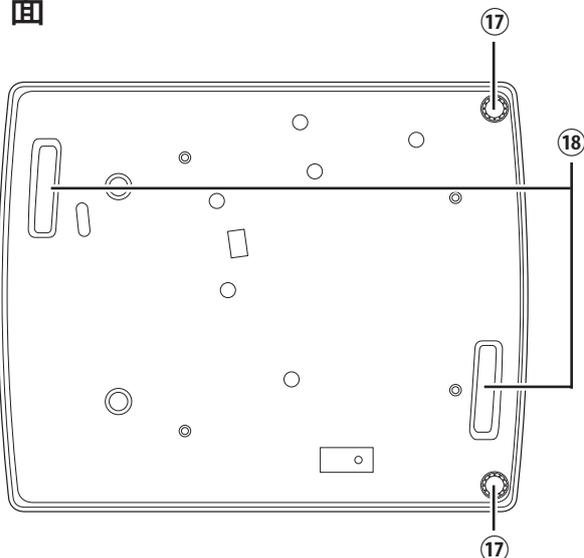
前面



後面



底面



ご使用中、天面は熱くなります。
上にものを置いたりしないでください。
変形や火災の原因となります。

- ① カバーキャップ
- ② 投映レンズ取付口（投映レンズは別売）
- ③ ランプカバー
- ④ スピーカ
- ⑤ リモコン受光部（前面）
- ⑥ 側面端子
- ⑦ 電源コード接続ソケット
- ⑧ PJ-Net Organizer コネクター
- ⑨ 排気口 ※1 ※2
- ⑩ 操作パネル
- ⑪ リモコン受光部（天面）
- ⑫ レンズ取り外しボタン
- ⑬ 盗難防止チェーン用フック ◆
- ⑭ リモコン受光部（後面）
- ⑮ フィルターカバー
- ⑯ 吸気口 ※2
- ⑰ 調整脚
- ⑱ グリップ

※ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

◆ 盗難防止チェーン用フック
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。通常は本体から引き出されていますので、使用する際には本体から引き出してください。なお、持ち運びの際のハンドルではありません。この部分を持ってプロジェクターを持ち運ばないでください。

※ 1



スプレーといった引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

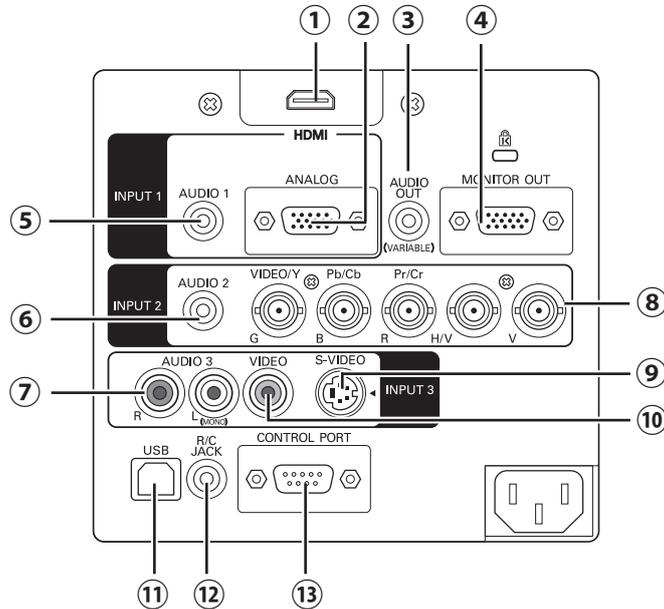
※ 2



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

側面端子



インプット エイチディーエムアイ
① **INPUT 1 H D M I (HDMI 入力端子)**
☞ 25、26 ページ

DVD プレーヤーやハイビジョン受信機などの HDMI 出力端子がある機器からの信号を入力します。また、DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を HDMI に変換して入力します。

インプット アナログ
② **INPUT 1 ANALOG (コンピュータ D-sub 入力端子)**
☞ 25 ページ

コンピュータからの出力 (D-sub15 ピン/アナログ) を接続します。接続には付属のコンピュータケーブル (D-sub 用) を使います。

オーディオアウト
③ **AUDIO OUT (音声出力端子) (可変)** ☞ 27 ページ

接続された音声入力を出力します。

モニターアウト
④ **MONITOR OUT (モニター出力端子)**
☞ 25、27 ページ

INPUT1 ~ 2 に接続された、投映中のアナログ信号を外部映像機器へ出力する端子です。

オーディオ
⑤ **AUDIO 1 (音声入力端子)** ☞ 27 ページ

INPUT 1 に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。

オーディオ
⑥ **AUDIO 2 (音声入力端子)** ☞ 27 ページ

INPUT 2 に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。

オーディオ
⑦ **AUDIO 3 (音声入力端子)** ☞ 27 ページ

INPUT 3 に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (MONO)] 端子へ接続してください。

インプット
⑧ **INPUT 2 (コンピュータ/ビデオ/コンポーネント入力端子)** ☞ 25、26 ページ

コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R,H/V,V) またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。

インプット エスビデオ
⑨ **INPUT 3 S-VIDEO (S 映像入力端子)** ☞ 26 ページ

ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。接続には市販の S ビデオケーブルを使います。

インプット ビデオ
⑩ **INPUT 3 VIDEO (ビデオ入力端子)** ☞ 26 ページ

ビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) を入力します。接続には市販のビデオケーブルを使います。

ユエスビー
⑪ **U S B (USB 端子: シリーズ B)** ☞ 25、26 ページ

コンピュータのマウス操作を、プロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。

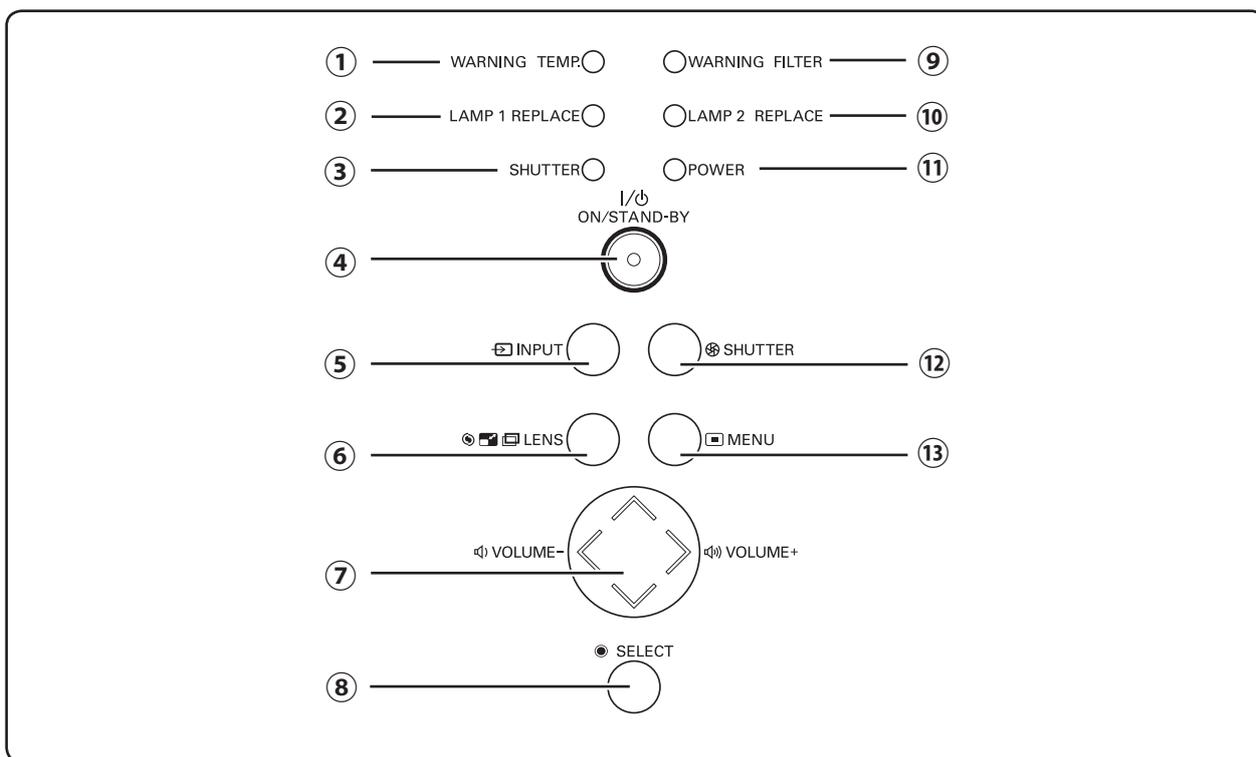
リモコンジャック
⑫ **R / C J A C K (リモコン端子)** ☞ 21 ページ

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のリモコンケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターを操作できます。

コントロールポート
⑬ **C O N T R O L P O R T (コントロールポート端子)**

☞ 25 ページ
コンピュータからシリアルデータでプロジェクターを操作するとき使用します。また、サービスマンがサービス時に使用します。

操作パネルとインジケータ



① ワーニング テンプ **WARNIG TEMP. インジケータ**

☞ 83～86 ページ

赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

② ランプ リプレース **LAMP 1 REPLACE インジケータ**

☞ 79～80、84～86 ページ

黄色で点灯して、ランプ 1 のランプが交換時期に達していることを知らせます。

③ シャッター **SHUTTER インジケータ** ☞ 84～86 ページ

シャッターが閉じているときに青く点灯します。

④ オン スタンバイ **ON / STAND-BY ボタン** ☞ 30～31 ページ

電源を入・切します。

⑤ インプット **INPUT ボタン** ☞ 32、43～44 ページ

インプット（入力）を切り換えます。

⑥ レンズ **LENS ボタン** ☞ 33 ページ

このボタンを押すごとに、ズーム調整、フォーカス調整、レンズシフト調整の各調整モードに入ります。

⑦ **ポイントボタン** ☞ 41 ページ

オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、ズーム機能の調整に使用します。また、左右ボタンで音量を調整することができます。

⑧ セレクト **SELECT ボタン** ☞ 41、55 ページ

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑨ ワーニング フィルター **WARNIG FILTER インジケータ**

☞ 81～82、84～86 ページ

橙色で点灯して、エアフィルターの交換時期を知らせます。

⑩ ランプ リプレース **LAMP 2 REPLACE インジケータ**

☞ 79～80、84～86 ページ

黄色で点灯して、ランプ 2 のランプが交換時期に達していることを知らせます。

⑪ パワー **POWER インジケータ** ☞ 83～86 ページ

プロジェクターの状態を示します。

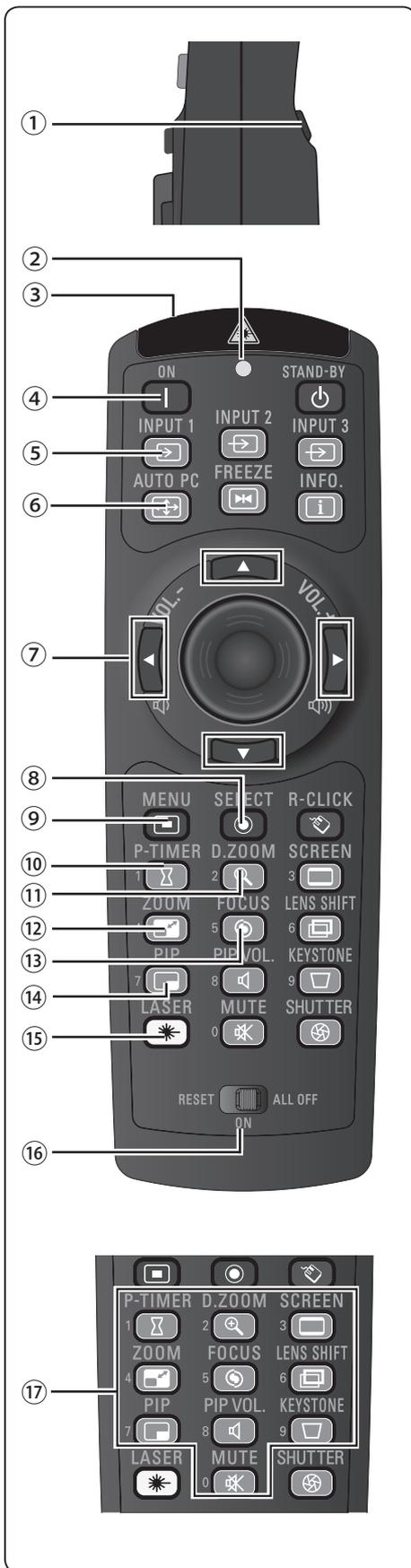
⑫ シャッター **SHUTTER ボタン** ☞ 37 ページ

シャッターを開閉します。

⑬ メニュー **MENU ボタン** ☞ 41 ページ

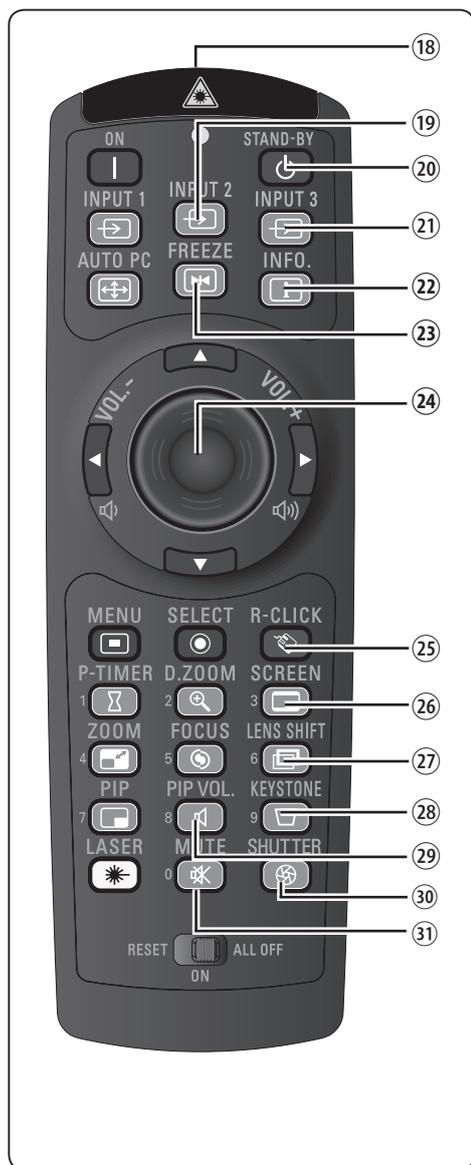
メニューバーを表示します。

リモコンのボタン



残りのボタンは次ページへ

- ① **左クリックボタン** ☞ 76 ページ
コンピュータマウスの左クリックの働きをします。
- ② **レーザポインタインジケータ** ☞ 77 ページ
レーザ光が出ているとき、またはプロジェクターへ信号を送信しているときに点灯します。
- ③ **レーザポインタ発光部** ☞ 77 ページ
レーザポインタ (レーザ光) が発光します。
- ④ **ON ボタン** ☞ 30 ページ
電源を入れます。
- ⑤ **INPUT 1 ボタン** ☞ 32、43 ページ
入力を INPUT 1 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑥ **AUTO PC ボタン** ☞ 35 ページ
オート ビシー
トラッキング・総ドット数・ポジション H・ポジション V を自動調整します。
- ⑦ **ポイント ボタン** ☞ 41 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、ズーム機能の調整に使用します。また、左右ボタンで音量を調整することができます。
- ⑧ **SELECT ボタン** ☞ 41、55 ページ
セレクト
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑨ **MENU ボタン** ☞ 41 ページ
メニュー
メニューバーを表示します。
- ⑩ **P-TIMER ボタン** ☞ 35 ページ
ピータイマー
プレゼンテーション (ボタンを押してから) の経過時間を表示します。
- ⑪ **D.ZOOM ボタン** ☞ 37 ページ
デジタルズーム
デジタルズームモードに入ります。
- ⑫ **ZOOM ボタン** ☞ 33 ページ
ズーム
レンズのズームを調整します。
- ⑬ **FOCUS ボタン** ☞ 33 ページ
フォーカス
フォーカスを調整します。
- ⑭ **PIP ボタン** ☞ 38 ページ
ピーアイピー
ピクチャーインピクチャーモード (2画面投映) に切り換えます。
- ⑮ **LASER ボタン** ☞ 77 ページ
レーザ
レーザポインタ (レーザ光) を出します。また、ポインタ機能のオン・オフの切り換えスイッチとしても使います。
- ⑯ **RESET/ON/ALL OFF スイッチ** ☞ 21 ページ
リセット オン オール オフ
リモコンを使用するときは「ON」にセットします。長時間使用しないときは、「ALL OFF」にセットします。リモコンコードを初期設定に戻すときは「RESET」にセットします。
- ⑰ **数字ボタン** ☞ 21、60～61、71～72 ページ
暗証番号またはリモコンコード設定のために数字を入力するときに使用します。

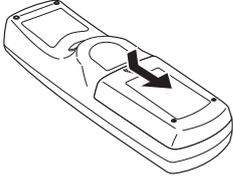


- ⑱ **ワイヤードリモコン端子** ㉞ 21 ページ
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコンケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
※ リモコンに電池が必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。
- ⑲ **INPUT 2 ボタン** ㉞ 32、43～44 ページ
入力を入力 2 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑳ **STAND-BY ボタン** ㉞ 31 ページ
電源を切り、待機状態にします。
- ㉑ **INPUT 3 ボタン** ㉞ 32、43～44 ページ
入力を入力 3 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ㉒ **INFO. ボタン** ㉞ 36 ページ
投映中の信号状況や設定の状況を表示します。
- ㉓ **FREEZE ボタン** ㉞ 35 ページ
画面を静止させます。
- ㉔ **プレゼンテーションボタン/マウスポインタボタン**
㉞ 76～77 ページ
ポインタ機能の操作、あるいはコンピュータのマウスとして使用します。
- ㉕ **R-CLICK (右クリック) ボタン** ㉞ 76 ページ
コンピュータマウスの右クリックの働きをします。
- ㉖ **SCREEN ボタン** ㉞ 34 ページ
画面サイズを選択します。ボタンを5秒間以上長押しすると、「スクリーン」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。
- ㉗ **LENS SHIFT ボタン** ㉞ 33 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。
- ㉘ **KEYSTONE ボタン** ㉞ 34 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- ㉙ **PIP VOL ボタン** ㉞ 40 ページ
ピクチャーインピクチャーモード (2画面) 時の音量調整に使用します。
- ㉚ **SHUTTER ボタン** ㉞ 37 ページ
シャッターを開閉します。
- ㉛ **MUTE ボタン** ㉞ 40 ページ
音声を一時的に消音します。

リモコンの準備

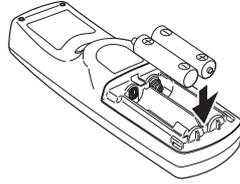
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



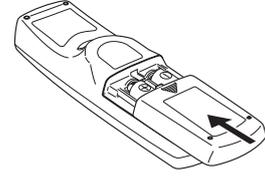
押しながら下にスライドさせます。

2 電池を入れます。



＋（プラス）、－（マイナス）に注意して付属の乾電池（単4形アルカリ乾電池2本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



上にスライドさせます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。



注意



禁止

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面および天面のリモコン受光部から約5m以内、上下左右30度以内です。

3つのリモコン受光部は、それぞれ有効・無効を切り換えることができます。☞ 65ページ

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、「セッティング」メニューの「リモコン受光部」で、蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。☞ 65ページ

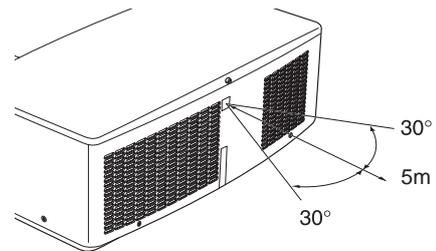
※ 天吊りではなく据え置きで設置している場合、天面の受光部を有効にすると、蛍光灯の影響を受けてリモコンが効きにくくなる場合があります。据え置きの場合は天面の受光部を無効にすることをおすすめします。☞ 65ページ



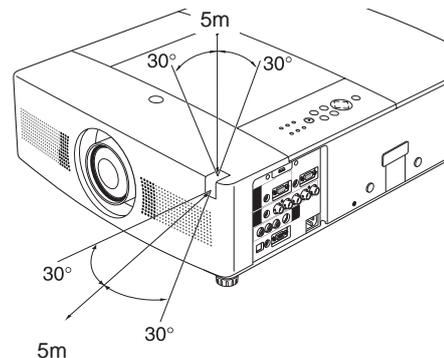
リモコンを使用するときのご注意

- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。
- ・本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。

本体後面のリモコン受光部



本体前面と天面のリモコン受光部



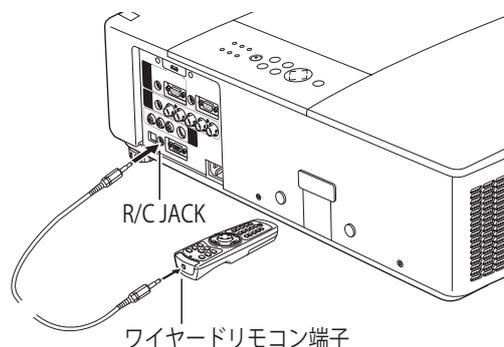
いずれの受光部とも、上下左右各30°以内の操作範囲

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

ワイヤードリモコンで操作

別売のワイヤードリモコンケーブル（㉔ 95 ページ）で、側面の [R/C JACK] 端子と、リモコンの [ワイヤードリモコン] 端子を接続します。

- ※ リモコンに電池が必要です。
- ※ リモコンをワイヤレスで使用するときには、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターに接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。
- ※ 「スタンバイモード」が「エコ」の場合、ワイヤードリモコンでもプロジェクター本体とリモコンのリモコンコードが一致していないと、「ON」ボタンを押しても電源をオンにできません。（㉔ 64 ページ）



リモコンコードの設定

本機は 8 種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにはリモコンコードを使い分けて使用できます。

リモコンコードを変更する場合には、プロジェクター本体とリモコンの両方を合わせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードの切り換えは「セッティング」メニューで行ないます。（㉔ 64 ページ）

<手順>

[MENU] ボタンと合わせたいリモコンコードに相当する数字ボタンを同時に 5 秒間以上長押しします。手を離すとコードが切り換わります。

リモコンコード	数字ボタン
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8

※ 設定したリモコンコードを初期化したい場合には、リモコン下方にあるスイッチを [RESET] にセットし、その後 [ON] に戻します。

※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

※ 電池を交換するとリモコンコードが工場出荷時に戻ります。電池交換後はリモコンコードを再設定してください。

リモコン



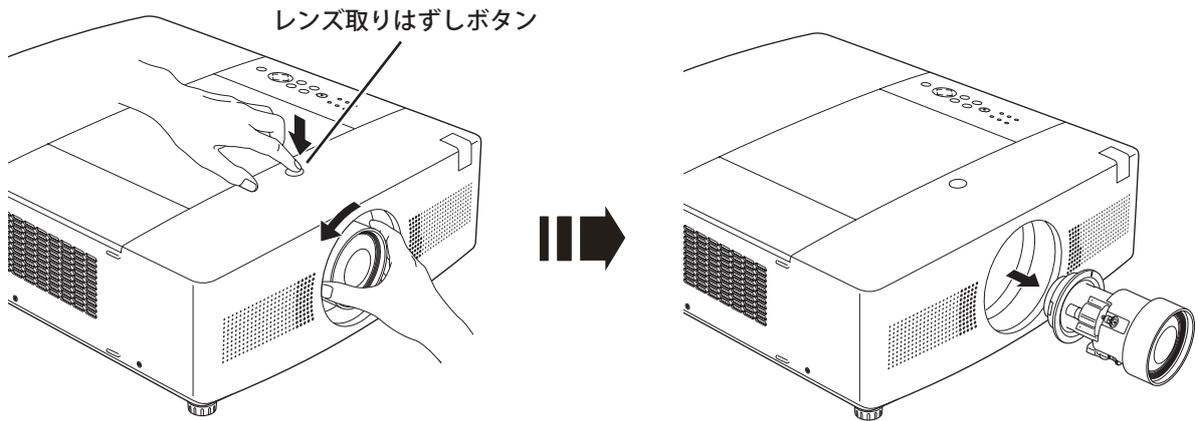
設置・接続

レンズの交換のしかた

本機はレンズの交換が可能です。プロジェクターを使用する環境の変化に応じてレンズを選択・交換することができます。レンズの仕様についての詳細は、取扱販売店にご相談ください。レンズの交換は下記の手順で行います。

レンズのとりはずしかた

- 1 はじめにレンズシフトでレンズをセンター付近にセットします。
- 2 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 本体天面のレンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを反時計方向に止まるまで回し、レンズをゆっくり引き抜きます。取りはずしの際にレンズを落下させないようにご注意ください。



※ レンズが落下しないように注意して取りはずしてください。

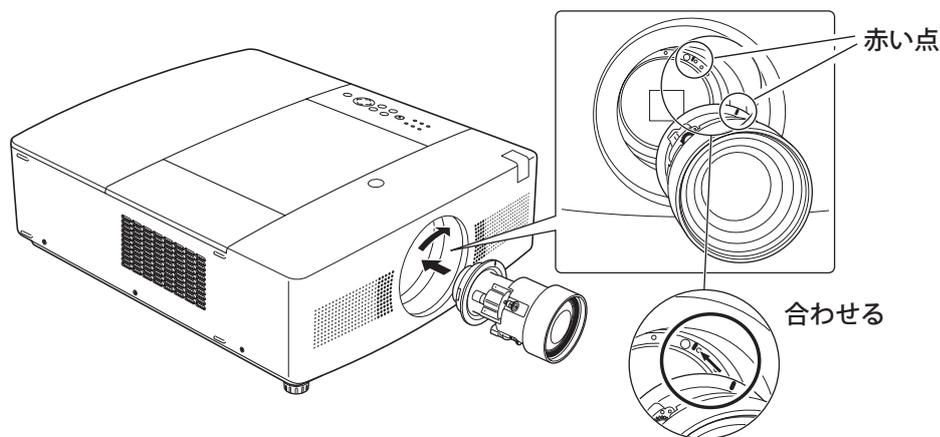
レンズの取り付けかた

- 1 レンズと本体の2つの赤い点を合わせてはめこみます。
- 2 レンズを軽く本体に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで時計方向にゆっくり回します。

<ご注意>

※ レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。

※ レンズが確実に取り付けられているか確認してください。



レンズを交換するときのご注意

- ・レンズおよびレンズモーターに配線された線などの部品に無理な力を加えないでください。
- ・ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体内にゴミやほこりが入ると画質を損なう原因になります。

設置のしかた

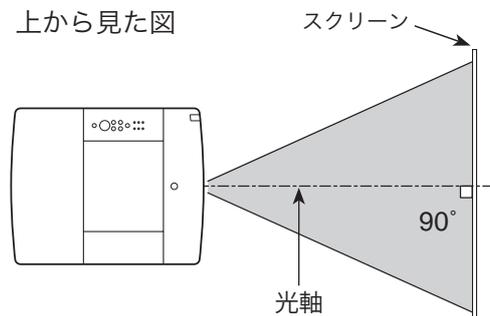
スクリーンに対して直角に投射する

投射したとき、光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

<ご注意>

※ スクリーンに対して過度に斜めに投射すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

上から見た図



テストパターンを投射する

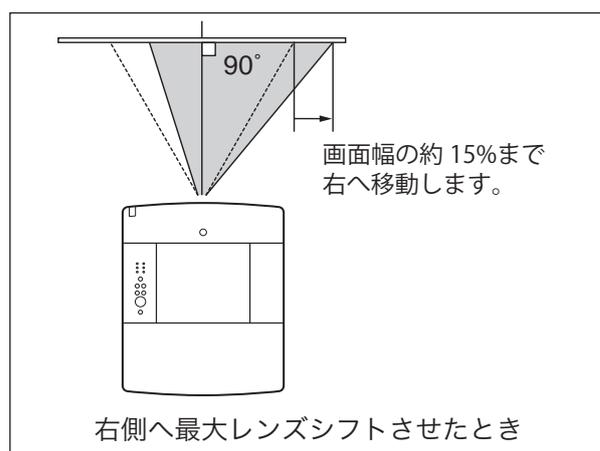
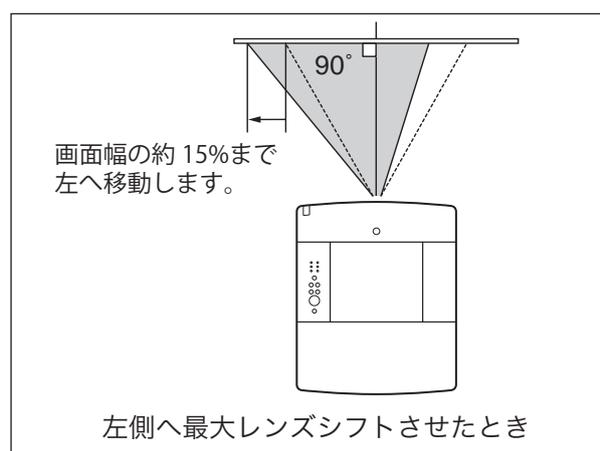
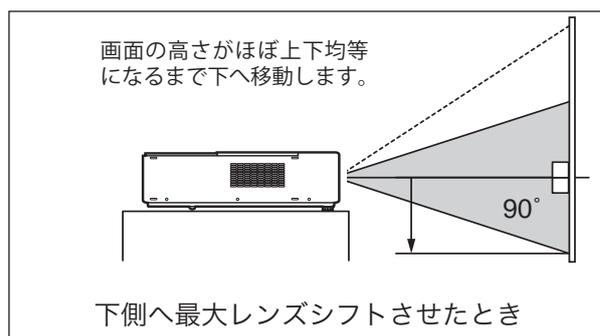
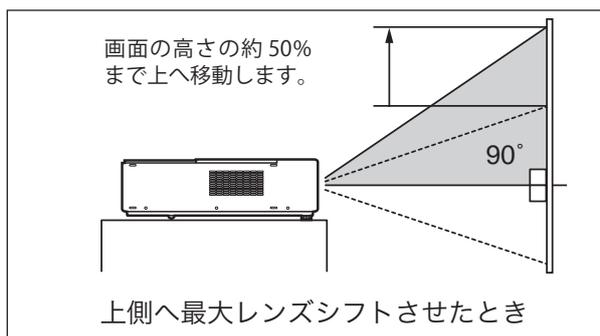
プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投射することができます。

「セッティング」メニューの「テストパターン」の中から選択して投射します。☞ 73 ページ

レンズシフト機能で画面の位置を合わせる (例)

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせて画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、33 ページをご覧ください。

※ 下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。



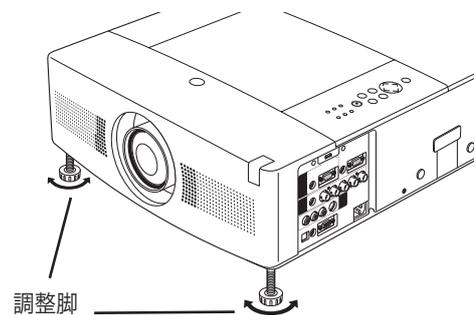
 **お使いになる部屋の明るさについて**

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

投映画面の高さと傾きを調整する

本体前方を持ち上げてから、本体前方の2つの調整脚を回して投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約3.5度まで上がります。

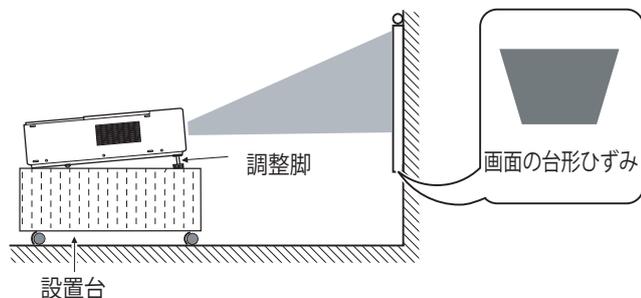
- ※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。
- ※ 持ち運びの際には、調整脚を戻してください。



画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

- ※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 34、57 ページ



- ※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル

- ・コンピュータケーブル (D-sub 用)
- ・HDMI-DVI ケーブル (DVI の信号は HDMI-DVI ケーブルで接続します※)
- ・BNC ケーブル
- ・USB ケーブル
- ・シリアルコントロールケーブル (RS232C 用・クロス)

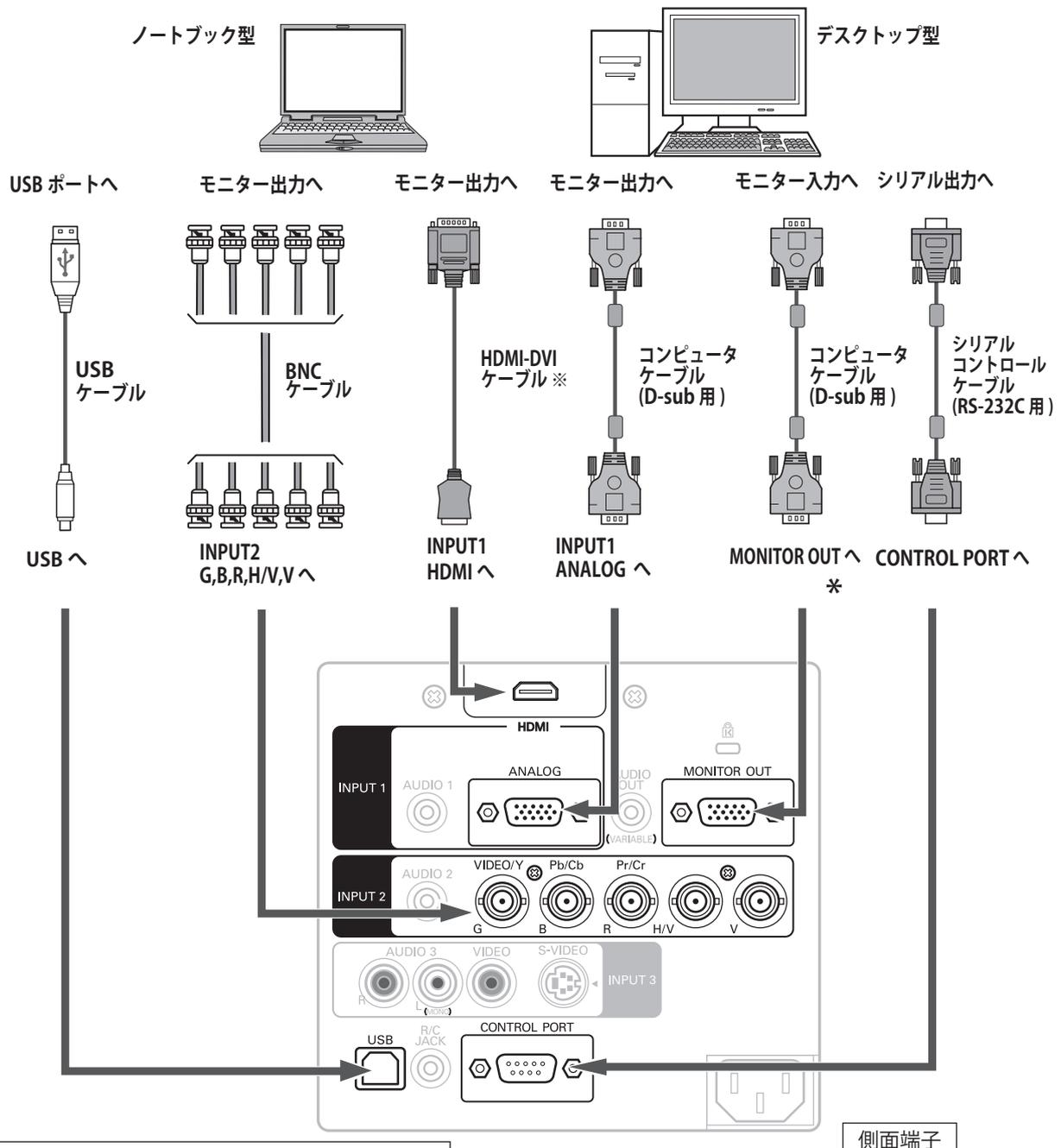
(注) コンピュータケーブル (D-sub 用) と USB ケーブル以外のケーブルは付属していません。そのほかの接続については、市販のケーブルをご使用ください。またその際には、各端子の形状および側面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

※ 信号および機器によっては、DVI の信号が投映されない場合があります。

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。

設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

(ノートブック型は、「キーボードの [Fn] キーを押しながらファンクションキーを押す」といった操作が必要な場合があります)



接続するときのご注意：

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

※ MONITOR OUT 端子の仕様については、27 ページを参照してください。

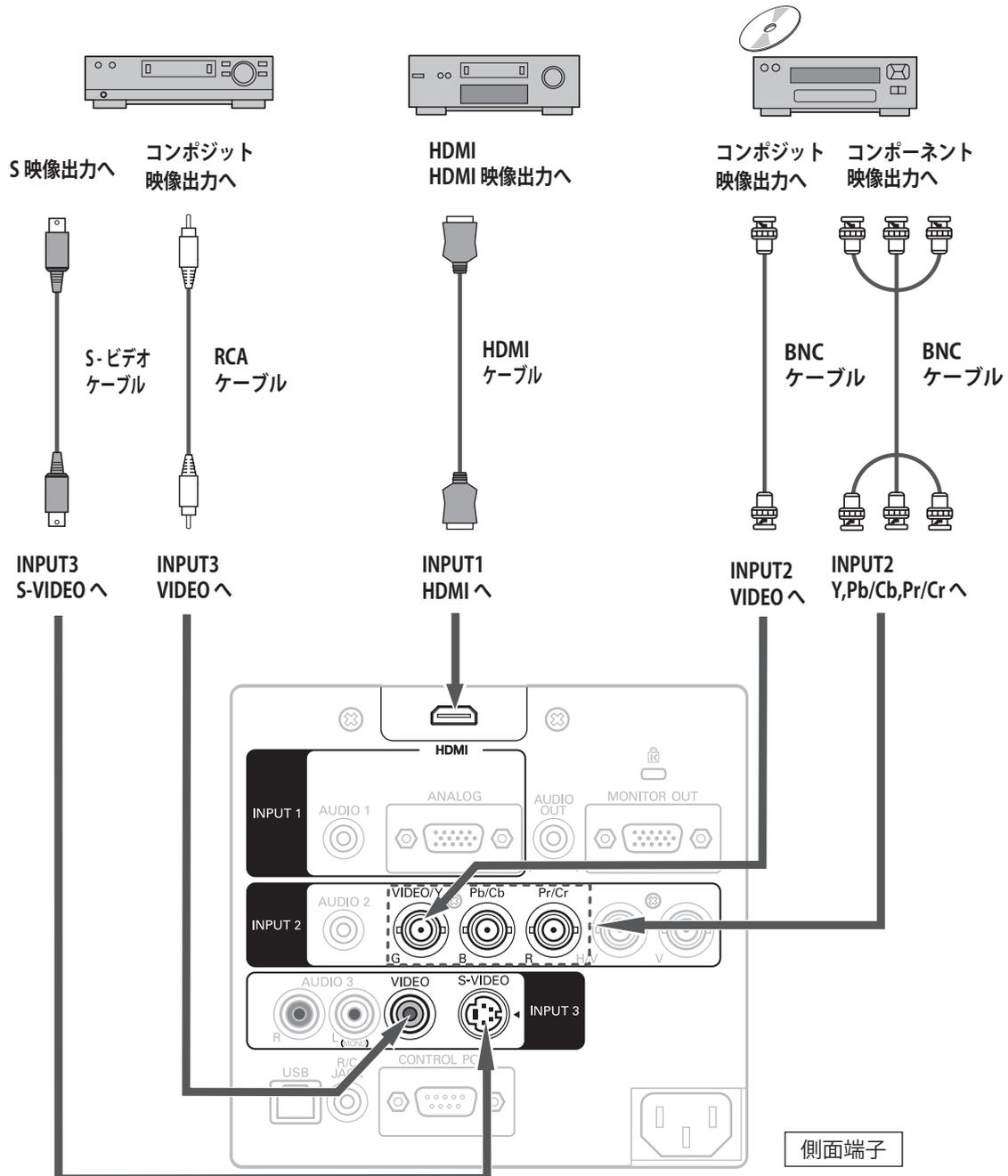
接続の例～ビデオ機器

接続に使用するケーブル

- ビデオケーブル (RCAx1)
- Sビデオケーブル (ミニ DIN4 ピン)
- HDMI ケーブル
- BNC ケーブル

(注) 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。またその際には、側面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

ビデオ、S-ビデオ、DVD プレーヤなど



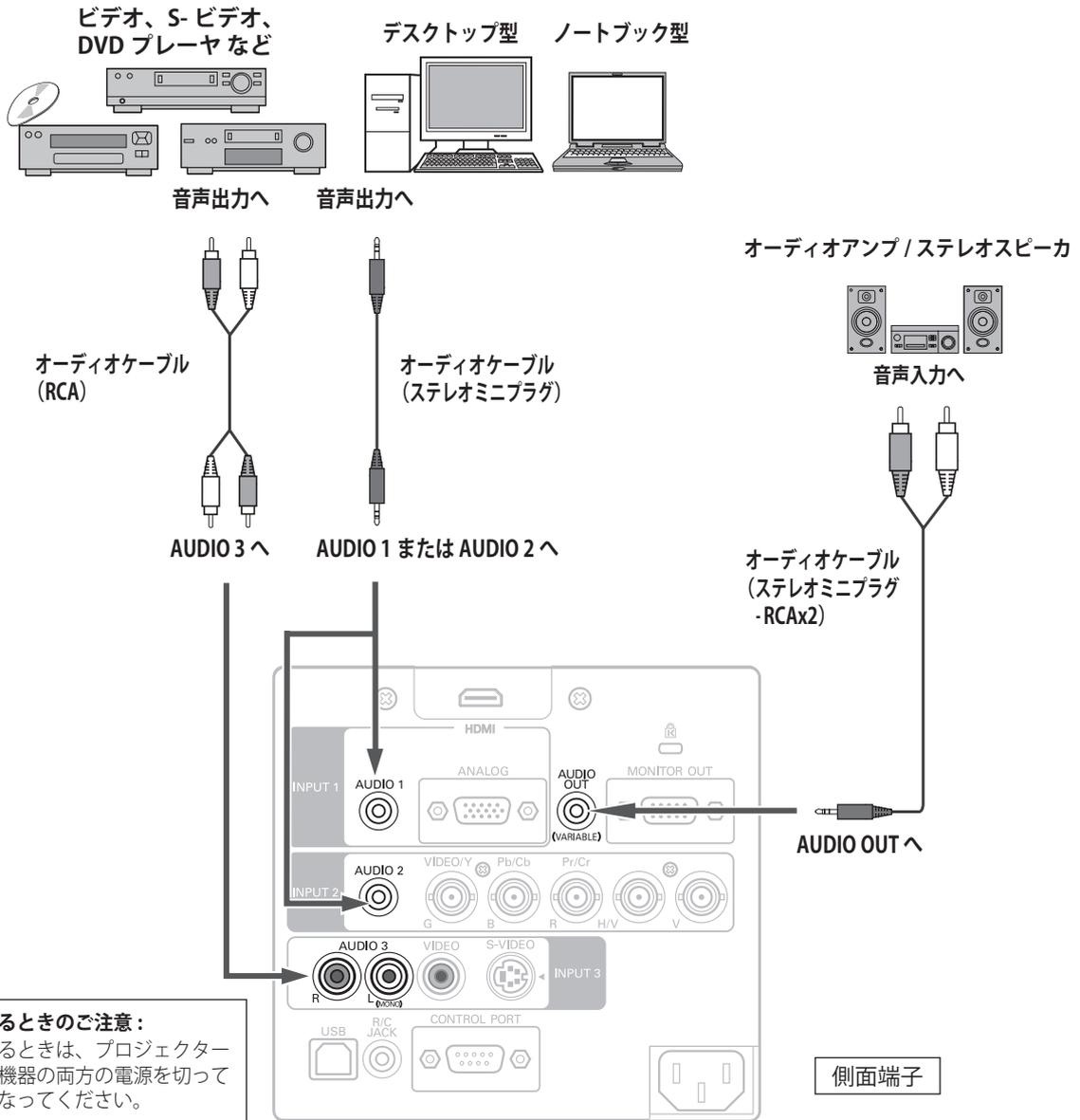
接続するときの注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

接続の例～音声入出力

接続に使用するケーブル

- オーディオケーブル（ステレオミニプラグ - RCAx2、ステレオミニプラグ、RCA）
- (注) 音声ケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。
AUDIO OUT から音声を外部機器に出力する場合には、出力先の外部機器にアンプ機能が内蔵されている必要があります。
HDMI 使用時の音声入力については、HDMI か AUDIO1 のどちらを使用するか設定する必要があります。☞ 69 ページ



* MONITOR OUT と AUDIO OUT の仕様

現在の Input	MONITOR OUT 端子 (映像)	AUDIO OUT 端子 (音声)
Input 1	Input 1 (D-Sub)	Input 1
Input 2	Input 2 (5-BNC)	Input 2
Input 3	Input 1 or Input 2 ※	Input 3
Network	Input 1 or Input 2 ※	なし

(注意)
接続した機器の音声信号が、内蔵スピーカーから出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると内蔵スピーカーから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか確認してください。

※入力が Input3 と Network のときに MONITOR OUT 端子から出力されるのは、Input1 または Input2 のうち、最後に出力した Input の信号になります。

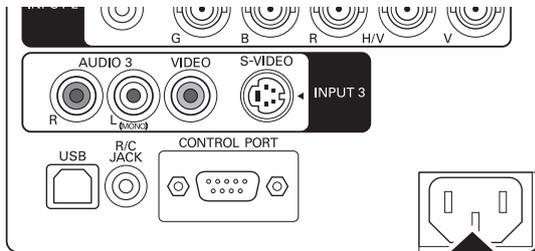
※ Input1 の HDMI および Input3 と Network の映像は MONITOR OUT 端子に出力できません。また Network では、音声は出力されません。

※ スタンバイモードが「エコ」の場合、スタンバイ時には MONITOR OUT および AUDIO OUT を使用できません。☞ 66 ページ

電源コードを接続する

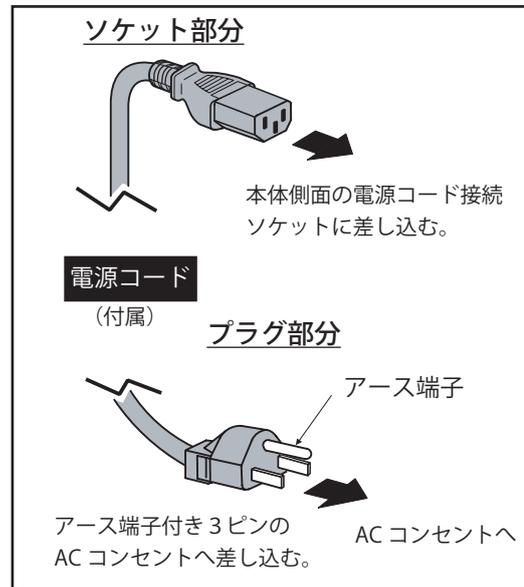
電源コードをつなぐ前に、16、25～27 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



電源コード接続ソケットへ

- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



注意



電源コード取扱上の注意

電源コードは、かならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものは絶対に使用しないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。



ご使用にならないときは電源コードを抜いてください。

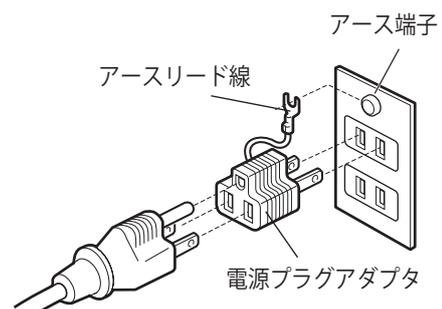
本機は、リモコンの [STAND-BY] ボタンや操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンで電源を切っても、約 14W の電力（「スタンバイモード」が「ノーマル」の場合）が供給されています。安全と節約のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。



安全のため電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子が無い）の場合はアース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないとラジオやテレビに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- ・ 感電の原因になりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- ・ アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因になります。
- ・ 電源プラグアダプタを使うときは安全のため、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前にアースリード線をアース端子に接続してください。また、外すときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いてからアースリード線をアース端子から外してください。



基本の操作

プロジェクターの基本操作

プロジェクターは、本体の操作ボタンまたはリモコンで操作できます。リモコンは、ワイヤレス式のほか、リモコンケーブルを接続してワイヤード式でも操作することができます。

基本操作と操作ボタン

ここで示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目	操作ボタン名	本体操作パネル	リモコン	参照ページ
電源入・切	ON/STAND-BY	○	-	30,31
電源入	ON	-	○	30
電源切	STAND-BY	-	○	31
入力切換	INPUT	○ INPUT1 → 2 → 3	-	32,43 ~ 44
入力切換	INPUT1/2/3	-	○	32,43 ~ 44
レンズ	LENS	○ ズーム→フォーカス →レンズシフト	-	33
ズーム	ZOOM	-	○	33
フォーカス	FOCUS	-	○	33
レンズシフト	LENS SHIFT	-	○	33
スクリーン	SCREEN	-	○	34
キーストーン	KEystone	-	○	34
デジタルズーム	D.ZOOM	-	○	37
自動 PC 調整	AUTO PC	-	○	35
フリーズ	FREEZE	-	○	35
ピクチャーインピクチャー	PIP	-	○	38
ピクチャーインピクチャー ボリューム	PIP VOL	-	○	40
プレゼンテーション タイマー	P-TIMER	-	○	35
右クリック	R-CLICK	-	○	76
シャッター	SHUTTER	○	○	37
レーザ	LASER	-	○	77
インフォメーション	INFO.	-	○	36
マウスポインタ・ ポインタ機能の操作	マウスポインタボタン・ プレゼンテーションボタン	-	○	76,77
数字の入力	0 ~ 9	-	○	21,31,60 ~ 61,70 ~ 71
メニュー	MENU	○	○	41
セレクト	SELECT	○	○	41
ポイント 上下左右	ポイント ▲▼◀▶	○	○	41
音量 - / +	VOLUME - / +	○ (ポイント ◀ / ▶)	○ (ポイント ◀ / ▶)	40
消音	MUTE	-	○	40

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、16、25～27 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

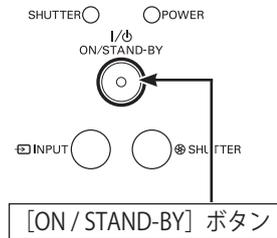
- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(☞ 28 ページ)
[POWER] インジケータが赤色に点灯します。
- 2 リモコンの [ON] ボタンまたは操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押して電源を入れます。(注1)
正常に起動すると [POWER] インジケータが緑色に点灯します。約 20 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン(注2)が終わると画像が映ります。スタート時、「ランプコントロール」と「インプットモード」「ランプステータス」が約 4 秒間表示されます。
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 70～71 ページ)を「オン」にしている場合には暗証番号を入力します。暗証番号の入力方法は、次ページを参照してください。

(注1)
セッティングメニューで「オンスタート」(☞ 67 ページ)を「オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

(注2)
セッティングメニューで、
・「オンスクリーン表示」(☞ 65 ページ)を「オン」、
・「ロゴ選択」(☞ 59 ページ)を「オフ」に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は表示されません。
・「オンスクリーン表示」(☞ 65 ページ)を「カウントダウンオフ」または「オフ」に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 59 ページ)の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

カウントダウン中は、リモコンによるズーム、フォーカス、レンズシフトの操作が行なえます。ただし、「暗証番号ロック」が「オン」の場合には、上記の操作は行なえません。

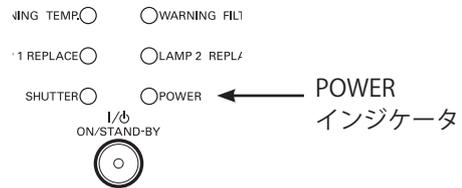
操作パネル



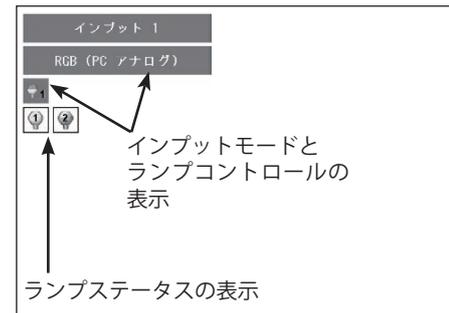
リモコン



インジケータ



スタート時の画面表示

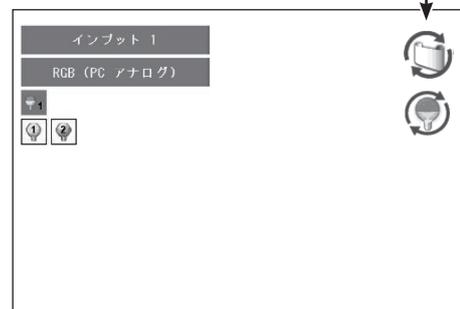


エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。(☞ 79、81 ページ)
※ 約 4 秒間表示されます。

この表示はエアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換せずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に自動的に電源が切れます。

フィルター警告とランプ交換の表示



冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

暗証番号の入力方法

※ 前ページ「電源を入れる」の「1」「2」に続いて、

- 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「手順2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

リモコンで入力する

- リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
☞ 下記「手順6」へ

本体で入力する

- [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 4けた全ての数字を入力したら、ポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

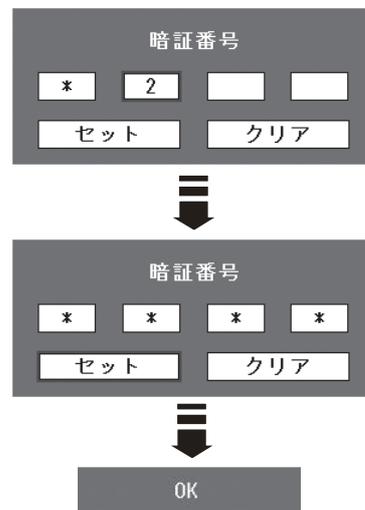
- [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけ
たを選択し、数字ボタンまたは[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて[SELECT]
ボタンを押します。

- 正しく入力されていると「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

※ 暗証番号の入力画面が表示されてから、約3分以内に「OK」が画面に表示され
ない場合には、自動的に電源が切れます。

暗証番号



暗証番号ロックとは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。詳しくは「各種機能の設定」の「セキュリティ」の「暗証番号ロック」を参照してください。

☞ 71 ページ

電源を切る

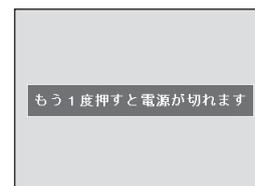
- リモコンの[STAND-BY] ボタンまたは操作パネルの[ON/STAND-BY] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」と表示されます。
- 表示されている間に再度[STAND-BY] ボタンまたは[ON/STAND-BY] ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。電源が切れると[POWER] インジケータが赤色で点滅し、ランプの冷却が始まります。

リモコン



[STAND-BY] ボタン

電源切時の画面表示



※ 約4秒間表示されます。

Easy off 機能

上記の手順で電源を切ると、約3秒後に[POWER] インジケータが赤色で点滅し始めます。点滅が始まると、すぐにAC電源コードを抜くことができます。



ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始めて安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[STAND-BY] ボタンまたは[ON/STAND-BY] ボタンで操作してください。電源が入っている状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。



電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後しばらくの間は、次の点灯に備えて高温になったランプを冷却しています。この間は[ON] または[ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。

パワーマネージメント機能とその働き

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上映像が入力されず、また、プロジェクターが操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了するとランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞ 67 ページ

パワーマネージメントの動作について

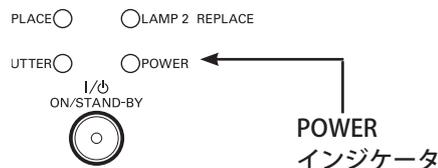
- 設定が「待機」の場合
 - タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが赤色で点滅し、プロジェクターは操作できません。
 - ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが緑色で点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のとき、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。
- 設定が「シャットダウン」の場合
 - タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが赤色で点滅し、プロジェクターを操作できません。
 - ランプの冷却が完了すると電源が切れます。

タイマー表示



※タイマーの表示中に、操作または信号の入力が行なわれると、タイマーの表示が消えます。

パワーマネージメント時のインジケータ



パワーマネージメントモード時は、[POWER] インジケータが緑色で点滅します。

プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合には、24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。休ませることにより、ランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

「インプット1」「インプット2」「インプット3」から投映するインプット（入力）を選択します。

- 操作パネルの [INPUT] ボタンを押して、投映するインプットを選択します。ただし、入力信号を選択することはできません。☞ 43 ページ
- リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンでインプットを選択する場合は、ボタンを押すたびに入力信号が切り換わりますので、希望の入力信号になるまで押します。☞ 43 ページ

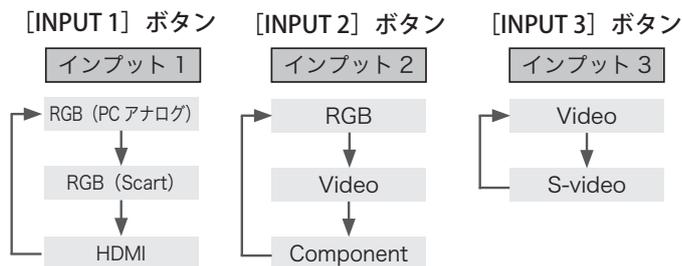
<ご注意>

操作パネルの [INPUT] ボタンでインプット（入力）を選択する場合には、先に「インプット」メニューで各インプットの入力信号を選択しておく必要があります。入力信号の選択が正しく行われていないと [INPUT] ボタンを押しても正しく投映されません。☞ 43～44 ページ

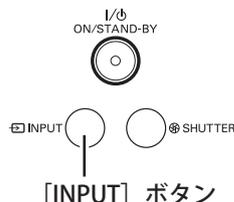
[INPUT] ボタン



[INPUT1/2/3] ボタン



操作パネル



リモコン



投映画面を調整する

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [LENS] ボタンを押すたびに、「ズーム」→「フォーカス」→「レンズシフト」の各調整モードに切り換わります。
- リモコンではそれぞれのボタンを押すと、その調整モードに切り換わります。

画面の大きさを決める

[LENS]、[ZOOM] ボタン

リモコンで操作するとき

[ズーム] ボタンを押します。「ズーム」表示が出ている間に、ポイントボタンで調整します。

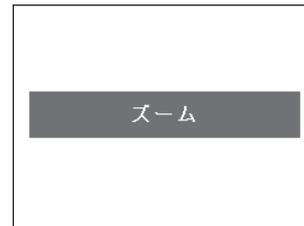
- [ポイント] ボタン上・・・画面が大きくなります。
- [ポイント] ボタン下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「ズーム」を選択します。「ズーム」表示が出ている間に、ポイントボタンで調整します。

- [ポイント] ボタン上・・・画面が大きくなります。
- [ポイント] ボタン下・・・画面が小さくなります。

「ズーム」表示



- ※ 約 4 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ☞ 65 ページ

フォーカスを合わせる

[LENS]、[FOCUS] ボタン

リモコンで操作するとき

[FOCUS] ボタンを押して「フォーカス」表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「フォーカス」を選択します。「フォーカス」表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

「フォーカス」表示



- ※ 約 4 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ☞ 65 ページ

レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

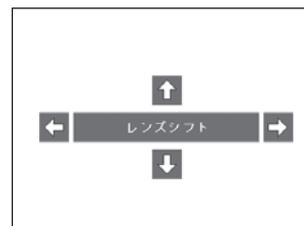
[LENS]、[LENS SHIFT] ボタン

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの [LENS SHIFT] ボタン、または操作パネルの [LENS] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」が表示されます。
- 2 「レンズシフト」が表示されている間に [ポイント] ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

- ※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の中央です。
- ※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
- ※ レンズシフト機能で調整した内容は電源を切っても記憶されています。
- ※ 画面位置を動かすと、多少画面が暗くなることがあります。

「レンズシフト」表示

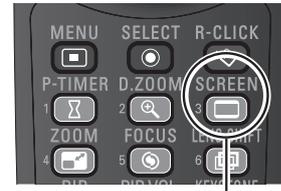


- ※ 約 4 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ☞ 65 ページ

画面サイズを選択

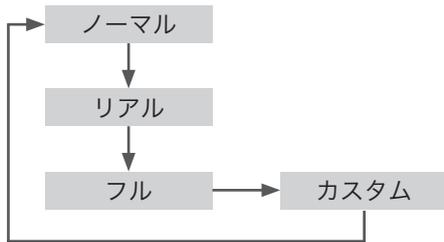
[SCREEN] ボタン

リモコンの [SCREEN] ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを選択することができます。選択できる画面サイズは、コンピュータ入力とビデオ入力でそれぞれ異なります。☞ 54～56 ページ

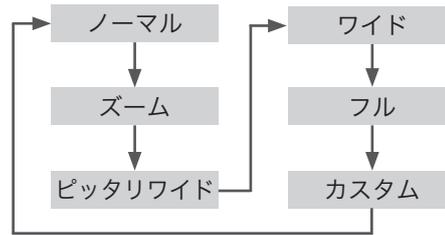


[SCREEN] ボタン

コンピュータ入力



ビデオ入力



キーストーン調整（台形ひずみの補正）

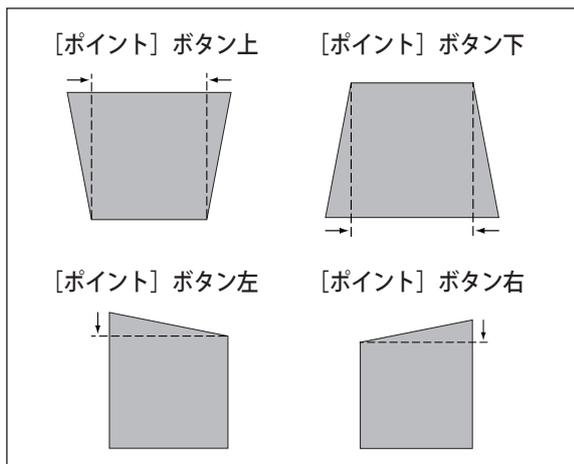
[KEystone] ボタン

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。画面に「キーストーン」が表示されます。表示されている間に [ポイント] ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

- [ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。
- [ポイント] ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。



[KEYSTONE] ボタン



「キーストーン」表示

キーストーン

- ※ 約 10 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。☞ 65 ページ
- ※ 補正された方向の矢印は赤色で表示されます。（無補正の方向の矢印は白色で表示）
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

<ご注意>

- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整後に「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。☞ 57 ページ
- ※ キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ 入力信号によってキーストーンの補正量および補正範囲は異なります。
- ※ レンズシフト位置によって、キーストーン補正角度は異なります。

その他の機能

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 [FREEZE] ボタンを押すと解除されます。また、FREEZE 中にほかのボタンを押すと、FREEZE は自動で解除され、押したボタンが機能します。

※ FREEZE の動作中は、パワーマネージメント (C 32 ページ) は動作しません。



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。



[FREEZE] ボタン

プレゼン時に経過時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウントして画面に表示します。もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。

※ パワーマネージメント (C 32 ページ) が働くと、P-TIMER は解除されます。



こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。



[P-TIMER] ボタン

経過時間の表示



00 分 00 秒から最長 59 分 59 秒まで経過時間を画面表示できます。

コンピュータ信号の画面調整を自動で行なう

[AUTO PC] ボタン

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押すと、コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」を自動で調整します。C 47 ページ

※ 自動 PC 調整で、「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の全てを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、手動で調整してカスタムモードに登録してください。

C 47 ~ 49 ページ

※ 自動調整した内容を登録しておく、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。登録のしかたについては、コンピュータシステムの調整のマニュアル PC 調整 (C 47 ページ) をご参照ください。

※ コンピュータからの入力信号によっては、自動 PC 調整を行なえない信号があります。C 47 ページ

※ 「PC 調整」メニューからも自動 PC 調整を行なえます。C 47 ページ



[AUTO PC] ボタン

投映中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投映中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

[INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンを押します。

メニューから確認する

[MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で「インフォメーション」を選択します。



[INFO.] ボタン



インフォメーション
メニューアイコン

インプット	インプット 1	
	RGB (PC アナログ)	
水平周波数	43.4 KHz	
垂直周波数	60.0 Hz	
スクリーン	ノーマル	
言語	日本語	
ランプモード	ランプ 1 / 2	10:00
ランプコントロール	A1	
ランプ 1	50 時間	
ランプ 2	70 時間	
フィルターカウンター	150 時間	
パワーマネージメント	待機	5分
シャッターマネージメント	リモートコントロール	オフ
	プロジェクター	オフ
	180 分	
セキュリティ	キーロック	
	暗証番号ロック	オフ
リモコンコード	コード 1	
SERIAL NO.	*****	

確認できる項目

- ・インプット (投映中の信号の種類)
- ・水平周波数
- ・垂直周波数
- ・スクリーン
- ・言語
- ・ランプモード
- ・ランプコントロール
- ・ランプ 1 の使用時間
- ・ランプ 2 の使用時間
- ・フィルターカウンター
- ・パワーマネージメント
- ・シャッターマネージメント
- ・セキュリティ
- ・リモコンコード
- ・SERIAL NO. (製品シリアル番号)

「ランプ 1」「ランプ 2」には、それぞれのランプの使用時間が表示されます。ランプ交換推奨時間に達した場合には、時間が赤色で表示されます。

<ご注意>

- ※ 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。
- ※ 「ランプ 1」「ランプ 2」の使用時間は、実際に使用した時間ではなく、「エコモード」で投映した場合のランプ使用時間に換算された時間が表示されます。
- ※ ランプモードのカウンターは、ランプモードが「ランプ 1/2」でタイマーが「オン」のときに表示されます。



こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できないときに、問題解決の手助けになります。

画面を拡大する

[D.ZOOM] ボタン

画面の拡大、縮小を行ないます。

○デジタルズーム+

リモコンの [D.ZOOM] ボタンを 1 回押すと、画面に「D.zoom +」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が拡大します。[ポイント] ボタンで画面をパンニング（移動）させます。

○デジタルズーム-

リモコンの [D.ZOOM] ボタンを 2 回押すと、画面に「D.zoom -」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が縮小します。

デジタルズームモード中に「D.ZOOM、SELECT、ポイント」以外のボタンを押すとデジタルズームモードから抜けて、押したボタンが機能します。



[D.ZOOM] ボタン

シャッターを閉じる

[SHUTTER] ボタン

本機には、機械的なシャッターが搭載されています。リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタンを押すと、シャッターを閉じて投映光を遮断します。シャッターを閉じている間は [SHUTTER] インジケータが青色に点灯します。再度 [SHUTTER] ボタンを押すとシャッターが開きます。

- ※ シャッターを閉じているときに他のボタンを押すと、シャッターが開き、押したボタンの機能が動作します。
- ※ パワーマネージメントが働いているときに [SHUTTER] ボタンを押すと、パワーマネージメントは解除され、シャッターが閉じます。
- ※ シャッターを閉じている間は、パワーマネージメントは働きません。
- ※ リモコンからのシャッター操作の保護（操作禁止）を設定している場合にリモコンの [SHUTTER] ボタンを押すと、画面に **!** が表示されます。また、本体のボタン操作を保護している場合にも同様に表示されます。
- ※ シャッター操作の保護設定などのシャッターに関する設定は、「セッティング」メニューの「シャッター」で行ないます。☞ 68 ページ



[SHUTTER] ボタン

2画面を同時に投映する

本機は、2つの入力信号をメイン画面、サブ画面の2画面で投映することができます。(ピクチャーインピクチャー) メイン1画面↔メイン・サブ2画面の切り換えは、リモコンの [PIP] ボタンで行なうことができます。

2画面を同時に投映する

リモコンの [PIP] ボタンを押すごとに、ピクチャーインピクチャーのオン、オフが切り換わり、2画面の投映と1画面のみの投映を切り換えることができます。

なお2画面時の音声は、メイン画面に設定したインプットからの出力となります。また、メニューから各種の設定を行なえるのはメイン画面のみとなりますが、2画面投映時には設定できない項目があります。詳しくは次ページを参照してください。



[PIP] ボタン

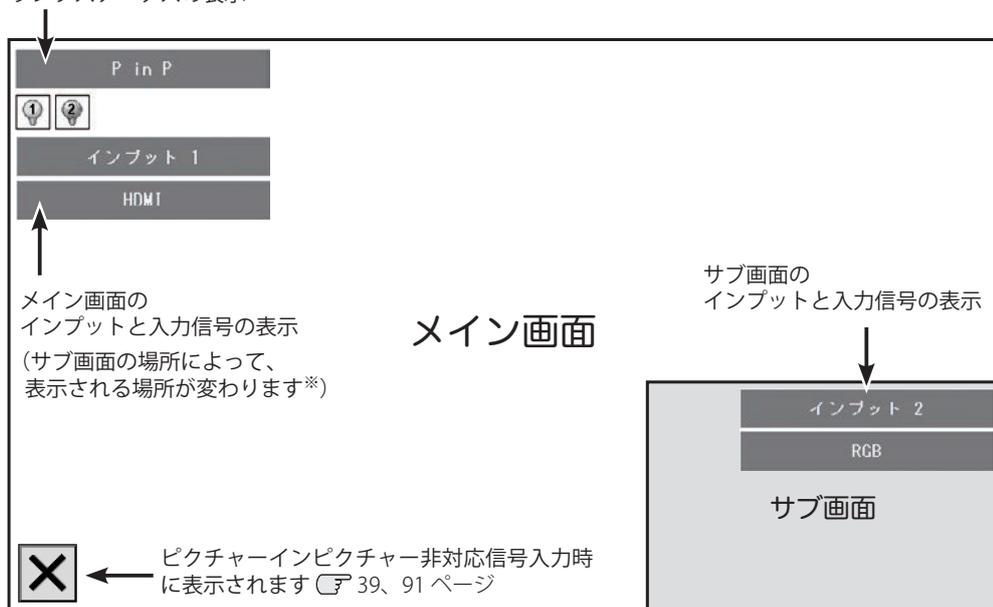
④ [PIP] ボタンを3秒間長押しすると、「ピクチャーインピクチャー」の設定画面が表示されます。(P.61ページ)

④ 各種の画面表示は、それぞれ約10秒間表示されます。なお、「オンスクリーン表示」が「オフ」の場合には表示されません。(P.65ページ)

P in P モード

「P in P」モードは、メイン画面の中にサブ画面を表示します。サブ画面の大きさや位置は、「設定」メニューの「ピクチャーインピクチャー」で設定します。また「P in P」モード時に、リモコン操作で変更することができます。

ピクチャーインピクチャーのモード (P in P) とランプステータスの表示



P in P モード時のボタン操作

本体またはリモコンの [SELECT] ボタンを押してサブ画面を選択すると、ポイントボタン [◀▶▲▼] で、サブ画面に関する設定を変更できます。

ボタン	動作
SELECT	サブ画面の選択
▲	メイン画面とサブ画面の入れ換え
▼	サブ画面の大きさの変更
◀	サブ画面の位置の変更 (左回り)
▶	サブ画面の位置の変更 (右回り)

※ メイン画面のインプットモードと入力信号の表示は、サブ画面の場所によって表示される場所が変わります。

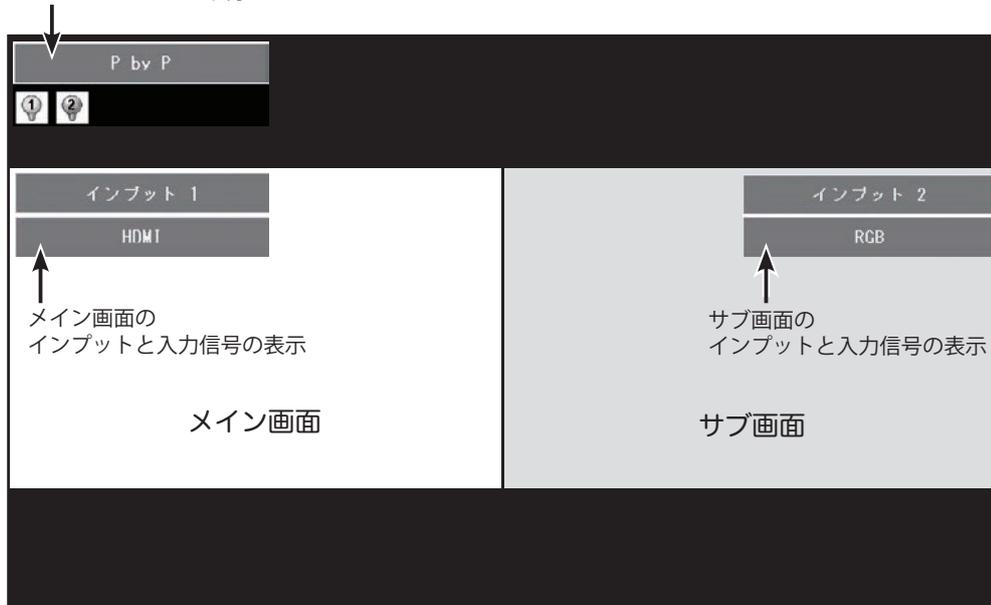
メイン画面のインプットと入力信号の表示位置

- ・サブ画面が右下 左上
- ・サブ画面が右上 左上
- ・サブ画面が左上 右上
- ・サブ画面が左下 右上

P by P モード

「P by P」モードは、メイン画面とサブ画面を同じ大きさで並べて表示します。「P by P」モード時は、向かって左側がメイン画面になります。

ピクチャーインピクチャーのモード（P by P）とランプステータスの表示



P by P モード時のボタン操作

本体またはリモコンの [SELECT] ボタンを押してサブ画面を選択すると、ポイントボタン [▲] で、メイン画面とサブ画面を入れ換えることができます。

ボタン	動作
SELECT	サブ画面の選択
▲	メイン画面とサブ画面の入れ換え



サブ画面のインプットを変更する

[SELECT] ボタンを押してサブ画面を選択し、4 秒以内に本体の [INPUT] ボタンまたはリモコンの [INPUT1/2/3] ボタンを押すと、サブ画面のインプットを変更することができます（サブ画面を選択するとサブ画面が赤枠で囲まれます）。再度 [SELECT] ボタンを押すと赤枠が消え、サブ画面の選択が解除されます。



2画面投映時に設定できないメニュー（項目）

2画面投映時には、以下のメニュー（項目）は設定できません。

システムメニュー、イメージメニュー、イメージ調整メニュー、スクリーンメニュー（アスペクト比変更および画面サイズ変更に関する項目）



2画面投映できない入力信号、および入力の組み合わせ

PC およびビデオの入力信号の周波数や信号種類によっては解像度が下がったり、右図の「×」が表示されて投映されないことがあります。詳しくは 91 ページの組み合わせ一覧表をご覧ください。



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

音量を設定する

ダイレクトボタンで音を調節する

音量

画面表示が出ていない状態で、リモコンの [VOL-] ボタンまたは操作パネルの [VOLUME-] ([ポイント] ボタン左) を押すと音量が小さくなり、リモコンの [VOL+] ボタンまたは操作パネルの [VOLUME+] ボタン ([ポイント] ボタン右) を押すと音量が大きくなります。音量は0から63まで調整できます。画面に表示される音量バーを目安に調整してください。

消音

リモコンの [MUTE] ボタンを押すと、一時的に音が消えます。再度リモコンの [MUTE] または [VOL (+/-)] ボタンを押すと解除されます。

サウンドメニューで音を調節する

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、選択したい項目にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。



音量

[ポイント] ボタン左で音量が小さくなり、[ポイント] ボタン右で音量が大きくなります。音量バーを目安に調整してください。



消音

[ポイント] ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

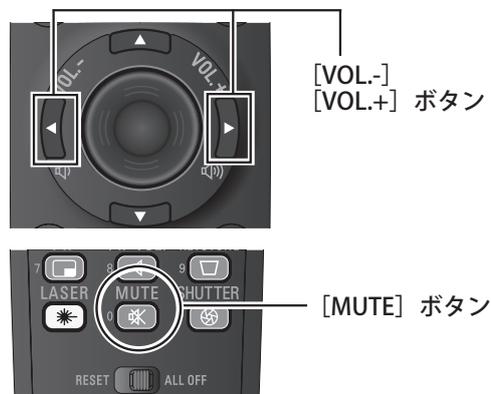
※ 消音を「オン」を設定していても、音量を変更すると自動的に消音は「オフ」になり音が出ます。

※ [AUDIO OUT] (音声出力端子) は可変出力です。プロジェクターで音量を変化させると、[AUDIO OUT] からの出力が変化します。

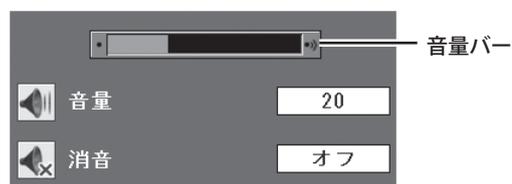
2画面時の音量を調節する

ピクチャーインピクチャー (2画面) モードのときにリモコンの [PIP VOL] ボタンを押すと、[ポイント] ボタンの左右でメイン画面のボリュームを調節できます。

リモコンの音量設定ボタン



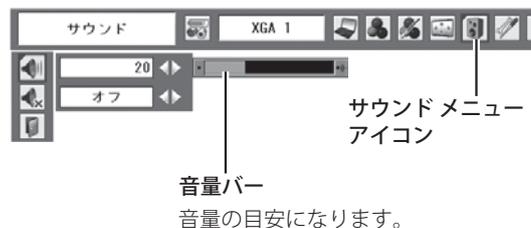
ダイレクトボタンでの音量調整時の画面表示



※ 約4秒間表示されます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。(P.65 ページ)

サウンドメニュー



オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、

- ① [ポイント] ボタンでポインタを移動させて
- ② ポインタの指す項目を [SELECT] ボタンで選択するが基本です。

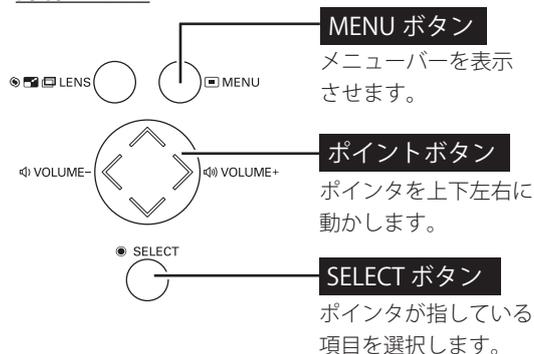
① ポインタの動かし方

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

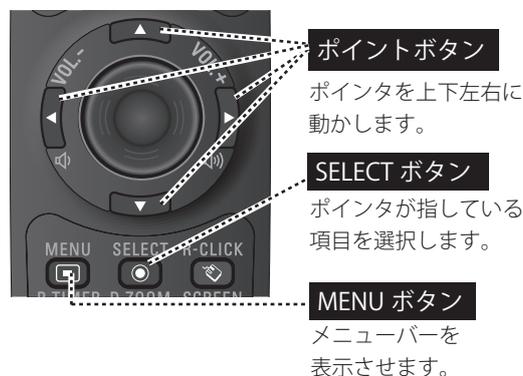
② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした絵）を選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作パネル



リモコン



基本の操作

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

- 1 [MENU] ボタンを押すと、画面にメニューバーが表示されます。メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした絵）の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

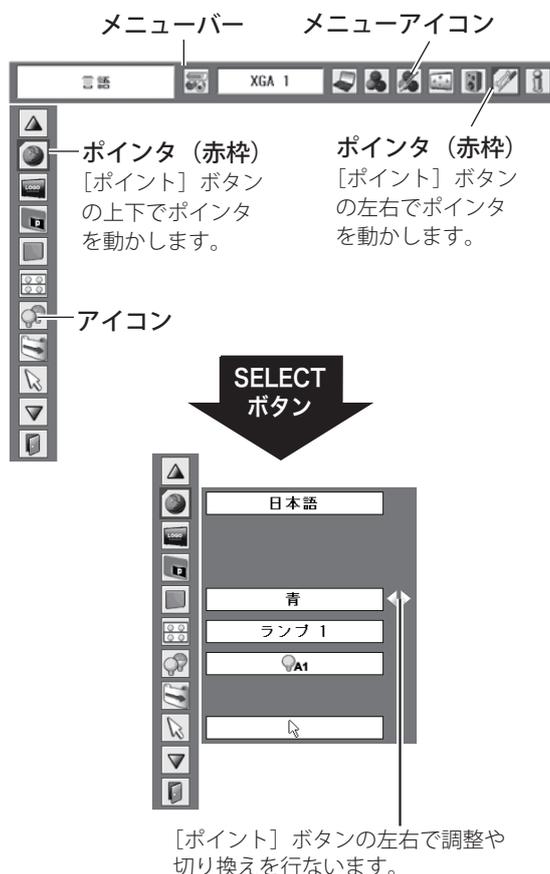
メニューを選択する

- 2 赤い枠のポインタを [ポイント] ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

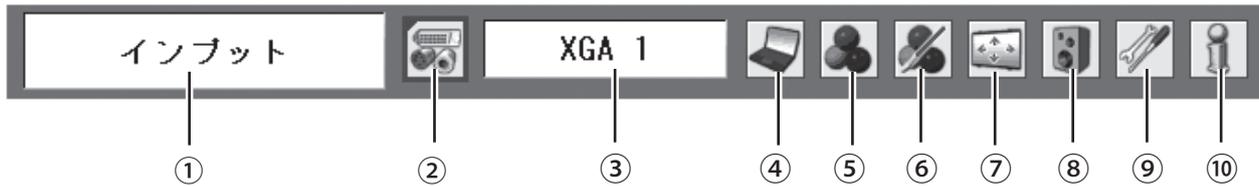
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。
- 4 [SELECT] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に表示します。
- 5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ 以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、「アイコン」を省略することがあります。



メニューバー



①	ガイドボックス オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
②	インプットメニュー (F 43～44 ページ) 「インプット (入力)」を切り換えます。	
③	システムボックス (F 45、46 ページ) コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④	PC 調整メニュー * (F 47～49 ページ) お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤	イメージ選択メニュー (F 50 ページ) 画面のイメージモードを選択します。	ダイナミック、標準、リアル*、シネマ**、イメージ 1～4
⑥	イメージ調整メニュー (F 50～53 ページ) 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、色温度、ホワイトバランス (赤/緑/青)、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー
⑦	スクリーンメニュー (F 54～57 ページ) 画面の大きさや投影モードを設定します。	ノーマル、リアル*、ズーム**、ピッチリワイド**、ワイド**、フル、カスタム、デジタルズーム+/-*、キーストーン、天吊り、リア投影
⑧	サウンドメニュー (F 40 ページ) 音声の設定を行ないます。	音量、消音
⑨	セッティングメニュー (F 58～75 ページ) プロジェクターの各種設定を行ないます。	言語、ロゴ、ピクチャーインピクチャー、バックグラウンド、ランプモード、ランプコントロール、フィルター制御、ポインタ、リモコンコード、リモコン受光部、オンスクリーン表示、スタンバイモード、パワーマネージメント、オンスタート、傾斜設定、シャッター、HDMI 設定、セキュリティ、テストパターン、警告履歴、フィルターカウンター、初期設定
⑩	インフォメーションメニュー (F 36 ページ) 投影中の信号状況とセッティングの状況を表示します。	インプット、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプモード、ランプコントロール、ランプ 1、ランプ 2、フィルターカウンター、パワーマネージメント、シャッターマネージメント、セキュリティ、リモコンコード、SERIAL NO.

* インプットがコンピュータのときのみ表示、選択可。

** インプットがビデオのときのみ表示、選択可。

入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を切り換えます。

[INPUT] ボタンでインプット (入力) を切り換える

① 操作パネルの [INPUT] ボタン

操作パネルの [INPUT] ボタンを押すとインプットが表示され、押しごとにインプットが切り換わります。☞ 32 ページ

※ [INPUT] ボタンでは、入力信号の切り換えはできません。正しい入力信号でない場合は、リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン、または「インプット」メニューで正しい入力信号を選択してください。(下記参照)

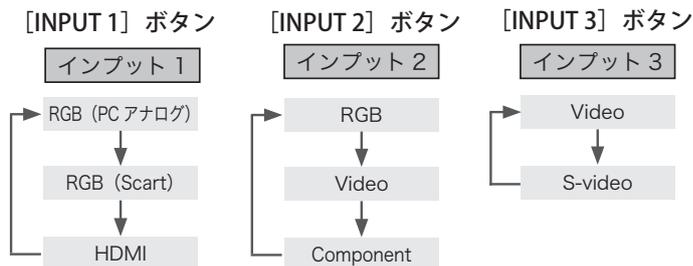
[INPUT] ボタン



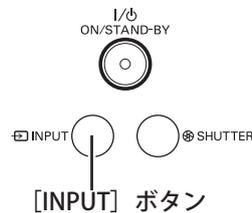
② リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン

リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンで、インプットを直接選択することができます。ボタンを押すと画面にインプットが表示され、最後に投射した入力信号が選択されます。さらに、インプットの表示中にボタンを押すと、それぞれのインプットで選択する入力信号が切り換わります。☞ 32 ページ

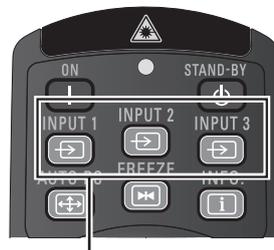
[INPUT1/2/3] ボタン



操作パネル



リモコン



[INPUT1/2/3] ボタン

※ 下記のインプットの表示が出ている間にボタンを押すと、左記の順番で入力信号が切り換わります。

インプットの表示



入力の
設定・
調整

[INPUT] メニューでインプット (入力) を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン上下で、ポインタを映したいインプットに合わせて [SELECT] ボタンを押します。入力信号選択メニューが表示されます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを映したい入力信号に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

インプット 1

RGB (PC アナログ)

INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

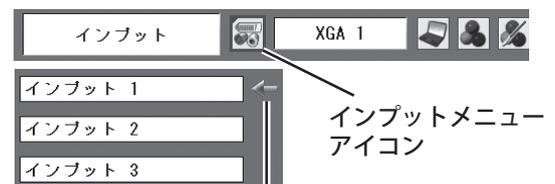
RGB (Scart)

INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、映像機器の SCART 映像出力* (次ページ参照) が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

HDMI

INPUT 1 の [HDMI] 端子に、HDMI 入力信号が接続されているときに選択します。

インプットメニュー



ポインタを合わせて [SELECT] ボタンで選択します。



インプット 2

RGB

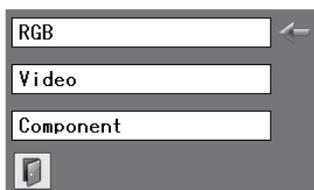
INPUT 2 の BNC 端子 [R,G,B,H/V,V] に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

Video

INPUT 2 の BNC 端子 [VIDEO/Y] に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

Component

INPUT 2 の BNC 端子 [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。
コンピュータのアナログ信号の一部については、自動で判別して RGB に自動で切り換えますが、判別できない RGB 信号は Component として認識されます。その際には、手動で RGB に切り換えてください。



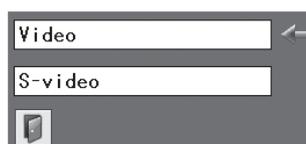
インプット 3

Video

INPUT 3 の [VIDEO] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

S-video

INPUT 3 の [S-video] 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。



* SCART 映像出力 について

SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [INPUT 1 ANALOG] を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG] で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

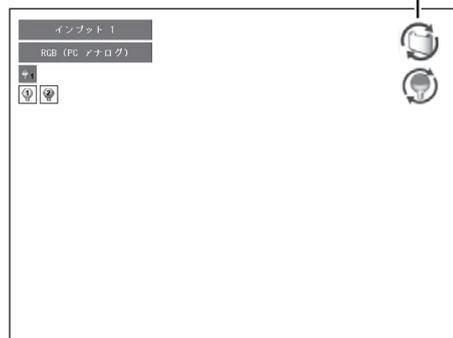
💡 エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えた際、プロジェクターの状態によっては、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせが表示されることがあります。

📖 79 ~ 82 ページ

※ お知らせは約 4 秒間表示されます。

フィルター警告と
ランプ交換の表示



コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA...) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投射できます。☞ 90～91 ページ
 選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投射されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☞ 45～47 ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞ 16、25 ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたときに表示されます。

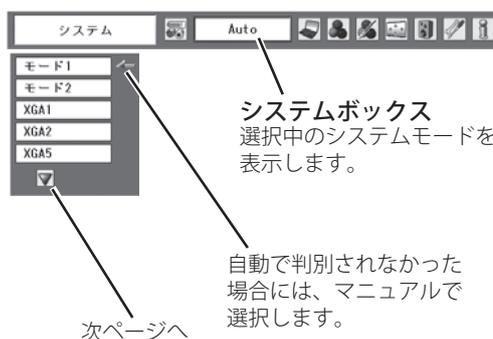
システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。
 ☞ 47～49 ページ

システムメニュー



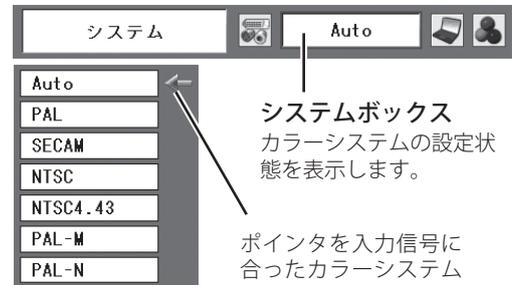
ビデオシステムの選択

ビデオシステムを選択します

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステム、または走査方式に合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

システムメニュー

(コンポジット映像または S 映像入力時)



システムボックス
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせて [SELECT] ボタンを押します。

VIDEO または S-VIDEO 入力選択時

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

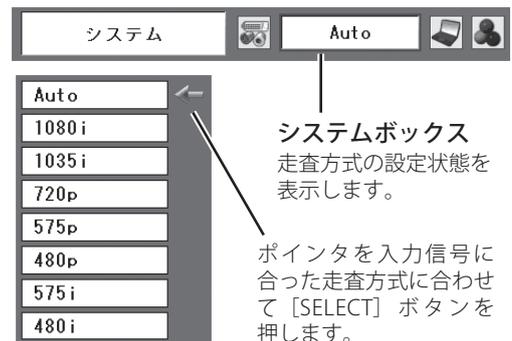
コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

※ 「1080i」「1035i」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

システムメニュー

(コンポーネント映像入力時)



システムボックス
走査方式の設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合った走査方式に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の 4 項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押します。



[AUTO PC] ボタン

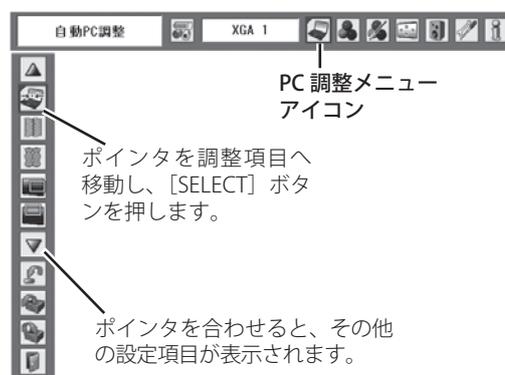
メニューから調整する



自動 PC 調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。[SELECT] ボタンをもう一度押して、自動調整を実行します。

PC 調整メニュー



- ※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は手動で調整し、「カスタムモード」に登録してください。47～49 ページ
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「メモリー」をご覧ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、「自動 PC 調整」は選択できません。
- ※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。
- ※ ご使用のコンピュータや信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。
- ※ 調整中にリモコンまたは操作パネルのボタンを押すと、調整を中止して調整前の状態に戻ります。

マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて [SELECT] ボタンで選択すると、その項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
- 3 調整内容を「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。以下、「リセット」「データ消去」「メモリー」と調整項目について説明します。また、各項目の説明については、49 ページをご覧ください。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。



リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をリセット（キャンセル）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すとリセットを中止することができます。



データ消去

カスタムモードに登録した調整内容を消去します。

- ① ポインタを「データ消去」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが現われます。
- ② 消去したいモード（「モード1」から「モード10」のいずれか）にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

- ※ 「データあり」には、既にカスタムモードが登録されています。
- ※ 次ページに移動するには、一番上の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン上を、一番下の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン下を押します。
- ※ 消去するモードを選び直すときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押し、「PC 調整データ消去」メニューに戻ります。



メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいモード（「モード1から10」のいずれか）にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」に登録され、「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

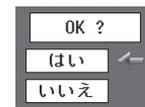
- ※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。



戻る

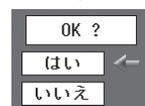
メニューを終了します。

PC 調整データ消去メニュー



- ① 総ドット数
- ② ポジション H
- ③ ポジション V
- ④ 画面領域 H
- ⑤ 画面領域 V
- ⑥ ポインタ
- ⑦ このメニューを閉じます。
[ポイント] ボタン右で選択し [SELECT] ボタンを押します。

PC 調整データ登録メニュー



項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0 から 31 まで)

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。
 投射している映像に暗い線が出ているときに調整します。



画面領域 H

水平解像度を調整します。
 [ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

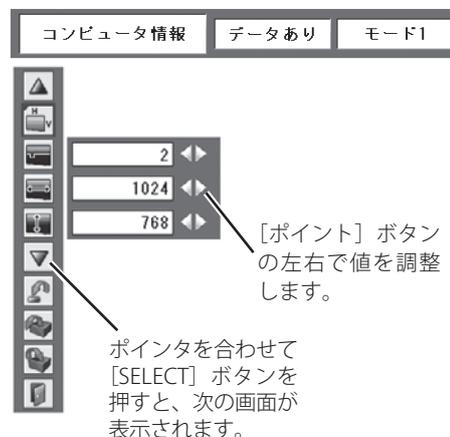


画面領域 V

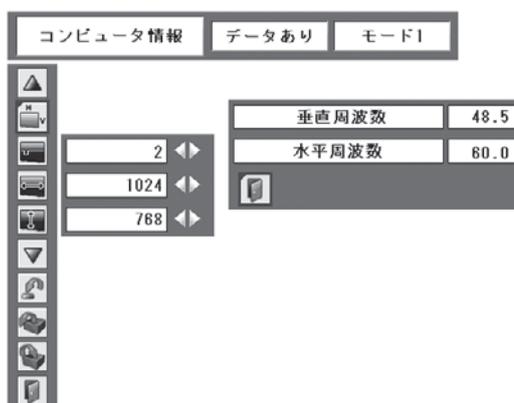
垂直解像度を調整します。
 [ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」、「総ドット数」、「クランプ」、「画面領域 H/V」の調整はできません。

「PC 調整」メニュー



コンピュータ情報



入力の選択・設定・調整

イメージの調整

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせて [SELECT] ボタンで決定します。

項目



ダイナミック

メリハリの効いた画質になります。



標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。



リアル

中間調が明るめに補正され、明るい場所での見栄えが改善されます。
※ コンピュータ入力時のみ選択できます。



シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。



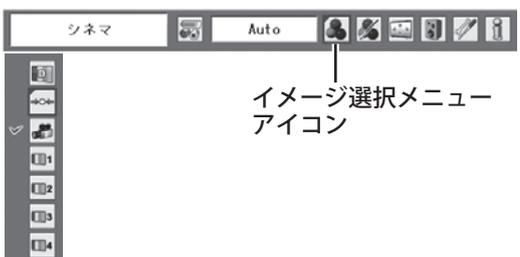
イメージ1～4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
※ イメージは、コンピュータ、ビデオ、コンポーネントの各入力で別々に登録されます。

イメージ選択メニュー (コンピュータ入力時)



(ビデオ入力時)

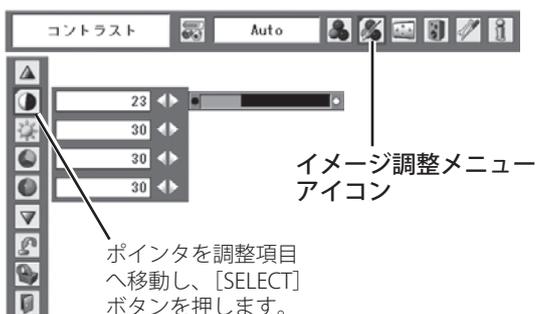


マニュアルでイメージ調整を行なう

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」に合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
- 3 調整内容を、「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。

イメージ調整メニュー





リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、リセットを中止します。
- ③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。



メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが表示されます。
- ② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「OK?」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります（ポインタは を指します）。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」に戻ります。



戻る

メニューを終了します。

項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



コントラスト

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)



明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0～63)



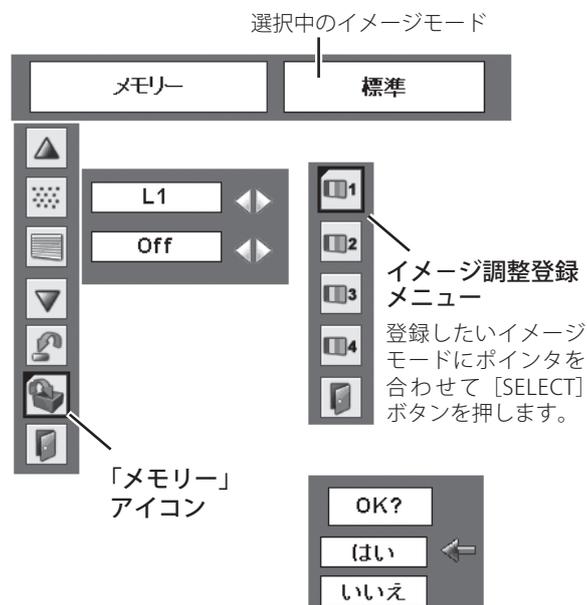
色の濃さ

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)

< ご注意 >

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。

イメージの登録（メモリー）方法



「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと登録が完了します。



色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0～63)
肌色が自然に見えるように調整します。

< ご注意 >

※ ビデオ入力時またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」は選択できません。



色温度

◀ 超低 (赤みがかかる) ▶ 高 (青みがかかる) (超低 - 低 - 中 - 高)

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※ 「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか一つでも) を調整すると、「調整中」と表示されます。



ホワイトバランス (赤 / 緑 / 青)

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (各色 0～63)



画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0～15)



ガンマ補正

◀ 中間諧調が暗くなる ▶ 中間諧調が明るくなる (0～15)

白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。



ノイズリダクション

古いビデオやノイズが多い映像を見るとき、ザラつき (ノイズ) が軽減されます。

オフ・・・ノイズが無い映像を見るときには「オフ」に設定します。

L1・・・ノイズリダクション：弱 (動画向け)

L2・・・ノイズリダクション：強 (静止画向け)

< ご注意 >

※ コンピュータ入力時は選択できません。



ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動画に残像が発生することがあります。以下のように設定してください。

- ・動画は「L1」(弱)。
- ・静止画は「L2」(強)。



プログレッシブ

- オフ**動きの多い映像でちらつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定します。
- L1**プログレッシブスキャンを「ON」にします。
(動画のとき)
- L2**プログレッシブスキャンを「ON」にします。
(静止画のとき)
- フィルム** . . .「2-3プルダウン / 2-2プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

< ご注意 >

※ コンピュータ入力、およびコンポーネント入力で 480p、575p、720p の信号を選択している場合には選択できません。

画面サイズを調整する

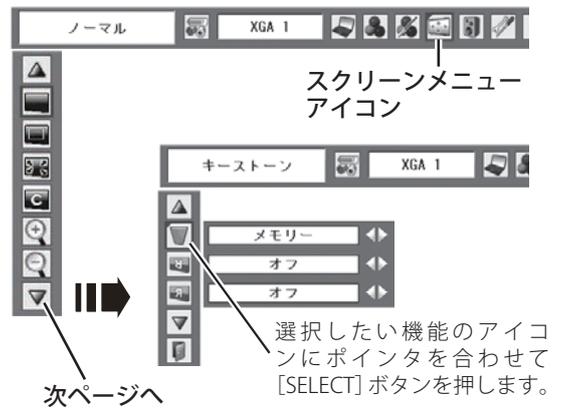
「スクリーン」メニューでは、お好みにより画像サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを選択したい項目に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

<ご注意>

※ 信号の種類によっては選択できないモード（項目）があります。詳しくは各項目の説明を参照してください。

スクリーンメニュー（コンピュータ入力時）



画面サイズの選択（コンピュータ入力時）



ノーマル

入力信号のアスペクト比（縦横比）を保ったまま、全体を表示できる最大サイズで投映します。

ノーマル

※ 約 4 秒間表示されます。



リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。

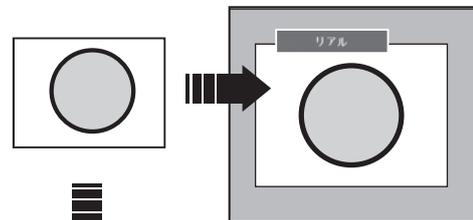
- ① 画像が有効投映画面（注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」と表示されます。
- ② 画像サイズが有効投映画面（注）と同じときは、画面の左上に「リアル」と表示されますが、その後、「ノーマル」と同じ画面サイズで投映されます。
- ③ 画像が有効投映画面（注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」と表示され、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

<ご注意>

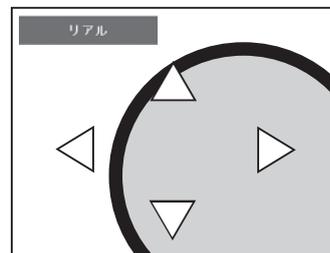
※「リアル」選択時には、「デジタルズーム + / -」は選択できません。

「リアル」の投映パターン

①有効投映画面よりも小さいとき



②有効投映画面よりも大きいとき



※ 移動した方向の矢印は、赤色で表示されます。

※ 最大の移動位置で矢印の表示が消えます。



フル

フルサイズで投映します。

<ご注意>

※「フル」選択時には、「デジタルズーム + / -」は選択できません。



デジタルズーム + / -

「デジタルズーム + (-)」を選択すると、メニューバーが画面から消えて「D.zoom + (-)」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大（縮小）します。また、「デジタルズーム +」を行なうと、画面の上下左右に△が表示され、[ポイント] ボタンで画像を移動させることができます。

また、リモコンの [D.ZOOM] ボタンを 1 回押すと「デジタルズーム +」を、2 回押すと「デジタルズーム -」をそれぞれ操作できます。 (P. 37 ページ)

< 「デジタルズーム +、-」に関するご注意 >

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D.ZOOM]、[SELECT]、[ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 「ノーマル」モードへ戻るときは、ポインタを「ノーマル」アイコンに合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- ※ 「パワーマネジメント」(P.32 ページ) が働くと、デジタルズームは解除されます。
- ※ 「カスタム」モードに設定しているときには、「デジタルズーム-」による「ノーマル」サイズ以下への画像の縮小は機能しません。
- ※ 本機は WUXGA (1920 × 1200 ドット) を超える解像度には対応しておりません。プロジェクターに接続する前に低い解像度に設定しておいてください。
- ※ 有効投映画面 (注) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面に合うように自動的に画像サイズが変更されます。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用している場合には、「デジタルズーム+」モードでの画像移動機能が正しく働かないことがあります。
- ※ システムモード (P.45 ページ) で、「VGA、SVGA、SXGA、WXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン調整」が最大値の場合、「デジタルズーム-」が正しく働かないことがあります。
- ※ 「スケール H/V」「ポジション H/V」「デジタルズーム+ノ-」は、入力信号によっては補正量が異なることがあります。

(注) 本機の有効投映画面は 1200 × 800 ドットです。

画面サイズの選択 (ビデオ入力時)



ノーマル

入力信号のアスペクト比 (縦横比) を保ったまま、全体を表示できる最大サイズで投映します。



ズーム

映像の横方向をパネルサイズに合わせて拡大します。そのため、画像の上下が切れる場合があります。



ピットリワイド

中央部はあまり変えず、左右を引き伸して自然な映像になるようにして 16 : 9 で投映します。

< ご注意 >

※ ビデオの入力信号でアスペクト比 4 : 3 の映像にのみ対応します。



ワイド

16 : 9 のワイド画面で投映します。スクイーズ信号 (16 : 9 の信号を横方向に圧縮した信号) の投映に適しています。



フル

フルサイズで投映します。

スクリーンメニュー (ビデオ入力時)



スクリーンメニュー
アイコン

選択したい機能のアイコンに
ポインタを合わせて [SELECT]
ボタンを押します。



信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/575i/480p/575p	1035i/1080i/720p/1080p	無信号
ノーマル	○	○	○
ズーム	○	×	※
ピットリワイド	○	×	※
ワイド	○	×	※
フル	○	○	○
カスタム	○	○	○

※ 無信号時でも「システム」メニューで「1035i」「1080i」「720p」「1080p」を選択しているときには選択できません。

画面サイズを選択（コンピュータ・ビデオ共通）



カスタム

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。「カスタム」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、「カスタム」の表示が現れてメニューバーが消えますので、もう一度 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示させ、「スクリーン」メニューから「カスタム」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「アスペクト調整」画面が表示されます。

※「オンスクリーン表示」(C 65 ページ)を「オフ」に設定しているときは、「カスタム」を選択して [SELECT] ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

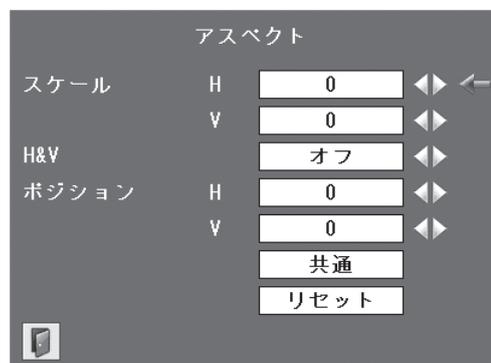
アスペクト調整画面の項目

- **スケール H/V**
垂直および水平のスケールを、-32 から 32 の範囲で調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- **H&V**
垂直および水平のスケールを調整するとき、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケールを調整するとき「オン」を選択します。[ポイント] ボタンの左右で切り換えます。
※「スケール H」を調整すると、「スケール H」の数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。
- **ポジション H/V**
垂直および水平の位置を、-15 から 15 の範囲で調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- **共通**
調整した内容を、全ての入力（インプット 1～3）に反映*、メモリーします。[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと登録されます。
* 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録すると、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が登録されている、ということです。
- **リセット**
調整した内容全てをリセットします。
[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認が表示されます。「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すとリセットされます。

< ご注意 >

- ※ 「スケール H/V」と「ポジション H/V」は、入力信号によっては補正量が変わることがあります。
- ※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
- ※ 無信号時は、「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
- ※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

カスタムのアスペクト調整画面



[ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、
[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。☞ 34 ページ
54 ページの手順「1」「2」に続いて、

3 [ポイント] ボタンの左右で、「リセット」または「メモリー」を選択して [SELECT] ボタンを押します。画面からメニューバーが消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。

メモリー・・・電源コードを抜いても、調整した状態が保持されます。

リセット・・・電源コードを抜くと、調整した状態がリセットされます。

4 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

- [ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。
- [ポイント] ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。

<ご注意>

- ※「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整後、「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※入力信号によってキーストーンの補正量および補正範囲は異なります。
- ※レンズシフト位置によって、キーストーン補正角度は異なります。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※吊り下げて設置する場合には、専用の天吊り金具を使用します。
- 詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

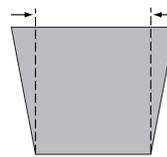
「キーストーン」表示

キーストーン

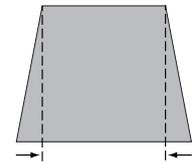
- ※約4秒間表示されます。
- ※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは、画面に表示されません。
- ※補正された方向の矢印は赤色で表示されます。(無補正の場合は白色で表示)
- ※限界まで補正すると矢印の表示が消えます。

ポイントボタンで縮む方向

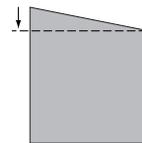
[ポイント] ボタン上



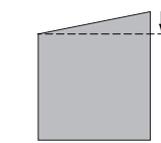
[ポイント] ボタン下



[ポイント] ボタン左

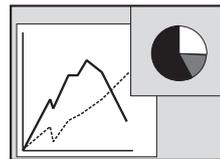


[ポイント] ボタン右

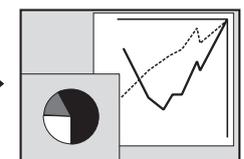


天吊り機能

オフ (通常の画像)

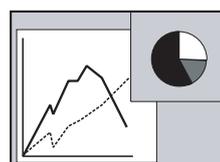


オン (天吊り設定時)

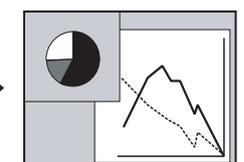


リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)



各種機能の設定

「セッティング」メニューで各種機能を設定する

プロジェクターの各種機能を設定します。

-  言語..... メニューの言語を選択します。
-  ロゴ..... ロゴの選択や画面のキャプチャー、ロゴの暗証番号を設定します。
-  ピクチャーインピクチャー..... 2画面表示に関する設定を行います。
-  バックグラウンド..... 無信号時の背景を選択します。
-  ランプモード..... ランプ1とランプ2を切り換えます。
-  ランプコントロール..... ランプの明るさを設定します。
-  フィルター制御..... エアフィルターを巻き取ります。
-  ポインタ..... ポインタ機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。
-  リモコンコード..... リモコンコードを設定します。
-  リモコン受光部..... リモコン受光部を設定します。
-  オンスクリーン表示..... 画面表示を出す、出さないを選択します。
-  スタンバイモード..... スタンバイ時の省エネについて設定します。
-  パワーマネージメント..... 省エネの設定を行います。
-  オンスタート..... 電源コードを接続するだけで電源が入るように設定します。
-  傾斜設定..... 本体の設置角度に応じてファン動作を設定します。
-  シャッター..... シャッター操作の禁止などを設定します。
-  HDMI設定..... HDMI入力の映像レベルと音声の設定を行います。
-  セキュリティ..... 操作ボタンのロックと暗証番号を設定します。
-  テストパターン..... プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投射します。
-  警告履歴..... 本体に異常があったときの警告履歴を表示します。
-  フィルターカウンター..... フィルターの使用時間や残り回数の確認、リセットを行ないます。
-  初期設定..... 設定を工場出荷状態に戻します。

手順

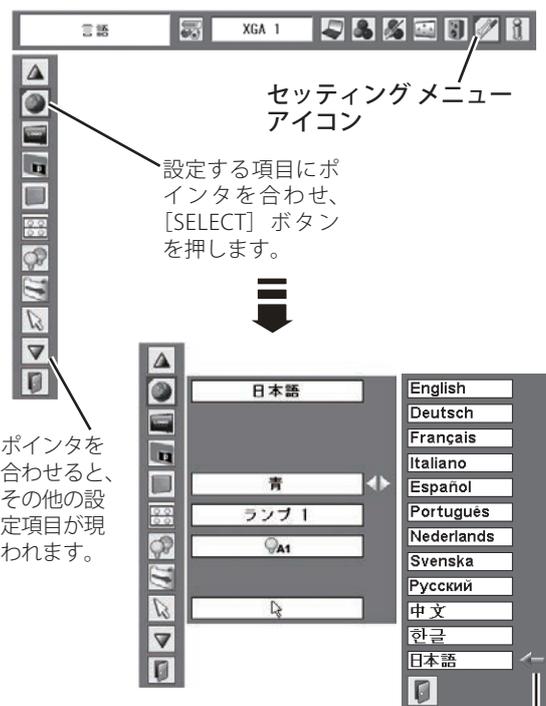
- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示し、[ポイント] ボタン左右で、ポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン上下で、ポインタを設定する項目に合わせて [SELECT] ボタンで決定します。選択した項目の設定画面が表示されます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

セッティングメニュー



ポインタを合わせると、その他の設定項目が現われます。

[ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンを押します。



ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴの暗証番号をそれぞれ設定します。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。 (P. 60 ページ)



ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー

・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定

・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ

・・・ロゴを画面に表示しません。

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。



キャプチャー

投射している画面を静止画像として取り込むことができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」でスタートアップロゴに、あるいは、「バックグラウンド」で背景画面に設定できます。

1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい

・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ

・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 「はい」を選択すると取り込みが始まり、取り込みの進行を示すバーが現れます。取り込みが完了するとメニュー表示が消えます。取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。

<ご注意>

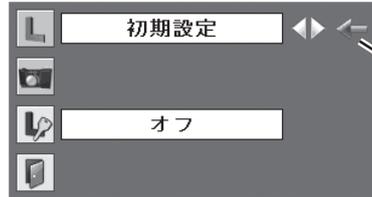
- ※「ユーザー」に保存できるのは1画面だけです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは「標準」を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときには「キーストーン」調整および「カスタム」の設定が一時的に解除されます。
- ※ この機能が使えるのは以下の信号のときだけです。
 - ◎コンピュータ・・・WXGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1201 以上、「画面領域 V」を 801 以上に設定すると不可）
 - ◎ビデオ・・・コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i、



取り込みを開始すると、保存していた画像は削除されます。

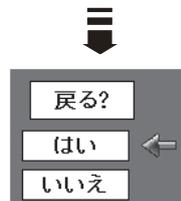
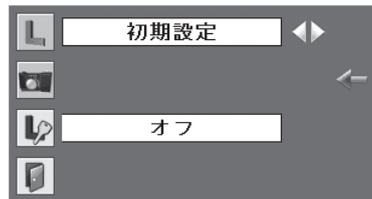
「1」で「はい」を選択して取り込みを開始すると、「2」の「戻る？」で「はい」を選択して取り込みを中止しても、「ユーザー」に保存していた画像は削除されます。

ロゴ選択



[ポイント] ボタンの左右で選択します。

キャプチャー





ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を持つ管理者以外できなくします。

オン・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

オフ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手順

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを [ロゴ暗証番号ロック] に合わせて [SELECT] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※「オン」「オフ」どちらを選択していても、暗証番号の入力画面は表示されます。
- 2 暗証番号を入力します。入力完了したらポインタを [セット] に合わせて [SELECT] ボタン押し、暗証番号を承認します。
※ 暗証番号の入力方法については、下記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号を変更する画面が表示されます。「オン・オフ」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて選択します。
- 4 終了するときは、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[SELECT] ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

リモコンで入力する

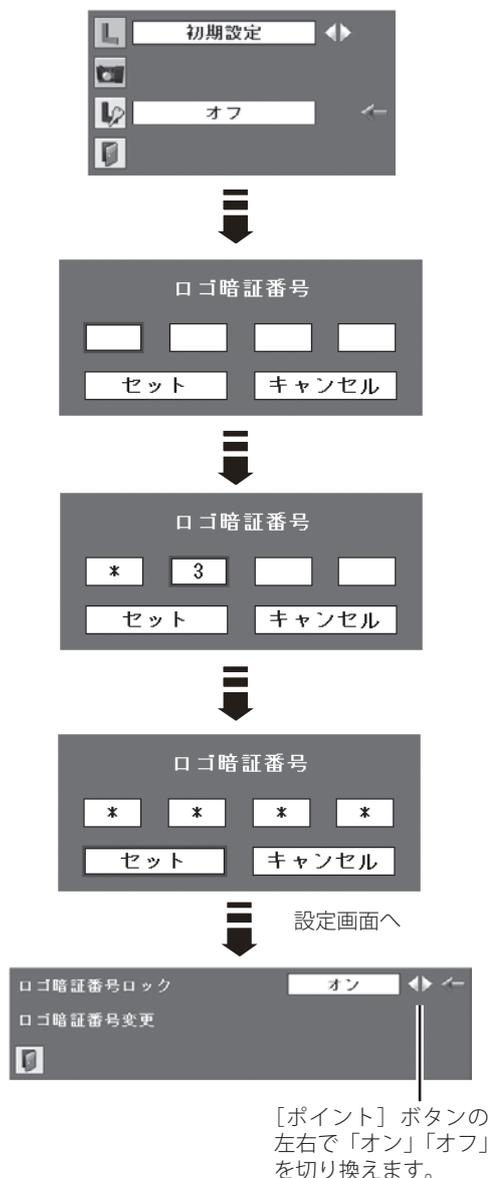
- 1 リモコンの数字ボタンで 0～9 の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
 下記「手順 3」へ

本体で入力する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。

- ※ 工場出荷時の「ロゴ暗証番号」は「4 3 2 1」です。初めて暗証番号を設定するときには、「4 3 2 1」と入力してください。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の設定画面 (右図の一番下) に移動します。

ロゴ暗証番号ロック



[ポイント] ボタンの左右で「オン」「オフ」を切り換えます。

ロゴ暗証番号の変更方法

1 [ポイント] ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。

リモコンで入力する

2 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

☞下記「手順4」へ

本体で入力する

2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

3 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ 入力した数字は「*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の確認画面が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

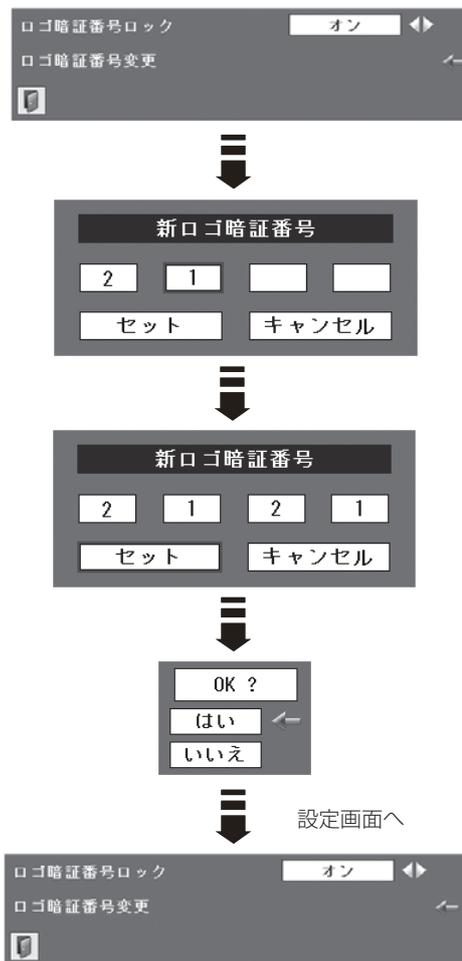
6 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面に戻ります。

※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して[SELECT] ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面に戻ります。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは[ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。

※ 「新ロゴ暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。

ロゴ暗証番号の変更



ピクチャーインピクチャー

2画面表示に関する設定を行います。

モード

2画面の表示方法を設定します。

オフ …… 2画面表示を行いません。

P in P …… メイン画面に重ねてサブ画面を表示します。

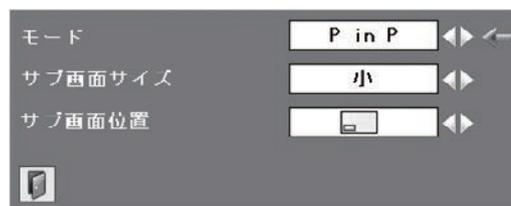
P by P …… メイン画面とサブ画面を同じ大きさで並べて表示します。

※ 「オフ」および「P by P」に設定した場合、「サブ画面サイズ」と「サブ画面位置」は設定できません。

サブ画面サイズ

「P in P」モード時のサブ画面の大きさを大、中、小から選択します。

ピクチャーインピクチャー



※ 「モード」を「オフ」に設定していても、リモコンの「PIP」ボタンで2画面表示に切り換えることができます。☞ 38 ページ

サブ画面位置

「P in P」モード時のサブ画面の表示位置を設定します。



※「サブ画面サイズ」と「サブ画面位置」は、「P in P」モード時に「ポイント」ボタンで変更できません。
38 ページ



バックグラウンド

映像の再生前や中断時といった、信号が無いときの背景画面を選択します。

- 青** ... 背景が青色になります。
- ユーザー** ... キャプチャー機能で取り込んだ画像が表示されます。
- 黒** ... 背景が黒色になります。

<「バックグラウンド」のご注意>

※キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

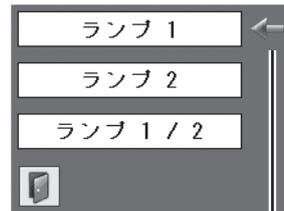


ランプモード

本機にはランプが2つ搭載されています。2つのランプを交互に使用するように設定できるほか、2つのランプのうち常に使用するランプを設定することができます。

- ランプ1** ... 常に「ランプ1」を点灯させます。「ランプ2」が点灯していた場合は、「ランプ1」に切り換わります。
- ランプ2** ... 常に「ランプ2」を点灯させます。「ランプ1」が点灯していた場合は、「ランプ2」に切り換わります。
- ランプ1/2** ... ランプの投映時間が10時間を越えると、次の電源オン時にランプの切り換えが自動で行なわれます。また、タイマー設定を「オン」にして、点灯しているランプを自動切り換えすることができます。
なお、このモードは両方のランプが点灯可能である場合のみ設定できます。

ランプモード



「ランプ1」「ランプ2」を選択して「[SELECT]」ボタンを押すと、確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。「ランプ1/2」を選択して「[SELECT]」ボタンを押すと、下記のタイマー設定が表示されます。

タイマー設定

オン ... 「オン」に設定すると、タイマーでランプの切り換え時間やタイマーの開始時間を設定できます。

Start ... タイマーの開始時間を0から24時間で設定します。

ランプインターバル

... もう一方のランプに切り換える時間を1から24時間で設定します。

タイマーを「オン」に設定すると、ランプステータスとともに、何時間何分後にランプが切り換わるかをお知らせするランプタイマーカウンターが10秒間表示されます。またインプット切り換え時にも、インプットの表示とともに10秒間表示されます。さらに、ランプが切り換わる10秒前になると、切り換えまでの残り秒数がカウントダウン表示されます。

「ランプ1/2」モードのタイマー設定



「ポイント」ボタンの左右で切り換えおよび数値の変更を行いません。設定完了後、「[SELECT]」ボタンを押すと確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。

※プロジェクターの電源を切る（スタンバイ含む）と、タイマー設定は「オフ」にリセットされます。

ランプタイマーカウンター

04:50

タイマー「オン」設定時およびインプット切り換え時に表示されます。

- ※「ランプ1」または「ランプ2」モード時に、選択しているランプが寿命などで点灯しなくなった場合には、自動でもう一方のランプモードに切り換わります。(P.78 ページ)
- ※「ランプ1/2」モード時に、寿命などでどちらかのランプが点灯しなくなったときには、点灯可能なランプのモードに自動で切り換わります。(P.78 ページ)
- ※「ランプ1/2」モード時に、点灯しているランプが交換推奨時間に達した場合、ランプの切り換え時に、「ランプ1/2」モードから点灯可能なランプのモードに切り換わります。
- ※ランプの切り換え時にはランプが消灯します。切り換え完了後、ランプが点灯します。
- ※ランプモードを変更してランプが切り換わると、切り換え前に点灯していたランプの冷却が行なわれます。冷却中のランプの選択肢はグレー表示になり、選択できません。
- ※使用時間が異なったランプを交互に投影した場合、明るさや色味が異なります。ランプを交換した時は、交換していないもう一方のランプを常時使用するようにランプモードを設定し、交換するまで使用することをお勧めします。



ランプコントロール

ランプの明るさ、および交換推奨時間を越えたランプを使用し続けるかどうかを設定します。

ランプコントロール

ランプの明るさを以下の5つから選択します。[ポイント] ボタン右で、 → → → → → の順に切り換わります。使用環境に合ったモードを選択してご使用ください。

	オート1モード	調光回路が働き、「ノーマルモード」から「エコモード」の範囲で明るさを自動的に調整します。
	オート2モード	調光回路が働き、「ハイモード」から「エコモード」の範囲で明るさを自動的に調整します。
	ハイモード	ノーマルより明るさがアップします。
	ノーマルモード	通常の明るさです。
	エコ1モード	ノーマルより明るさがダウンし、消費電力を抑えます。
	エコ2モード	「エコ1モード」と同じく、ノーマルより明るさがダウンし、消費電力を抑えます。また、「エコ1モード」よりもファンの吸・排気量およびファンの音が大きくなります。

ランプ電源モード

交換推奨時間を越えたランプを点灯させるかどうかについて設定します。

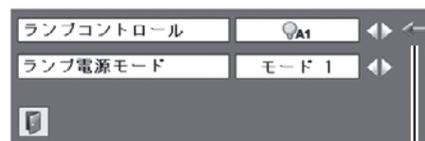
モード1 . . . ランプの交換推奨時間を越えてもランプを点灯させます。

モード2 . . . ランプの交換推奨時間を越えた場合には、ランプを点灯させません。

ランプが交換推奨時間を越えた場合、他方のランプが正常であれば、次回の電源オン時に他方の正常なランプに切り換わります。なお、両方のランプが交換推奨時間を越えている場合は、以下のように動作します。

- モード1 . . . 「ランプモード」の設定どおり点灯します。
- モード2 . . . 点灯せず、電源が自動でオフになります。

ランプコントロール



[ポイント] ボタンの左右で切り換えます。

- ※消費電力を抑えたいときには「エコ1モード」をおすすめします。
- ※長時間にわたって連続使用されるときには「エコ2モード」をおすすめします。

※「モード1」設定時でも、他方のランプが正常である場合には、交換推奨時間を越えたランプは使用されず、他方の正常なランプに自動的に切り換わります。



フィルター制御

エアフィルターを巻き取る機能です。「はい」を選択するとエアフィルターを1回巻き取ります。

[ポイント] ボタンの上下で、ポインタを「フィルター制御」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・エアフィルターを1回巻き取ります。

いいえ・・・「メニュー」に戻ります。

- ※ 「はい」を選択すると、汚れていなくてもフィルターを巻き取ります。
- ※ エアフィルターの目詰まりを検知すると、自動的に1回巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き戻しはできません。
- ※ 巻き取りを行なうと、エアフィルターの使用時間 (☞ 73 ページ) が自動的に「0」に戻ります。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは画面に が表示され、巻き取りは行なわれません。
- ※ エアフィルターが巻き取られている最中に、エアフィルター巻き取りの操作を行なうと、画面に が表示されます。
- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがあります。正しく巻き取られていますので、ご使用には問題ありません。
- ※ 巻き取り中に、電源が切れるなどして途中で動作が止まった場合は、再び電源が入ったときに残りの部分の巻き取りを行ないます。



ポインタ

この機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。「ポインタ」機能の操作については 77 ページを参照してください。

- 1 ポインタを「ポインタ」アイコンに合わせて [SELECT] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- 2 ポインタを [ポイント] ボタンの上下で「スポットライト」または「ポインタ」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。チェックマークが付き、「ポインタ」機能を使うときに表示されるポインタに設定されます。
- 3 [ポイント] ボタンの左右でスポットライトの大きさやポインタの種類を選択します。

フィルター巻き取り中の表示



しばらくお待ち下さい

スポットライト	 小・中・大
ポインタ	 指先・矢印・ドット (赤点)



リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード(「コード1」～「コード8」)の設定が可能です。本機を複数台でご使用の場合には、リモコンコードを別々に設定しておくと誤動作を防止できます。

プロジェクター本体のリモコンコードは、「セッティング」メニューの「リモコンコード」で、設定するリモコンコードを選択します。なお、リモコンのリモコンコードの設定は、リモコンで別途行ないます。(☞ 21 ページ)

- ※ 工場出荷時は「コード1」に設定されています。
- ※ プロジェクター本体のリモコンコードと、リモコンのリモコンコードは、同じコードに合わせる必要があります。

リモコンコード



[ポイント] ボタンの上下で矢印を動かして選択し、[SELECT] ボタンを押して決定します。



リモコン受光部

プロジェクター本体のワイヤレスリモコン受光部の、有効・無効を切り換えることができます。

- すべて** . . . 3カ所すべての受光部を有効にします。
- 前&天面** . . . 本体前と天面にある受光部のみ有効にします。
- 天面&後** . . . 本体天面と後にある受光部のみ有効にします。
- 前&後** . . . 本体前と後にある受光部のみ有効にします。
- 前** . . . 本体前にある受光部のみ有効にします。
- 天面** . . . 本体天面にある受光部のみ有効にします。
- 後** . . . 本体後にある受光部のみ有効にします。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。

20 ページ

※ 天吊りではなく据置きで設置している場合、天面の受光部を有効にすると、蛍光灯の影響を受けてリモコンが効きにくくなる場合があります。据置きの場合は天面の受光部を無効にすることをおすすめします。

20 ページ

※ 「スタンバイモード」が「エコ」の場合、「リモコン受光部」の設定にかかわらず、すべてのリモコン受光部が有効になります。「リモコン受光部」の切り換えができないため、ノイズを受けやすい場所（蛍光灯付近など）へのプロジェクターの設置にはご注意ください。なお電源オン後は、「リモコン受光部」の設定が有効になります。

66 ページ



オンスクリーン表示

画面表示を出す、出さないの設定を行ないます。

- オン** . . . すべての画面表示が表示されます。
ある程度画面が明るくなってから、画像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ

- . . . 電源オン後 20 秒のカウントダウン表示を行わず、ランプが暗いままで、入力された画面を投映します。少しでも早く画像を投映したいときに選択します。

- オフ** . . . 以下の表示以外は画面表示を行ないません。

- ・メニューバー 42 ページ
- ・電源を切る際の「もう一度押すと電源が切れます」
- ・自動 PC 調整時の「しばらくお待ちください」
- ・P-TIMER 35 ページ
- ・パワーマネージメントのタイマー表示 67 ページ
- ・「リアル」で画面サイズが大きいときに表示される「△」 54 ページ
- ・「インフォメーション」の表示 36 ページ
- ・「ポインタ」 64 ページ
- ・「D.zoom +」の「△」表示 55 ページ
- ・「カスタム」のアスペクト調整画面 56 ページ



スタンバイモード

スタンバイ時の待機電力を設定します。

ノーマル

プロジェクターの電源を切っても、一部の機能に電源が供給されています。

エコ

「ノーマル」よりも待機電力が小さくなりますが、使用できない、もしくは制限される機能があります。

<使用できない機能>

- ・シリアルポートからの制御
- ・ネットワークユニット (PJ-Net Organizer) からの制御
- ・MONITOR OUT、および AUDIO OUT の出力  27 ページ
- ・オンスタート機能  67 ページ
- ・エアフィルター未挿入検知機能  81 ページ

<制限される機能>

- ・リモコン受光部
 - ・「リモコン受光部」の設定にかかわらず、すべてのリモコン受光部が有効になります。「リモコン受光部」の切り換えができないため、ノイズを受けやすい場所（蛍光灯付近など）への設置にはご注意ください。なお電源オン後は、「リモコン受光部」の設定が有効になります。 65 ページ
- ・ワイヤードリモコン
 - ・本体とリモコンのリモコンコードが一致していないと、「ON」ボタンを押しても電源をオンにできません。 21 ページ

※ ご使用の環境の温度によっては、スタンバイ状態であっても冷却ファンが回転することがあります。



パワーマネジメント

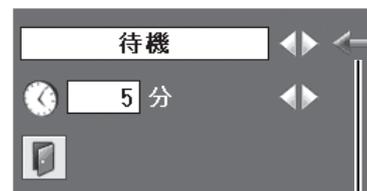
パワーマネジメント機能の動作設定を行ないます。また、パワーマネジメント機能が作動するまでの時間を設定できます。パワーマネジメント機能の詳細については、32 ページを参照してください。

オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。

待機・・・タイマーで設定した時間が経過すると、いったんランプが消灯してランプの冷却動作に入ります。この間 [POWER] インジケータは赤色で点滅し、操作できないことをお知らせします。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータは緑色で点滅し、パワーマネジメントモードになっていることをお知らせします。信号が入力されたり操作を行なうと、ランプが点灯してすぐに画像が投射されます。

シャットダウン・・・タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯し、電源が切れます。

パワーマネジメント



[ポイント] ボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に切り換わります。

タイマー設定について

〔ポイント〕 ボタンの左右でパワーマネージメント機能が作動するまでの時間を設定します。設定できる時間は1分から30分です。この時間、無操作・無入力が30秒続くと画面右下にカウントダウンが表示されます。

- ※ 工場出荷時は、「待機・5分」に設定されています。
- ※ 「FREEZE」(☞ 35 ページ) あるいは「SHUTTER」(☞ 37 ページ) が働いているときは、パワーマネージメントは動作しません。
- ※ パワーマネージメントが動作すると、「P-TIMER」(☞ 35 ページ) と「D.ZOOM」(☞ 37、54 ページ) はリセットされます。



オンスタート

電源コードをコンセントに接続すると、リモコンの〔ON〕ボタンや操作パネルの〔ON/STAND-BY〕ボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源が入る機能です。

- オン**・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
- オフ**・・・通常の電源入・切を行なう設定です。電源コードを接続しても、リモコンの〔ON〕ボタンや操作パネルの〔ON/STAND-BY〕ボタンを押さないと、プロジェクターの電源は入りません。

- ※ 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
- ※ 「スタンバイモード」が「エコ」の場合、「オンスタート」は使用できません。(☞ 66 ページ)



電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、リモコンの〔ON〕ボタンや、操作パネルの〔ON/STAND-BY〕ボタンを押しても電源は入りません。

タイマー表示

入力信号なし

04 : 50

- ※ ランプ消灯までの時間を表示します。
- ※ タイマーの表示中に、操作または信号の入が行なわれると、タイマーの表示は消えます。



傾斜設定

プロジェクターの設置角度によって、ファン動作を切り換えます。プロジェクターを長くお使いいただくために、傾斜設定を正しく設定してください。

オフ・・・本体前後方向の傾斜が± 70 度以内、+ 110 度～ + 180 度および - 110 度～ - 180 度のときに設定します。ただし、± 70 度以内で天吊り機能をオンにして使用する場合は L3 に、また、+ 110 度～ + 180 度および - 110 度～ - 180 度で天吊り機能をオフにして使用する場合は L4 にそれぞれ設定します。

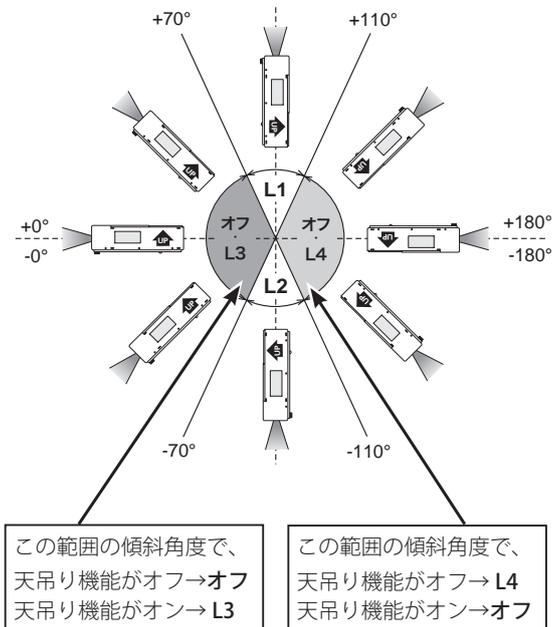
L1・・・本体前後方向の傾斜が、+ 70 度～ + 110 度のときに設定します。

L2・・・本体前後方向の傾斜が、- 70 度～ - 110 度のときに設定します。

L3・・・本体前後方向の傾斜が± 70 度以内で、天吊り機能をオンにして使用する場合に設定します。ただし、上記の傾斜で天吊り機能をオフにして使用するときは、オフに設定します。

L4・・・本体前後方向の傾斜が、+ 110 度～ + 180 度および - 110 度～ - 180 度のときに天吊り機能をオフにして使用するときに設定します。ただし、上記の傾斜で天吊り機能をオンにして使用するときは、オフに設定します。

設置傾斜角度と「傾斜設定」の設定範囲



※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 天吊り機能については 57 ページを参照してください。



シャッター

シャッターを閉じる操作を禁止できるほか、シャッターを閉じた後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

保護

シャッターを閉じる操作を禁止できます。「リモートコントロール」と「プロジェクター」をそれぞれ「オン」に設定すると、リモコンの [SHUTTER] ボタン、プロジェクターの [SHUTTER] ボタンがそれぞれ無効になります。

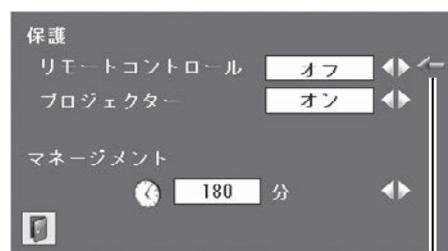
※「オン」に設定後、「SHUTTER」ボタンを押すと、操作不可能を表す が画面に表示されます。

マネージメント

シャッターを閉じた状態のままにした後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。5 分から 180 分までの間で設定できます。

マネージメントが働くとプロジェクターはシャッターを解除して電源を切り、スタンバイ状態になります。また [SHUTTER] インジケータが青色で点滅し、マネージメントが働いたことをお知らせします。再度電源を入れると [SHUTTER] インジケータの点滅が消えます。 86 ページ

シャッター



[ポイント] ボタンの左右で「オン」「オフ」を切り換えます。

※ シャッターで投映画面が遮断されているときは、「パワーマネージメント」は動作しません。
※ 設定できるのは時間だけで、シャッターのマネージメント機能をオフにすることはできません。
※ 工場出荷時は 180 分に設定されています。



HDMI 設定

HDMI 入力の映像レベルと音声の設定を行ないます。
 なお、HDMI 入力を選択している時のみ有効となり、その他の入力を選択している時は設定できません。

イメージ

映像出力機器の HDMI 端子から出力されるデジタル R/G/B 映像出力レベルの設定を行ないます。HDMI 映像機器の出力レベルとプロジェクターの入力レベルが合っていないと最良な映像が投映されない場合があります。

ノーマル . . . デジタル R/G/B 映像出力レベルが「ノーマル」または「標準」のときに選択します。

拡張 . . . デジタル R/G/B 映像出力レベルが「拡張」または「エンハンスド (ENHANCED)」のときに選択します。

サウンド

HDMI 使用時の音声入力を選択します。

HDMI . . . PCM 音声 (デジタル音声) 入力使用時に選択します。

AUDIO1 . . . 外部音声 (AUDIO1) 入力使用時に選択します。

HDMI 設定



[ポイント] ボタンの左右で設定を切り換えます。

※ HDMI 映像出力設定の呼称は機器によって異なります。詳しくは、HDMI 映像出力機器の取扱説明書をご覧ください。

※ 映像の黒部がつぶれたり、または浮き上がったるときは、「ノーマル」あるいは「拡張」に切り換えるか、HDMI 映像出力機器の出力設定を切り換えてみてください。



セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、設定画面が現れます。設定の詳細はそれぞれの項目を参照してください。



キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

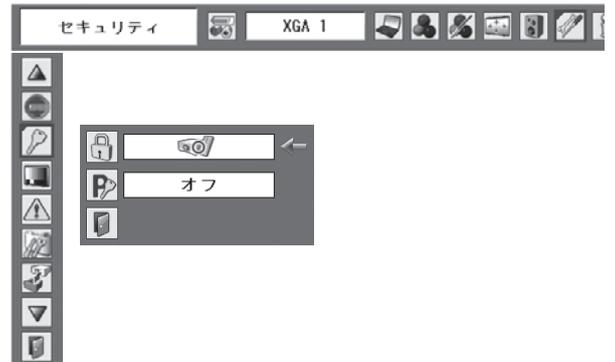
- ... キーロックを解除します。
- ... 本体での全ての操作をロックします。
- ... 本体での一部の操作をロックします。操作できるのは、ON/STAND-BYとINPUTボタンだけになります。
- ... リモコンでの全ての操作をロックします。
- ... リモコンでの一部の操作をロックします。操作できるのは、ON、STAND-BY、INPUT1/2/3、AUTO PC、FREEZE、INFO.ボタンだけになります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
 ※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

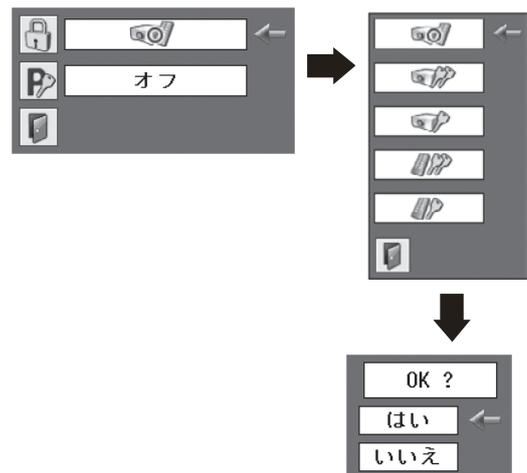
手順

- 「セキュリティ」の「1」に続いて、
- 2 ポインタを「キーロック」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
 - 3 ポインタをいずれかに合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「OK ?」の確認画面が表示されます。
 - 4 [はい] を選択して [SELECT] ボタンを押すと登録が完了し、設定画面に戻ります。
- (※) 設定する項目を選び直すときには、「いいえ」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと選択画面に戻ります。

セキュリティ



キーロック





暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外によるプロジェクターの操作を防止します。設定により、以下のモードを選択できます。

- オフ**・・・「暗証番号ロック」を解除します。
- オン1**・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。
- オン2**・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンで電源を入・切するだけで電源コードを抜かない場合には、暗証番号を要求されずに通常の操作を行なうことができます。

手順

前ページ「セキュリティ」の「1」に続いて、

- 2 ポインタを「暗証番号ロック」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3 暗証番号を入力します。
※ 入力方法は、下記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 4 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オフ・オン1・オン2」の設定と、暗証番号を変更できる画面が表示されます。「オフ・オン1・オン2」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて設定します。「オン1」「オン2」を設定すると、メニューバーの右に暗証番号ロックを示すアイコンが表示されます。
※ 暗証番号の変更については次ページを参照してください。
- 5 終了するときには、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[SELECT] ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

リモコンで入力する

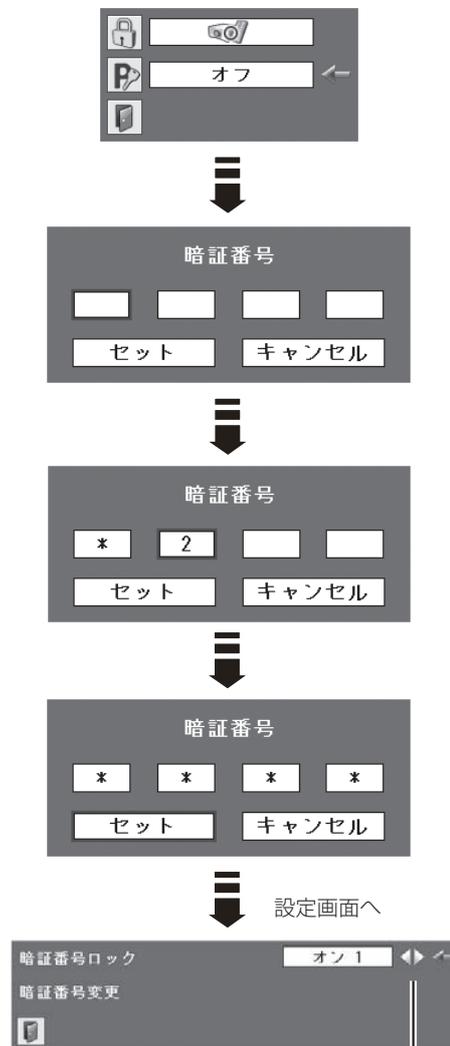
- 1 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
(☞次ページ「手順3」へ)

本体で入力する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返して、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

続きの手順は次ページへ

暗証番号ロック



[ポイント] ボタンの左右で、「オフ」「オン1」「オン2」を切り換えます。

暗証番号ロックの表示



暗証番号ロックの「オン1」「オン2」のいずれかが設定されていることを表しています。

前ページから

- 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の設定画面が表示されます。
 - ※ 工場出荷時の暗証番号は「1 2 3 4」です。初めて暗証番号を設定するときには、「1 2 3 4」と入力してください。
 - ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
 - ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の設定画面に移動します。

暗証番号の変更方法

- 1 右図一番下の設定画面で、[ポイント] ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択して [SELECT] ボタンを押します。

リモコンで入力する

本体で入力する

- 2 リモコンの数字ボタンで 0～9 の数字を選択し、4 けた全ての数字を入力します。4 けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
☞下記「手順4」へ
- 2 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
- 3 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

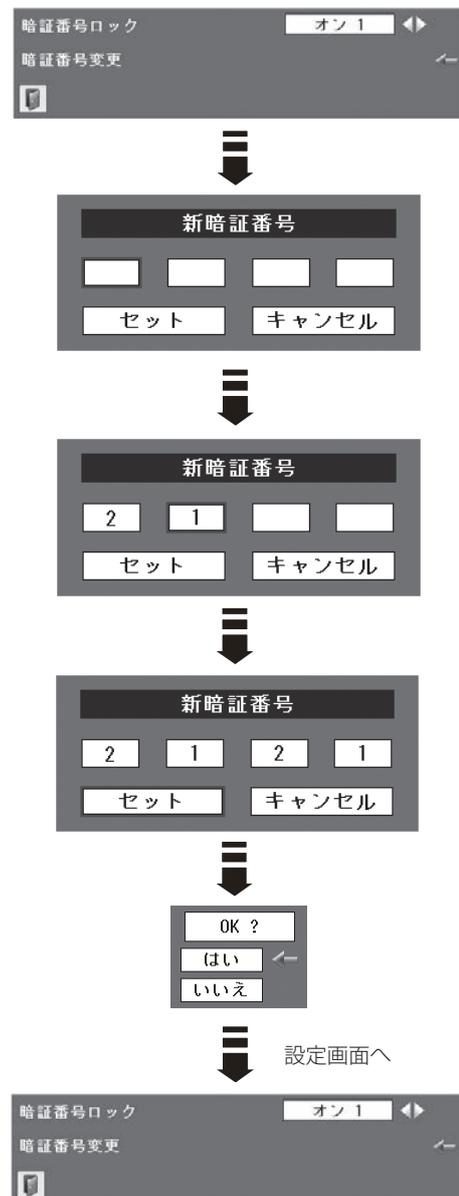
※ 入力した数字は「*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

- 4 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- 6 「暗証番号ロック」の設定画面に戻ります。

メモ

- ※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して [SELECT] ボタンを押します。「暗証番号変更」の画面に戻ります。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 「新暗証番号」の文字と入力した数字が赤色で表示される場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。

暗証番号の変更





テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投映することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。「カラーバー、16階調1～4、全白、全黒、格子」の8種類があります。

- ・テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り換わります。
- ・[MENU] ボタンまたは [SELECT] ボタンを押すとテストパターンを終了し、テストパターンのメニュー画面に戻ります。

テストパターン



[ポイント] ボタンの上下で矢印を動かして選択し、[SELECT] ボタンを押して決定します。



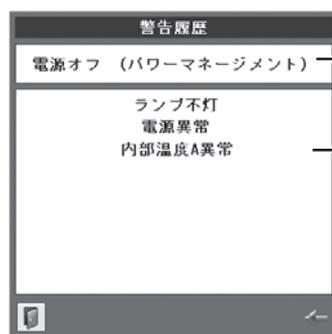
警告履歴

プロジェクターが表示した警告が、最新ののものから 10 件表示されます。上の枠には最新の警告が、下の枠には過去の履歴が表示されます

< ご注意 >

- ※ 履歴が 10 件を超えると、古いものから順に削除されます。
- ※ 「初期設定」を実行すると全て削除されます。

警告履歴



最新の警告が表示されます。

過去の履歴が表示されます。

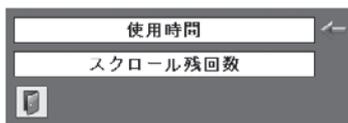


フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセット、エアフィルターの巻き取り回数のリセットを行ないます。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「使用時間」と「スクロール残回数」の項目が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択・調整したい項目にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

フィルターカウンター



使用時間

エアフィルターに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- ・実使用時間を表示
- ・巻き取り時期をお知らせする時間の設定
- ・実使用時間のリセット

タイマーの設定

ポインタをタイマーに合わせて [ポイント] ボタンの左右で切り換えます。

(オフ / 400 時間 / 700 時間 / 1000 時間)

リセット

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「フィルターカウンターリセット？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。使用時間がリセットされます。

使用時間：タイマーの設定

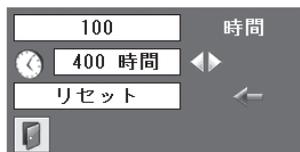


設定時間に達すると数字が赤く表示されます。



設定時間に達したとき、画面に表示されます。ただし、フィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは が表示されます。 (P.77 ページ)

使用時間：リセット



<使用時間のご注意>

- ※ 工場出荷時、タイマーは「オフ」に設定されています。
- ※ タイマー機能は設定した時間に達したことをお知らせするだけで、巻き取りは行ないません。エアフィルターを巻き取りたいときは、「セッティング」メニューの「フィルター制御」(C7 64 ページ)から手動で巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き取りを行なうと、使用時間は自動的にリセットされます。なお、カートリッジを交換した場合には、使用時間は自動でリセットされません。

スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- 巻き取りの残り回数を表示
- 巻き取りの残り回数のリセット

スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りの残り回数を表示します。残り回数が「0」のときは、数字が赤色で表示されます。

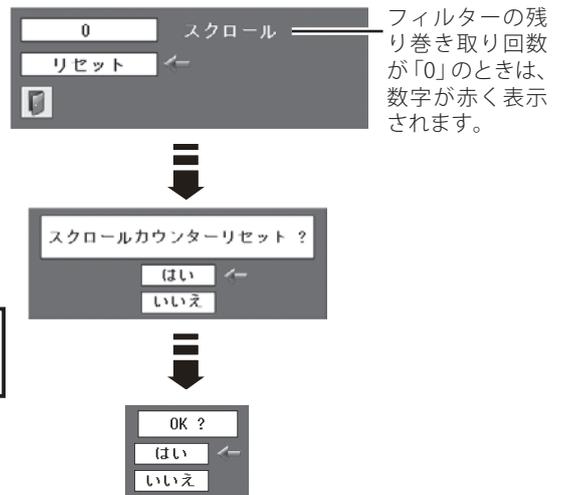
リセット



注意 エアフィルターカートリッジの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「スクロールカウンターリセット？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。スクロール残回数がリセットされます。

スクロール残回数：リセット



フィルターカウンターのリセットについて

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方のカウンターをリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯および、「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。C7 81、84～86 ページ



エアフィルターカートリッジ交換をお知らせする画面表示について

エアフィルターの残回数が0のときにエアフィルターが目詰まりしてエアフィルターの交換が必要になった場合に、画面右上に表示されます(約10秒間)。この表示は15分ごとに繰り返し表示されます。また、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき (約4秒間表示)
- 「インプット」を切り換えたとき (約4秒間表示)

また、が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品を保護するために電源オン後3分で自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジを交換し、フィルターカウンターをリセットしてください。

- ※ 「オンスクリーン表示」(C7 65 ページ)を「オフ」に設定しているとき、または「FREEZE」(C7 35 ページ)が動作中のときは表示されません。
- ※ 「フィルターカウンター」をリセットすると表示が消えます。



初期設定

下記の設定を除く全ての設定を工場出荷状態に戻します。

- ・ランプ使用時間
- ・フィルターカウンター（使用時間、タイマー、スクロール残回数）
- ・ロゴ暗証番号ロック
- ・暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ
- ・ネットワーク設定

また、上記の設定は、電源コードを抜いても有効です。

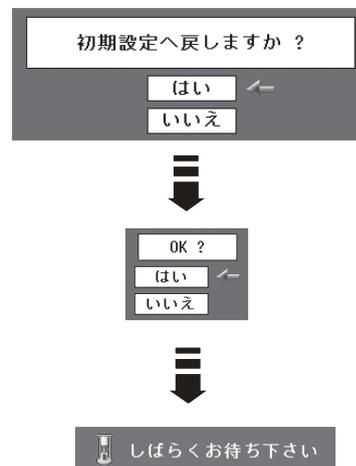


注意

「初期設定」を実行すると、お客様が設定した設定内容はすべて失われ、工場出荷状態に戻ります。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「初期設定」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 「OK？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

初期設定



その他の機能

リモコンでコンピュータを操作する

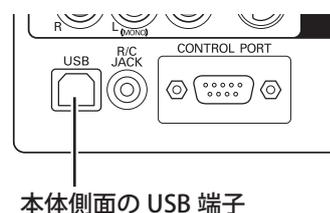
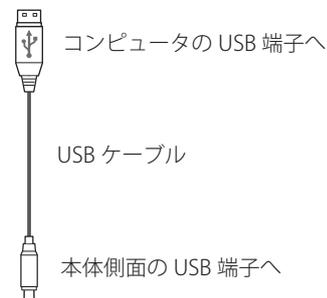
付属のリモコンは、コンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータにUSB端子があることを確認してください。USB以外の端子ではご利用になれません。また、コンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。

- 1 付属のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と本機のUSB端子を接続します。
- 2 USBケーブルを接続したら、先にプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

USBケーブルの接続



マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、[マウスポインタ] ボタン、[左クリック] ボタン、[R-CLICK] (右クリック) ボタンで行ないます。

マウスポインタボタン

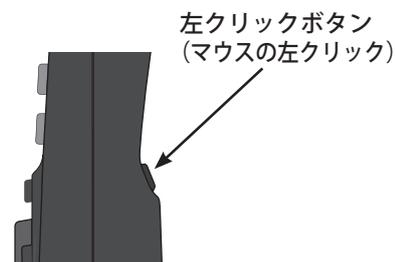
マウスポインタの移動を行ないます。上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

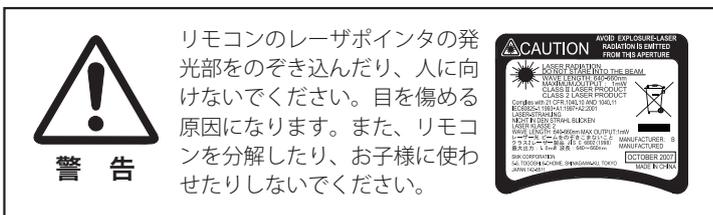
R-CLICK (右クリック) ボタン

コンピュータマウスの右クリックの働きをします。



ポインタの操作

レーザーポインタ



リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けてください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使用せたりしないでください。



リモコンの [LASER] ボタンを押している間、レーザーポインタインジケータが赤色で点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。(P.18 ページ)
ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光が止まります。

- ※ [LASER] ボタンは、本体操作パネルにはありません。
- ※ [LASER] ボタンを押し続けて1分たつと、自動的にレーザービームの発光が止まります。[LASER] ボタンを押すのをいったん止めて、再度 [LASER] ボタンを押すと、再びレーザービームが発光します。

スポットライト・ポインタ表示に切り換える

レーザービームをスポットライト、またはポインタ表示に切り換えることができます。

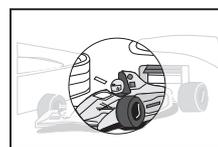
- 1 [MENU] ボタンと [SHUTTER] ボタンを同時に10秒間長押しします。レーザーポインタ機能からポインタ機能に切り換わります。
- 2 リモコンの [LASER] ボタンを押して、[LASER] ボタンが緑色に点灯するか確かめてください。緑色に点灯していれば、スポットライト、またはポインタが表示されます。[プレゼンテーション] ボタンで、スポットライトまたはポインタを画面上で移動させることができます。
※ [LASER] ボタンが緑色に点灯せず、レーザービームが発光する場合は、ポインタ機能に切り換わっていません。[LASER] ボタンが緑色に点灯するまで、「1」の作業を行なってください。
- 3 スポットライトまたはポインタの表示を消すときは、リモコンをプロジェクターに向けて [LASER] ボタンを押します。リモコンの [LASER] ボタンの緑色の点灯も消えます。
※ スポットライトまたはポインタを表示させて30秒間操作しないでいると、自動的にスポットライトまたはポインタの表示が消えます。

- ※ スポットライト、ポインタの大きさや形は、「セッティング」メニューの「ポインタ」で設定できます。(P.64 ページ)
- ※ レーザーポインタ機能に戻す場合は、以下のどちらかの操作を行います。
 - ・ [MENU] ボタンと [SHUTTER] ボタンを同時に約10秒間長押しする。
 - ・ [RESET/ON/ALL-OFF] スイッチを [RESET] にセットする。(このとき同時に、リモコンコードが「1」に戻ります)



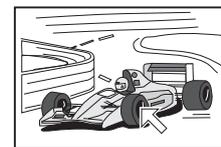
[LASER] ボタン
レーザーポインタ機能からポインタ機能に切り換えると、[LASER] ボタンはポインタ機能のON-OFFスイッチになります。リモコンをプロジェクターに向けて [LASER] ボタンを押して、ボタンが緑色に点灯するか確認してください。

スポットライト



小・中・大

ポインタ



指先・矢印・ドット (赤点)

ランプの自動切り換え (ツインランプシステム)

ランプの自動切り換え

本機には2つのランプが搭載されています。故障や寿命のため、点灯中のランプが消えてしまった場合や、電源をオンにしてもランプが点灯しない場合には、もう一方のランプおよびランプモードに自動的に切り換わります。

もう一方のランプが正常の場合

もう一方のランプが正常の場合には、「ランプモード」(C79 62 ページ) および「ランプ電源モード」(C79 63 ページ) の設定にかかわらず、ランプが自動で切り換わります。

もう一方のランプが寿命または故障の場合

もう一方のランプが寿命または故障(ランプステータス「×」)の場合は、ランプは切り換わりません。両方のランプが点灯しない場合には、プロジェクターの電源が自動でオフになり、スタンバイ状態になります。

もう一方のランプが交換推奨時間を越えている場合

もう一方のランプが交換推奨時間を越えている(ランプステータス「赤色」)場合には、「ランプ電源モード」(C79 63 ページ) の設定により、プロジェクターの動作が異なります。

- ・「モード1」・・・ランプが自動で切り換わります。
- ・「モード2」・・・ランプは切り換わらず、プロジェクターの電源が自動でオフになり、スタンバイ状態になります。

切り換わったランプも点灯しない場合

切り換わったものの、切り換わったランプも点灯せず、両方のランプが点灯しない場合には、プロジェクターの電源が自動でオフになり、スタンバイ状態になります。



点灯中に消えてしまった(点灯しなかった)ランプについて

点灯中に消えてしまったランプは、次の電源オン時に点灯できるかどうかを試みます。点灯した場合はそのランプを使用し、切り換え前のランプモードの設定に戻ります。点灯できなかった場合には、以後点灯を試みません。



交換推奨時間を越えたランプについて

ランプが交換推奨時間を越えた場合、次回の電源オン時に正常なランプおよびランプモードに切り換わります。詳しくは「ランプ電源モード」(C79 63 ページ) を参照してください。

ランプステータス

電源をオンにしたときや、インプットを切り換えたときに、画面左上にランプステータスが表示されます。数字はランプ番号を、色はランプの状況を表しています。

黄色



① 正常な状態です。現在投映に使用され、点灯しています。

灰色



② 正常な状態です。現在は投映に使用されていません。

赤色



① ランプ交換推奨時間を越えています。交換推奨時間を越えたランプを点灯させるかについては、「ランプ電源モード」の設定により異なります。C79 63 ページ

×が付いて灰色



寿命または故障により点灯できない状態です。電源を入れなおしても点灯せず、「×」が付いたままの場合には、ランプを交換してください。

ランプステータスの表示



お手入れと保守

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき

レンズや本体にホコリが付着しないようケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために

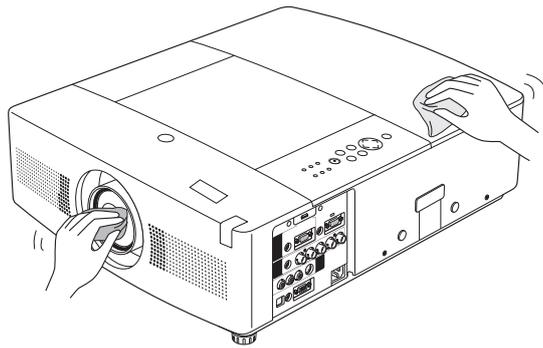
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで

ベンジンやシンナーなどで拭くと、変質したり塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。



ランプの交換

LAMP 1 (2) REPLACE インジケータと「ランプ交換」表示について

[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータ（橙）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。下図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。

なお、交換推奨時間を越えたランプは、次回の電源オン時に正常なランプに切り換わります。（P 63 ページ）



ランプ点灯中にランプ交換推奨時間に達した場合、画面右上に 10 秒間表示されます。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき（4 秒間表示）
- ・「インプットモード」を切り換えたとき（10 秒間表示）

※ 上記のアイコンは、「オンスクリーン表示」（P 65 ページ）を「オフ」に設定している場合や「FREEZE」（P 35 ページ）の動作中は表示されません。

LAMP 1 (2) REPLACE インジケータ



「ランプ交換」の表示
(10 秒間表示)

ランプの交換方法

ランプはランプハウスごと交換します。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。またご注文の際には、以下のことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP125（サービス部品コード：610 342 2626）
- ・プロジェクターの品番：LP-WTC500L



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認してから電源プラグをACコンセントから抜きます。ランプの交換は、必ずプロジェクターの電源を切って45分以上放置してから行ってください。
- 2 ランプカバーのネジをコインなどでゆるめて、ランプカバーを後部にずらします。
- 3 ランプカバーを上を持ち上げて垂直に開き、押し込んで固定します。
- 4 ランプハウス上部のつまみを持って、ランプハウスごと引き出します。
- 5 ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込みます。ランプのガラス面を手で触って汚さないようご注意ください。
- 6 ランプカバーを引き上げ、元通りに閉じてネジを締めます。

<ランプ交換後のご注意>

※ ランプを交換したときは、「ランプモード」(☞ 62 ページ) の設定を確認してください。

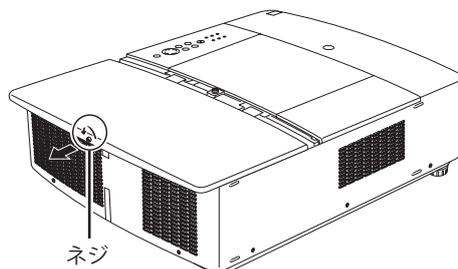


ランプが点灯しなくなってから交換する際のご注意

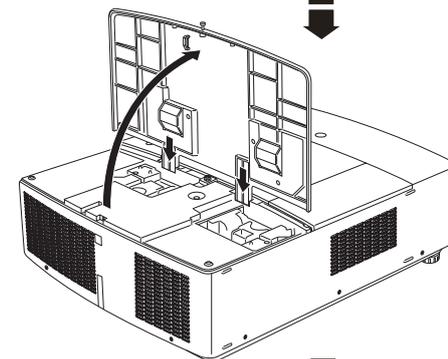
ランプが点灯しなくなってから交換する場合には、ランプが破裂しているおそれがあります。ランプの交換の際には十分ご注意ください。特に天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。またランプカバーは、そっと開いて下さい。ランプカバーを開くときにガラスの破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

※ 13 ページの「ランプについての安全上のご注意」もご参照ください。

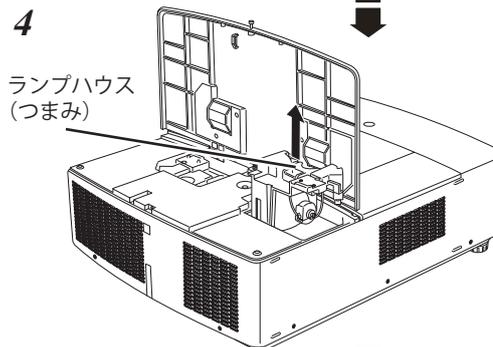
2



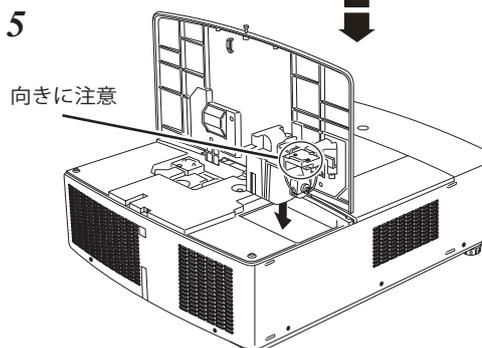
3



4



5



ガラス面を手で触って汚さないようにしてください。

エアフィルターカートリッジの交換

WARNING FILTER インジケータと「フィルター警告」表示について

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。本機には自動交換エアフィルターが搭載されています。プロジェクターがフィルターの汚れを常に監視し、汚れによる目詰まりを検知すると、自動的に新しいフィルターに交換（巻き取り）します。1個のエアフィルターカートリッジで9回交換できます。（合計10回分）[WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯・点滅は、エアフィルターの交換（巻き取り）やエアフィルターカートリッジの交換時期の目安です。また、「フィルター警告」アイコン表示でも、エアフィルターの状況やエアフィルターカートリッジの交換時期をお知らせします。



表示の種類

アイコン

	「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせします。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときはが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき ※最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、あるいは、「FREEZE」中は表示されません。
	エアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。巻き取り回数の残りが「0」で、汚れによる目詰まりが発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき ※最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、あるいは「FREEZE」中は表示されません。
	エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、または「FREEZE」中は表示されません。
	メニューから、強制巻き取りを行なっていることをお知らせします。	<ul style="list-style-type: none"> 巻き取り実行中に表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」の場合は表示されません。

※ 汚れによる目詰まりを検知して自動的に交換（巻き取り）する際に、エアフィルターの巻き取り回数の残りがあるときはアイコンは画面に表示されません。

インジケータ

	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になりました。 エアフィルターカートリッジの交換推奨時間になりました。 ※スタンバイ時も点灯したままです。
	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り中です。
	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。 エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。 ※プロジェクターの保護のため、電源が自動でオフになります。

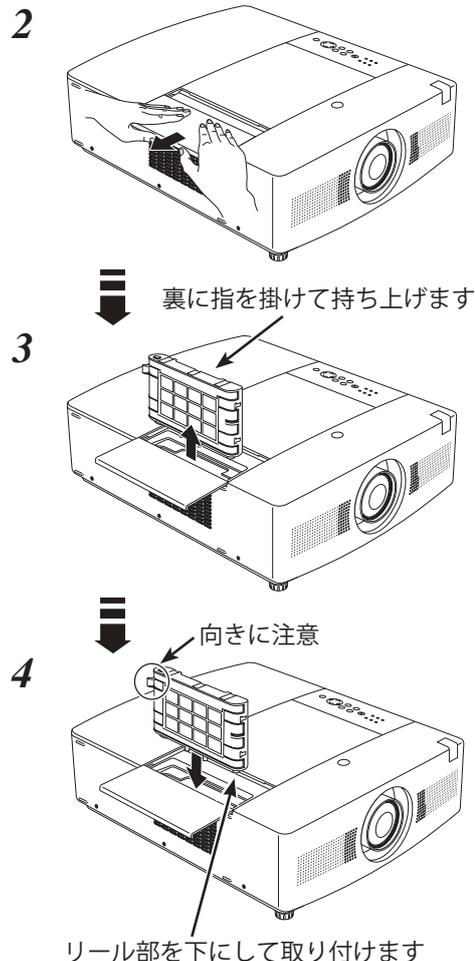
エアフィルターカートリッジの交換方法

本機のエアフィルターはカートリッジ式です。カートリッジ内のエアフィルターを使い切ったら、カートリッジごと交換します。また、吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。吸気口は、こまめに掃除してください。

エアフィルターカートリッジのサービス部品コード：610 342 9571

手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをACコンセントから抜きます。交換は、必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 エアフィルターカバーをスライドさせて開きます。止まるまで開ききります。
- 3 エアフィルターカートリッジ上部の裏側に指を掛け、垂直に持ち上げて本体から外します。
- 4 新しいエアフィルターカートリッジのリール部分を下にして本体にはめ込みます。また、前後の向きにもご注意ください。
- 5 エアフィルターカバーをスライドさせて閉じます。エアフィルターカバーを開いたまま使用すると、プロジェクター内部にほこりが付着します。交換後は必ずエアフィルターカバーを閉じてください。



フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」および「スクロール残回数」をリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯、および「フィルター警告」表示が消えます。リセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。☞ 73～74 ページ



エアフィルターについてのご注意

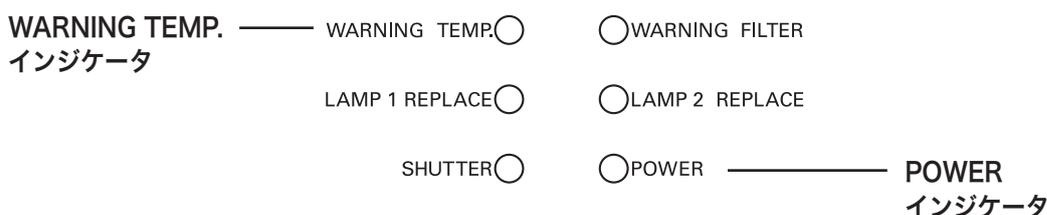
- **エアフィルターカートリッジは再利用できません。**
エアフィルターを掃除するなどして再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**
エアフィルターカートリッジが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターを使い切ってからカートリッジを交換してください。**
途中で交換したり、他のプロジェクターとの使い回しなどをすると、エアフィルターの残回数を正しく確認できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジの交換は、電源を切ってから行なってください。**
電源が入った状態でカートリッジを外すと、安全のため自動で電源が切れます。
- **エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方をリセットしてください。**
リセットを行わないと、エアフィルターの残回数や使用時間を正しく認識できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジは、ていねいに扱ってください。**
エアフィルター部分に穴があいたり、破れたりするとフィルターの効果が損なわれます。
- **エアフィルターカバーの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**
内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- **エアフィルターカートリッジの交換表示にご注意ください。**
☞ が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けると、光学部品を保護するために、電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。

内部温度の上昇について

[WARNING TEMP.] インジケータが点滅しているとき

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れ、内部の冷却を行いません。その間、[POWER] インジケータは赤色で点滅、[WARNING TEMP.] インジケータは高速で点滅します。温度が下がると [POWER] インジケータが赤色の点滅から赤色の点灯に変化し、リモコンの [ON] ボタン、または本体の [ON/STAND-BY] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが赤色で点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING TEMP.] インジケータが点滅して電源が切れます。



[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えないときは、以下を確認してください。

- ・ エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～40℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

[WARNING TEMP.] インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部に異常が検出されると、[WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が点灯してプロジェクターの電源が自動的にオフになります。同時に [POWER] インジケータが消灯し、リモコンの [ON] ボタンおよび本体の [ON/STAND-BY] ボタンでの「電源入・切」はできなくなります。

このような時は、電源コードをいったんコンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。電源を入れなおしても再び電源が切れて [WARNING TEMP.] インジケータが点灯する場合は、お買い上げの販売店、または修理相談窓口でプロジェクターの点検をご依頼ください。

また、電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがって、適切なメンテナンスを行なってください。

	インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
	POWER 赤 / 緑	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP1(2) REPLACE 黄	
通常の状態	●	●	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
	○ (緑点灯)	※	※	●	※	プロジェクターは正常に動作しています。
	○ (緑点灯)	※	※	○	※	プロジェクターは正常に動作しています。 (シャッターを閉じている状態)
	⦿ (赤点滅)	※	※	※	※	ランプの冷却中です。[POWER] インジケータが再度点灯するまで、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押して始動することはできません。
	○ (赤点灯)	※	※	※	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。[ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押すと動作します。
温度異常	○ (緑点灯)	⦿	※	※	※	プロジェクター内部の温度が高くなっています。 [WARNING TEMP.] インジケータがゆっくりとした点滅を始めます。エアフィルターの点検などを行なってください。
	⦿ (赤点滅)	⦿	※	※	※	プロジェクター内部の温度がさらに高くなったため、電源を自動的にオフにしてランプを冷却しています。 [WARNING TEMP.] インジケータと [POWER] インジケータが高速で点滅します。[ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。
	○ (赤点灯)	⦿	※	※	※	冷却が完了し、正常の温度に戻りました。[ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。 エアフィルターの点検などを行なってください。

<ご注意>

- ・ [POWER] インジケータは、状況に応じて赤または緑に点灯・点滅します。赤点灯はスタンバイ、緑点灯は投映中、赤点滅はランプの冷却中、緑点滅はパワー（またはシャッター）マネージメントからスタンバイ状態に移行していることをそれぞれ示します。
- ・ 「※」で表されているインジケータは、他の条件により点灯・点滅・消灯いずれの場合もあります。
- ・ [WARNING FILTER] インジケータと [LAMP REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく点灯または点滅します。

インジケータの状態

- ・・・点灯 ●・・・消灯 ⦿・・・点滅（約1秒間隔）
⦿・・・ゆっくりとした点滅（約2秒間隔） ⦿・・・速い点滅（約0.5秒間隔）

	インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
	POWER 赤 / 緑	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP 1(2) REPLACE 黄	
フィルター関連	※	※	○	※	※	画面右上に  の表示があるときは、「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせしています。  の表示の場合は、設定時間に達したことに加えて、巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。 画面右上に  の表示があるときは、エアフィルターに目詰まりが発生し、かつ巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。 ※「オンスクリーン表示」を「オフ」( 65 ページ) に設定している場合や、「FREEZE」( 35 ページ) が動作中のときは、画面表示はありません。
	※	※		※	※	エアフィルターを巻き取っています。
	 (赤点滅)	※		※	※	エアフィルターの巻き取りに失敗したため、自動で電源をオフにしてランプを冷却しています。
	○ (赤点灯)	※		※	※	エアフィルターが巻き取りに失敗したため、自動で電源がオフになりました。ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。
	○ (緑点灯)	※		※	※	エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。エアフィルターカートリッジを確認してください。
	●	○		※	※	エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。電源が自動的にオフになります。エアフィルターカートリッジが本体にきちんとセットされているか確認してください。
ランプ関連	 (赤点滅)	※	※	※		ランプが点灯しなかったため、ランプを冷却しています。冷却中はランプを点灯できません。[POWER] インジケータが赤色に点灯してスタンバイ状態になったら、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
	○ (赤点灯)	※	※	※		ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[LAMP1(2) REPLACE] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
	○ (緑点灯)	※	※	※		ランプ1またはランプ2が点灯しませんでした。点灯しなかったランプの [LAMP1(2) REPLACE] インジケータが点滅します。点灯しなかったランプを交換してください。
	※	※	※	※	○	ランプ1またはランプ2の使用時間が、ランプ交換推奨時間に達しました。また、画面右上にも  を表示してランプの交換をお知らせします。ランプを交換すると、[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが消灯します。

	インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
	POWER 赤 / 緑	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	SHUTTER 青	LAMP1(2) REPLACE 黄	
パワーマネージメント	 (赤点滅)	※	※	●	※	パワーマネージメントが働き、電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になるまでプロジェクターを始動することはできません。
	 (緑点滅)	※	※	●	※	パワーマネージメントによる自動電源オフの後、ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
シャッターマネージメント	 (赤点滅)	※	※		※	シャッターマネージメントで設定した時間が経過し、電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。 [POWER] インジケータが再度点灯してから、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
	 (緑点滅)	※	※		※	シャッターマネージメントによる自動電源オフの後、ランプの冷却が完了しました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
シャッター関連	 (赤点滅)	※	●		※	シャッターに異常が発生し、プロジェクターの保護のために電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。 [POWER] インジケータが再度赤色に点灯してから、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
	 (赤点灯)	※	●		※	シャッター異常による自動電源オフの後、ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。 [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
	※	※	※		※	シャッターに異常が発生し、シャッターを開閉できません。自動的に電源をオフにしてランプを冷却します。ランプの冷却が完了してスタンバイ状態になった後、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してプロジェクターが動作した場合には、[SHUTTER] インジケータが消灯します。プロジェクターが動作しない場合には、再度ランプを冷却します。プロジェクターが動作しない場合には、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。
内部異常	●		※	※	※	プロジェクター内部に異常が発生しました。プロジェクターの電源が自動的にオフになります。 [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れるときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。

インジケータの状態

- ・・・点灯 ●・・・消灯 ・・・点滅 (約1秒間隔)
- ・・・ゆっくりとした点滅 (約2秒間隔) ・・・速い点滅 (約0.5秒間隔)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源コードは接続されていますか。	28
		<input type="checkbox"/> 電源は入っていますか。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	30
		<input type="checkbox"/> [POWER] インジケータが消えているときは、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源が入りません。	30
		<input type="checkbox"/> [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。	83～86
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」が働いていませんか。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	71
		<input type="checkbox"/> エアフィルターカートリッジが本体にセットされていますか。本体を確認してみてください。	81～82
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	<input type="checkbox"/> 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	71～72
オープニング	オープニング画面が表示されない	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	65
	オープニング画面が初期設定と違う	<input type="checkbox"/> 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」メニューの「ロゴ」を確認してください。	59
	インプットモードとランプコントロール以外の表示が現れた	<input type="checkbox"/> ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	79～80 81～82
画像・画質	画像が映らない	<input type="checkbox"/> ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。	25～26
		<input type="checkbox"/> 電源を入れたあとの約 20 秒間はオープニング画面が表示され、画像は映せません。（「オンスクリーン表示」が「カウントダウンオフ」または「オフ」のときをのぞく）	30、65
		<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。	43～46
		<input type="checkbox"/> 使用温度範囲（5℃～40℃）から外れていませんか。	10
		<input type="checkbox"/> シャッターが閉じていませんか。[SHUTTER] インジケータが青く点灯していないか確認し、操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押してみてください。	17、19
		<input type="checkbox"/> コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切り換えはコンピュータの取扱説明書を確認してください。	25
		<input type="checkbox"/> コンピュータを再起動してください。	—
	画像が不鮮明	<input type="checkbox"/> フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	33
		<input type="checkbox"/> スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲から外れていませんか。	23
		<input type="checkbox"/> スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	23～24
<input type="checkbox"/> 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラーに結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。		10	
<input type="checkbox"/> レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。		79	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質 (つぎ)	画像が暗い	<input type="checkbox"/> 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。	51
		<input type="checkbox"/> 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。	50
		<input type="checkbox"/> ランプコントロールで「エコ1(またはエコ2)モード」になっていませんか。「エコ1(またはエコ2)モード」は、他のモードよりも暗くなります。	63
		<input type="checkbox"/> ランプの交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくとつれてだんだん暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示が出たら、新しいランプに交換してください。	79～80
		<input type="checkbox"/> レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。	33
画像の色がおかしい	<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	43～51	
映像が左右(上下)逆さまに映っている	<input type="checkbox"/> 「天吊り」または「リア投映」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	57	
画像がゆがんだり、切れたりしている	<input type="checkbox"/> 「PC調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	47～49 54～57	
画像の端がゆがんで見える	<input type="checkbox"/> 「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。	33	
リモコン	リモコンで操作できない	<input type="checkbox"/> 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。	20
		<input type="checkbox"/> 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。	20
		<input type="checkbox"/> 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか？リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。また、間に障害物があれば移動させてください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンの[ALL OFF]スイッチが「ON」側になっているか確認してください。	21
		<input type="checkbox"/> リモコンの受信範囲から外れていませんか。受信範囲で操作してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	21
		<input type="checkbox"/> リモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。ケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとしては働きません。	21
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」メニューの「セキュリティ」を確認してください。	70
		<input type="checkbox"/> 「リモコン受光部」の設定を確認してください。	66
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<input type="checkbox"/> USBケーブルは正しく接続されていますか。	76	
	<input type="checkbox"/> 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。	76	
	<input type="checkbox"/> いったん電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。	76	
ワイヤードリモコンで電源をオンにできない	<input type="checkbox"/> スタンバイモードが「エコ」のときは、リモコンをリモコンケーブルでプロジェクターと接続してワイヤードリモコンとして使用する場合でも、プロジェクターとリモコンのリモコンコードが一致していないと電源をオンにできません。	66	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	音声出力されない	<input type="checkbox"/> コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。	27
		<input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	40
		<input type="checkbox"/> 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	40
	本体から音が出ない	<input type="checkbox"/> [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。	27
設定・操作・調整	「自動 PC 調整」が働かない	<input type="checkbox"/> システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは「自動 PC 調整」は選択できません。	47
		<input type="checkbox"/> 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。	47
	ピクチャーインピクチャー時、  が表示されて投映できない	<input type="checkbox"/> ピクチャーインピクチャーモード時、PC・ビデオの入力信号で、周波数や信号種類によっては解像度が下がったり、「X」が表示されて投映されないことがあります。詳しくはピクチャーインピクチャー一覧表をご覧ください。	38、90
	表示されない機能がある	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	65
	電源を切る前の設定が残っていない	<input type="checkbox"/> 項目の調整後、「メモリー」で登録を実行しましたか。調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。	48、51
	「パワーマネージメント」が働かない	<input type="checkbox"/> 「FREEZE」が動作中のとき、あるいはシャッターを閉じて投映画面を遮断しているときは「パワーマネージメント」は動作しません。	35、66
	「キャプチャー」が働かない	<input type="checkbox"/> 無信号状態ではないですか。接続および信号を確認してください。	59
		<input type="checkbox"/> 「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	59
	自動的に電源が切れる	<input type="checkbox"/> 工場出荷時の初期設定で、「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」メニューの「パワーマネージメント」を確認してください。	66
		<input type="checkbox"/>  が表示された後、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けた場合には、光学部品を保護するために電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行ってください。	81～82
選択できないメニューがある	<input type="checkbox"/> コンピュータ入力画面とビデオ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。制限されているメニューは灰色で表示され選択できません。	44	
操作パネルで操作できない	<input type="checkbox"/> 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」メニューの「セキュリティ」を確認してください。	70	
その他	インジケータが点滅・点灯している	<input type="checkbox"/> 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	84～86
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号、暗証番号を忘れた	<input type="checkbox"/> お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	—
	ボタンを押したのに  が表示された	<input type="checkbox"/> プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号を確認してください。	—

付録

コンピュータシステムモード一覧表

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード」は含みません。）
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640x480	31.470	59.880
VGA 2	720x400	31.470	70.090
VGA 3	640x400	31.470	70.090
VGA 4	640x480	37.860	74.380
VGA 5	640x480	37.860	72.810
VGA 6	640x480	37.500	75.000
VGA 7	640x480	43.269	85.000
MAC LC13	640x480	34.970	66.600
MAC 13	640x480	35.000	66.670
480p	640x480	31.470	59.880
575p	768x575	31.250	50.000
575i	インターレース	15.625	50.000
480i	インターレース	15.734	60.000
SVGA 1	800x600	35.156	56.250
SVGA 2	800x600	37.880	60.320
SVGA 3	800x600	46.875	75.000
SVGA 4	800x600	53.674	85.060
SVGA 5	800x600	48.080	72.190
SVGA 6	800x600	37.900	61.030
SVGA 7	800x600	34.500	55.380
SVGA 8	800x600	38.000	60.510
SVGA 9	800x600	38.600	60.310
SVGA 10	800x600	32.700	51.090
SVGA 11	800x600	38.000	60.510
MAC 16	832x624	49.720	74.550
XGA 1	1024x768	48.360	60.000
XGA 2	1024x768	68.677	84.997
XGA 3	1024x768	60.023	75.030
XGA 4	1024x768	56.476	70.070
XGA 5	1024x768	60.310	74.920
XGA 6	1024x768	48.500	60.020
XGA 7	1024x768	44.000	54.580
XGA 8	1024x768	63.480	79.350
XGA 9	インターレース	36.000	87.170
XGA 10	1024x768	62.040	77.070
XGA 11	1024x768	61.000	75.700
XGA 12	インターレース	35.522	86.960
XGA 13	1024x768	46.900	58.200
XGA 14	1024x768	47.000	58.300
XGA 15	1024x768	58.030	72.000
MAC 19	1024x768	60.240	75.080
SXGA 1	1152x864	64.200	70.400
SXGA 2	1280x1024	62.500	58.600
SXGA 3	1280x1024	63.900	60.000
SXGA 4	1280x1024	63.340	59.980
SXGA 5	1280x1024	63.740	60.010
SXGA 6	1280x1024	71.690	67.190

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
SXGA 7	1280x1024	81.130	76.107
SXGA 8	1280x1024	63.980	60.020
SXGA 9	1280x1024	79.976	75.025
SXGA 10	1280x960	60.000	60.000
SXGA 11	1152x900	61.200	65.200
SXGA 12	1152x900	71.400	75.600
SXGA 13	インターレース	50.000	86.000
SXGA 14	インターレース	50.000	94.000
SXGA 15	1280x1024	63.370	60.010
SXGA 16	1280x1024	76.970	72.000
SXGA 17	1152x900	61.850	66.000
SXGA 18	インターレース	46.430	86.700
SXGA 19	1280x1024	63.790	60.180
SXGA 20	1280x1024	91.146	85.024
SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190
SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120
SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900
SXGA+ 4	1400x1050	64.030	60.010
SXGA+ 5	1400x1050	62.500	58.600
MAC 21	1152x870	68.680	75.060
MAC	1280x960	75.000	75.080
MAC	1280x1024	80.000	75.080
WXGA 1	1366x768	48.360	60.000
WXGA 2	1360x768	47.700	60.000
WXGA 3	1376x768	48.360	60.000
WXGA 4	1360x768	56.160	72.000
WXGA 6	1280x768	47.776	59.870
WXGA 7	1280x768	60.289	74.893
WXGA 8	1280x768	68.633	84.837
WXGA 9	1280x800	49.600	60.050
WXGA 10	1280x800	41.200	50.000
WXGA 11	1280x800	49.702	59.810
WUXGA 1	1920x1200	74.556	59.885
WUXGA 2	1920x1200	74.038	59.950
WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954
WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887
WXGA+ 2	1440x900	74.918	60.000
UXGA 1	1600x1200	75.000	60.000
UXGA 2	1600x1200	81.250	65.000
UXGA 3	1600x1200	87.500	70.000
UXGA 4	1600x1200	93.750	75.000
UXGA 5	1600x1200	106.250	85.000
720p	1280x720	45.000	60.000
720p	1280x720	37.500	50.000
1035i	インターレース	33.750	60.000
1080i	インターレース	33.750	60.000
	インターレース	28.125	50.000

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1: 「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。
*2: 「画面サイズ: リアル」には対応していません。

コンピュータの信号がデジタルの場合

HDMI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640x480	31.470	59.940	D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.069
D-480p	720x480	31.470	59.880	D-SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190
D-575p	768x575	31.250	50.000	D-SXGA+ 2	1400x1050	63.350	60.120
D-SVGA	800x600	37.879	60.320	D-SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900
D-XGA	1024x768	43.363	60.000	D-UXGA 1	1600x1200	75.000	60.000
D-WXGA 1	1366x768	48.360	60.000	D-WUXGA 2	1920x1200	74.038	59.950
D-WXGA 2	1360x768	47.700	60.000	D-WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954
D-WXGA 3	1376x768	48.360	60.000	D-WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887
D-WXGA 4	1360x768	56.160	72.000	D-720p	1280x720	45.000	60.000
D-WXGA 5	1366x768	46.500	50.000	D-1035i	インターレース	33.750	60.000
D-WXGA 6	1280x768	47.776	59.870	D-1080i	インターレース	33.750	60.000
D-WXGA 7	1280x768	60.289	74.893		インターレース	28.125	50.000
D-WXGA 8	1280x768	68.633	84.837	D-1080psf/30	1920x1080	33.750	60.000
D-WXGA 9	1280x800	49.600	60.050	D-1080psf/25	1920x1080	28.125	50.000
D-WXGA 10	1280x800	41.200	50.000	D-1080p	1920x1080	67.500	60.000
D-WXGA 11	1280x800	49.702	59.810		1920x1080	56.250	50.000
D-SXGA 1	1280x1024	63.980	60.020				

※仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。(アナログ信号の場合)

※WXGA を越える解像度の信号 (UXGA, WUXGA など) は圧縮して表示されるため、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。

※コンピュータのデジタル信号を投射する場合、コンピュータの設定によっては映像が正しく投射されない場合があります。コンピュータの設定を確認してください。

※DVI 信号を投射するときは、ケーブルを接続し、プロジェクターの電源を入れ、入力を選択してからコンピュータを起動してください。この手順どおりに操作しないと映像が投射されない場合があります。映像が投射されない場合はコンピュータを再起動してください。

※プロジェクターの電源が入っているときにケーブルを抜かないで下さい。1度抜いて再度接続すると映像が投射されない場合があります。その場合にはコンピュータを再起動してください。

ピクチャーインピクチャー一覧表

○: ピクチャーインピクチャーが可能な組み合わせ ×: ピクチャーインピクチャーが不可能な組み合わせ

		SUB									
		Input1			Input2			Input3		Network	
		RGB	Scart	HDMI	RGB	Video	Component	Video	S-video		
MAIN	Input1	RGB	×	×	×	○	○	○	○	○	○
		Scart	×	×	×	○	×	○	×	×	○
		HDMI	×	×	×	○	○	○	○	○	×
	Input2	RGB	○	○	○	×	×	×	○	○	○
		Video	○	×	○	×	×	×	×	×	○
		Component	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	Input3	Video	○	×	○	○	×	○	×	×	○
		S-video	○	×	○	○	×	○	×	×	○
	Network		○	○	×	○	○	○	○	○	×

※ PC・ビデオの入力信号で、周波数や信号種類によっては解像度が下がったり、「×」が表示されて投射されないことがあります。

<解像度が下がって投射される>

PC アナログ: 100MHz ~ 140MHz まで

<投射されず、「×」が表示される>

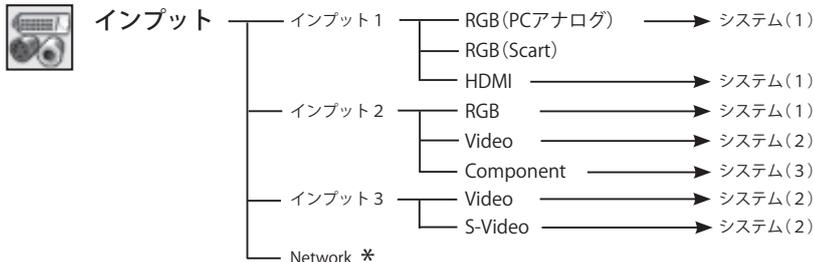
PC アナログ: 140MHz を越えるとき / PC デジタル: 100MHz を越えるとき / ビデオのアナログおよびデジタル: 1080p

※ピクチャーインピクチャーモード時のモニター出力について

モニター出力は、通常、メイン画面側のアナログ RGB 信号またはコンポーネント信号を出力しますが、メイン画面がコンポーネント信号でサブ画面がアナログ RGB 信号の場合のみ、例外としてサブ画面側のアナログ RGB 信号を出力します。

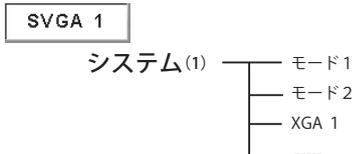
メニュー内容一覧

インプット：コンピュータ / ビデオ



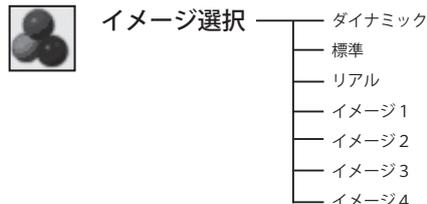
* PJ-Net Organizer 接続時に表示。

コンピュータ入力

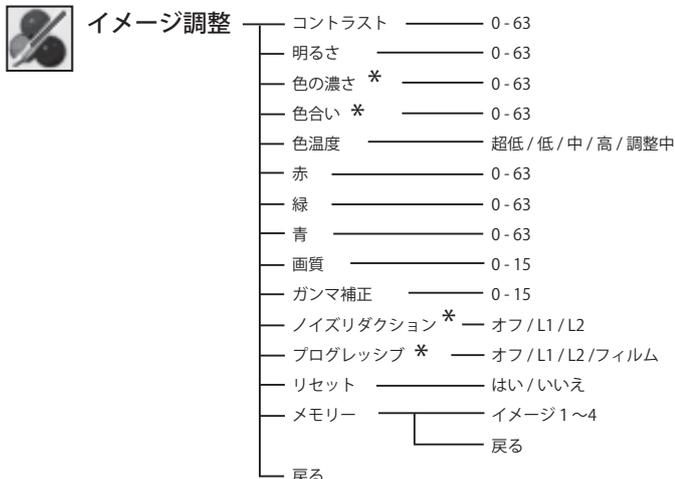


※ 表示される内容は、入力された信号によって異なります。

イメージ選択(コンピュータ入力)

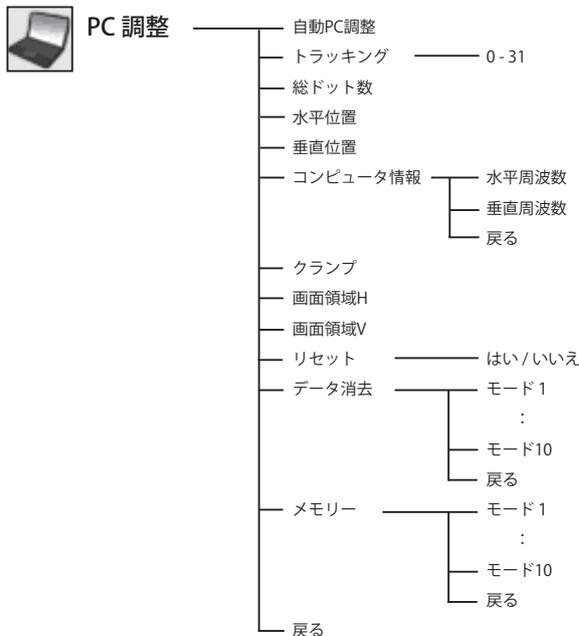


イメージ調整

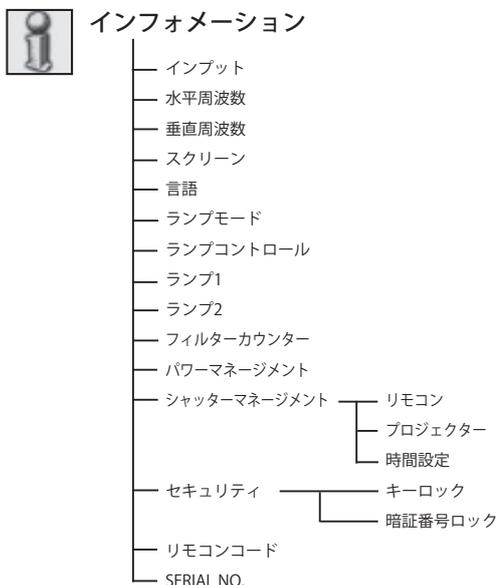


* ビデオ入力時のみ選択可。

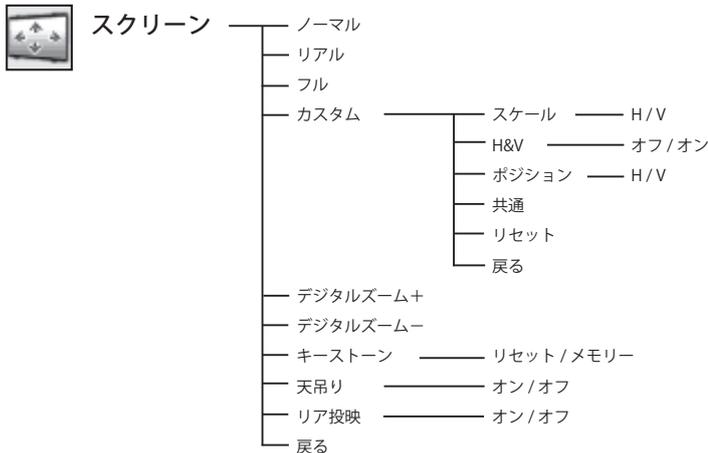
PC 調整 (コンピュータ入力)



インフォメーション



スクリーン (コンピュータ入力)



ビデオ入力

Auto

- システム(2)
 - Auto
 - PAL
 - SECAM
 - NTSC
 - NTSC 4.43
 - PAL-M
 - PAL-N

Auto

- システム(3)
 - Auto
 - 1080i
 - 1035i
 - 720p
 - 575p
 - 480p
 - 575i
 - 480i

イメージ選択 (ビデオ入力)



- イメージ選択
 - ダイナミック
 - 標準
 - シネマ
 - イメージ1
 - イメージ2
 - イメージ3
 - イメージ4

スクリーン (ビデオ入力)



- スクリーン
 - ノーマル
 - ズーム
 - ピットリワイド
 - ワイド
 - フル
 - カスタム
 - スケール — H/V
 - H&V — オフ/オン
 - ポジション — H/V
 - 共通
 - リセット
 - 戻る
 - キーストーン — リセット/メモリー
 - 天吊り — オン/オフ
 - リア投影 — オン/オフ
 - 戻る

サウンド



- サウンド
 - 音量 — 0~63
 - 消音 — オン/オフ
 - 戻る

セッティング



セッティング (第1画面)

- 言語
 - 英語
 - スペイン語
 - 中国語
 - ドイツ語
 - ポルトガル語
 - 韓国語
 - フランス語
 - オランダ語
 - 日本語
 - イタリア語
 - スウェーデン語
 - 戻る
 - ロシア語
- ロゴ
 - ロゴ選択 — オフ/初期設定/ユーザー
 - キャプチャー — はい/いいえ
 - ロゴ暗証番号ロック — オン/オフ
 - 戻る — ロゴ暗証番号変更
- ピクチャーインピクチャー
 - モード — オフ/PinP/P by P
 - サブ画面サイズ — 大/中/小
 - サブ画面位置 — 右下/右上/左上/左下
- バックグラウンド — 青/ユーザー/黒
- ランプモード
 - ランプ1
 - ランプ2
 - ランプ1/2
 - タイマー — オン/オフ
 - Start — 0-24
 - ランプインターバル — 1-24
 - 戻る
- ランプコントロール
 - ランプコントロール — オート1/オート2/ハイ/ノーマル/エコ1/エコ2
 - ランプ電源モード — モード1/モード2
 - 戻る
- フィルター制御 — はい/いいえ
- ポインタ
 - スポットライト — 小/中/大
 - ポインタ — 指先/矢印/丸(赤色)
 - 戻る

セッティング (第2画面)

- リモコンコード — コード1~8
- 戻る
- リモコン受光部 — 全て/前&天面/天面&後/前&後/前/天面/後
- オンスクリーン表示 — オフ/カウントダウンオフ/オン
- スタンバイモード — エコ/ノーマル
- パワーマネージメント
 - オフ/待機/シャットダウン
 - 1~30(タイマー:分)
 - 戻る
- オンスタート — オン/オフ
- 傾斜設定 — オフ/L1/L2/L3/L4

セッティング (第3画面)

- シャッター
 - 保護
 - リモコン
 - プロジェクター
 - 時間設定 — 5~180(分)
 - 戻る
- HDMI設定
 - イメージ — ノーマル/拡張
 - サウンド — HDMI/AUDIO1
- セキュリティ
 - キーロック
 - オフを含む5パターンのロック設定
 - 戻る
 - 暗証番号ロック
 - オフ/オン1/オン2
 - 暗証番号変更
 - 戻る
 - 戻る
- テストパターン — 8種類のテストパターン
- 戻る
- 警告履歴
- フィルターカウンター
 - 使用時間
 - 時間(使用時間)
 - オフ/400時間/700時間/1000時間
 - リセット — はい/いいえ
 - 戻る
 - スクロール残回数
 - スクロール(残回数)
 - リセット — はい/いいえ
 - 戻る
 - 戻る
- 初期設定 — はい/いいえ
- 戻る

仕 様

プロジェクター本体

型 名	LP-WTC500L
種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：0.95 型 (× 3 枚) アスペクト比：16：10 駆動方式：ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ、画素数：1,024,000 画素 (1,280 × 800) × 3 枚 総画素数：3,072,000 画素 (1,024,000 × 3)
光 源	330W NSHA ランプ (× 2 個)
ズーム/フォーカス調整	電動
画面サイズ (投映距離)	最小 30 型～最大 300 型 (1.3m ～ 10.5m)
入出力 INPUT 1	HDMI 入力 (1 系統)：ペローズタイプ 19 ピン デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログ RGB 入力 (1 系統)：ミニ D-sub 15 ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
INPUT 2	アナログ RGB 入力：BNC × 5 ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 コンポーネント入力：セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC × 5 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb；0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
INPUT 3	映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S 映像：セパレート YC 信号、ミニ DIN 4 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
MONITOR OUT	アナログ RGB 出力 (1 系統)：ミニ D-sub 15 ピン
音 声 ・ AUDIO IN ・ AUDIO OUT	音声入力 (2 系統)：ミニジャック (ステレオ)、500mVrms、インピーダンス 47K Ω 以上 音声入力 (1 系統)：ピンジャック、500mVrms、インピーダンス 47K Ω 以上 (左モノ：右) 音声出力 (コンピュータ/ビデオ兼用)：ミニジャック (ステレオ)、可変出力、インピーダンス 1K Ω 以下
制御入出力、他	コントロールポート：D-sub 9 ピン USB 端子：USB コネクター (1 系統：シリーズ B) ワイヤードリモコン端子：ミニジャック PJ-Net Organizer コネクター
走査周波数	水平 15kHz～100kHz、垂直 50～100Hz、ドットクロック 140MHz 以下 (アナログ信号時)
カラーシステム	6 システム (NTSC / PAL / SECAM / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N)
電 源	AC100V 50 / 60Hz
音声出力 / スピーカ	ステレオ 3W+3W (JEITA) / 5 × 9cm (× 2 個)
消費電力	530W / 14W (「スタンバイモード」が「ノーマル」時の待機中消費電力)
本体寸法	幅 451.0 × 高さ 175.0 × 奥行 550.1mm (突起物を含む)
質 量	14.7Kg

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中、0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電 源	DC3.0V 単四形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約 5 m (受信部正面)
本体寸法	幅 45.0mm × 高さ 25.0mm × 奥行 145.0mm
質 量	99g (電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス 2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：640 ~ 660 nm

付属品

- リモコン (MXAH) 1 個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2 本
- 電源コード 1 本
- 電源プラグアダプタ 1 個
- USB ケーブル 1 本
- コンピュータケーブル (D-sub 用) 1 本
- PIN code lock シール 1 枚
- カバーキャップ 1 個
- レンズ盗難防止ネジ 1 個
- 取扱説明書 1 冊
- お客さまご相談窓口一覧 1 枚
- 保証書
- 保証登録票

別売品

- ミニ D-sub15 延長ケーブル 品番：KA-MC-DB10
- リモコンケーブル (30m) 品番：POA-CA-RC30
- ベース金具 品番：POA-CHB-XT25A
- 高天井用取付ハンガー 品番：POA-CHL-PL01
- 低天井用取付ハンガー 品番：POA-CHS-PS01
- 標準レンズ 品番：LNS-S11
- 長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T10
- 長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T11
- 短焦点ズームレンズ 品番：LNS-W10
- 短焦点レンズ 品番：LNS-W11
- PJ-Net Organizer plus II 品番：POA-PN03A
- PJ-Net Organizer plus II C 品番：POA-PN03C

※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※ 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

各プロジェクターによって色味が異なります

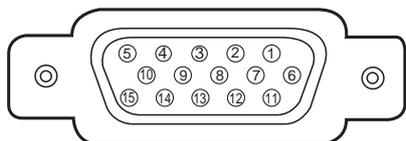
各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

端子の仕様

ANALOG IN / ANALOG OUT (コンピュータ アナログ入力 / アナログ出力端子)

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB を出力する端子です。接続にはコンピュータケーブル (D-sub 用) を使用します。

ミニ D-sub 15 ピン



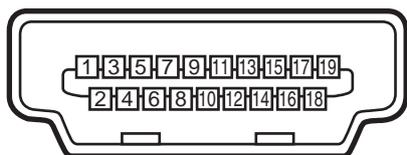
1	R 入出力
2	G 入出力
3	B 入出力
4	未接続
5	接地 (水平同期)
6	接地 (R)
7	接地 (G)
8	接地 (B)

9	+ 5V パワー / 未接続
10	接地 (垂直同期)
11	接地 / 未接続
12	DDC データ / 未接続
13	水平同期 入出力 (コンポジット: 水平垂直同期)
14	垂直同期 入出力
15	DDC クロック / 未接続

HDMI (HDMI 端子 TypeA)

コンピュータなどからの HDMI デジタル出力を接続する端子です。接続には HDMI 用ケーブルを使用します。

HDMI 19 ピン



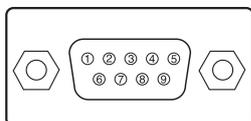
1	TMDS データ 2 + 入力
2	接地 (TMDS データ 2)
3	TMDS データ 2 - 入力
4	TMDS データ 1 + 入力
5	接地 (TMDS データ 1)
6	TMDS データ 1 - 入力
7	TMDS データ 0 + 入力
8	接地 (TMDS データ 0)
9	TMDS データ 0 - 入力
10	TMDS クロック + 入力

11	接地 (TMDS クロック)
12	TMDS クロック - 入力
13	未接続
14	未接続
15	SCL
16	SDA
17	接地 (DDC / CEC)
18	+ 5V 電源
19	プラグ挿入検出

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するときに、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン



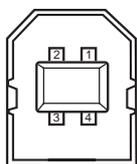
1	未接続
2	RXD
3	TXD
4	未接続
5	SG

6	未接続
7	RTS
8	CTS
9	未接続

USB (ユニバーサルシリアルバス用端子)

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

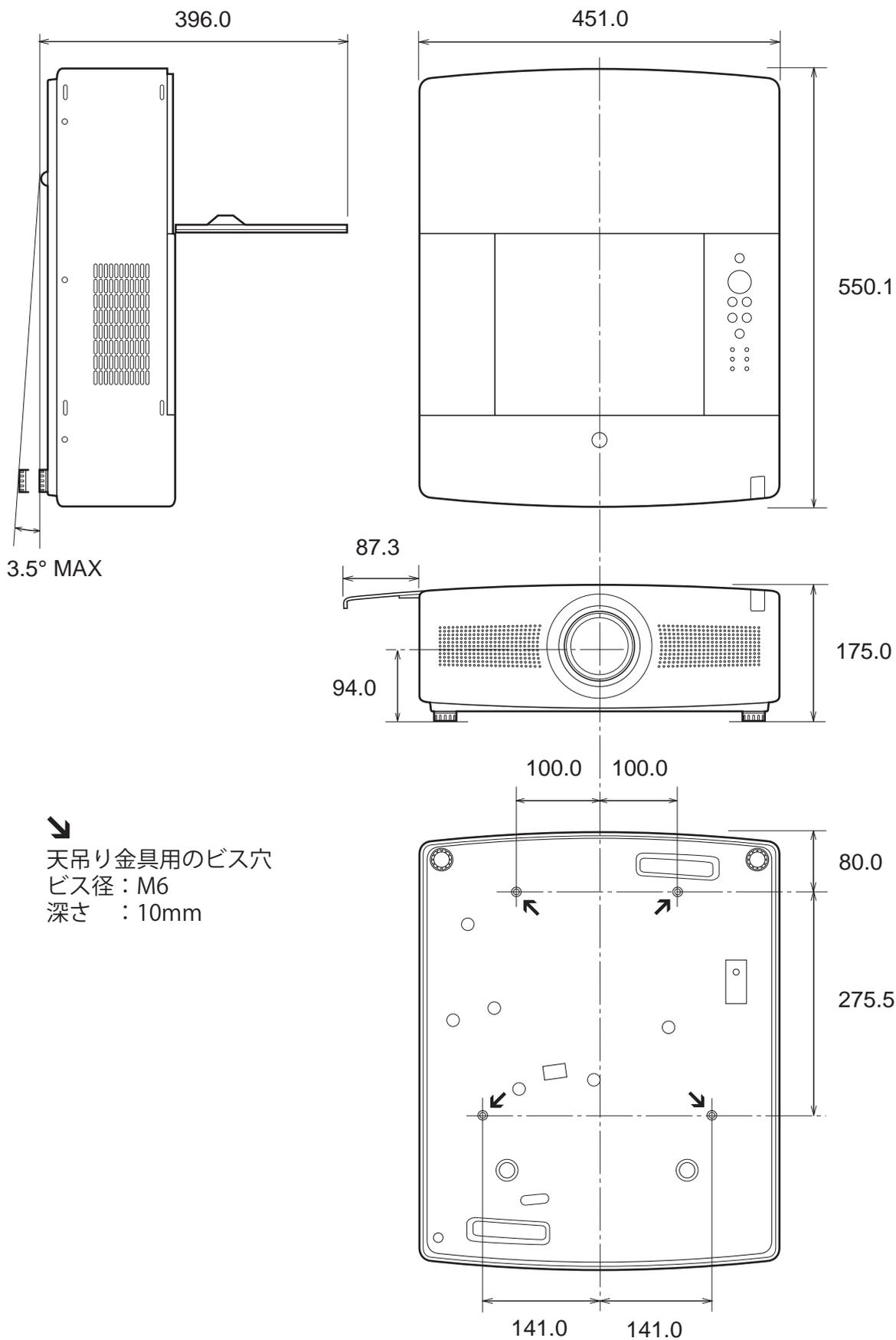
USB コネクター



1	VCC (5V)
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

寸法図

単位：mm



PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC アナログ)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 2	12
	RGB (HDMI)	DIGITAL 1	31
INPUT 2	Video	VIDEO 1	21
	Component	VIDEO 2	22
	RGB	RGB 3	13
INPUT 3	Video	VIDEO 3	23
	S-video	VIDEO 4	24
Network		NETWORK 1	51

PJ Link とは

2003 年 9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど

プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink サイト URL

<http://pjlink.jbmia.or.jp>

PJLinkTM

PJLink は JBMIA の登録商標です。

暗証番号について

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号：1234

ロゴ暗証番号ロック の暗証番号

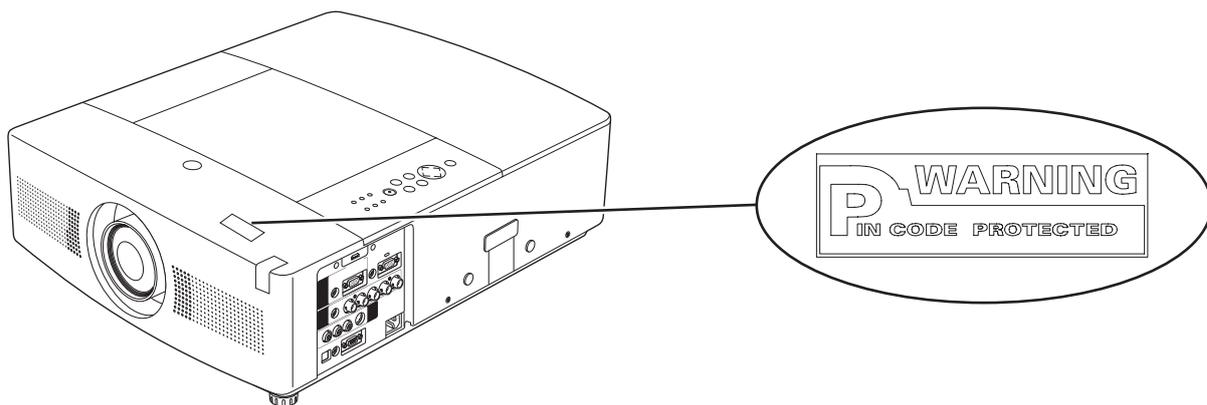
--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号：4321

※ 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のシールを本体の目立つところに貼り付けます。



保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日から
本体・・・3年間またはご使用時間 5,000 時間のどちらか早い方。
光源ランプ・・・ランプ使用時間 1,000 時間。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがって、お買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	<small>熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。</small>
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。● 映像が時々消えることがある。● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。● 内部に水や異物が入った。● その他異常や故障がある。	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ	
品番	LP-WTC500L
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー
プロジェクター事業部
商品統括部 国内販売部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町 1-1